静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告　第186集

森町円田丘陵の古墳群

第二東名建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

森町－3（第2分冊）

文殊堂古墳群
（第二東名No.113地点）

宇藤蓮台古墳群
（第二東名No.119地点）

林古墳群
（第二東名No.121～123地点）

2008

中日本高速道路株式会社 横浜支社

財団法人 静岡県埋蔵文化財調査研究所

静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告　第186集

森町円田丘陵の古墳群

第二東名建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

森町－3（第2分冊）

文殊堂古墳群
（第二東名No.113地点）

宇藤蓮台古墳群
（第二東名No.119地点）

林古墳群
（第二東名No.121～123地点）

2008

中日本高速道路株式会社 横浜支社

財団法人 静岡県埋蔵文化財調査研究所

例　言

1．本書は、静岡県森町円田・一宮に所在する下記の遺跡の発掘調査報告書である。なお、古墳群形成前の遺構が重なる部分があるが、古墳群形成前に関わる調査成果は別書にて報告している。本書では古墳群形成以降を対象として報告する。

文殊堂古墳群（第二東名№113地点）：円田885他
宇藤蓮台古墳群（第二東名№119地点）：円田953-２他
林古墳群（第二東名№121～123地点）：一宮4545-１他

2．本書は「第１分冊」と「第２分冊」からなり、本冊は保存処理の報告と写真図版を掲載した「第２分冊」である。本書の詳細事項および調査関連事項については、第１分冊に記している。

3．現地の写真撮影は各調査担当者が実施した。航空写真の撮影は委託したものである。遺物の写真撮影は、当研究所写真室が実施した。

4．本冊の頁数および図・表の番号は、第１分冊とは独立して付けている。遺物写真に示した番号は、第１分冊の挿図に示した番号に対応する。

目　次

例言／目次

金属製遺物の保存処理 …… 1

写真図版

抄　録

（第１分冊）
第１章　調査に至る経緯
第２章　遺跡の位置と環境
第３章　調査の方法と経過
第４章　文殊堂古墳群
第５章　宇藤蓮台古墳群
第６章　林古墳群
第７章　考　察
第８章　総　括

挿図表目次

第１図　内型断面模式図 …… 4
第１表　抽出塩化物イオン濃度表 …… 10

写真目次

写真１　処理前記録の作成（カード記載） …… 1
写真２　処理前写真撮影 …… 1
写真３　Ｘ線写真撮影 …… 1
写真４　クリーニング作業（リューター使用） …… 2
写真５　クリーニング作業（顕微鏡使用） …… 2
写真６　クリーニング作業（エアブレイシブ） …… 2
写真７　脱塩処理作業 …… 2
写真８　安定化処理作業 …… 2
写真９　強化処理（樹脂減圧含浸）作業 …… 2
写真10　強化処理（樹脂拭き取り）作業 …… 2
写真11　修復（樹脂補填）作業 …… 2
写真12　修復（整形）作業 …… 3
写真13　修復（補彩）作業 …… 3
写真14　修復（樹脂補填）作業 …… 3
写真15　安定化処理作業 …… 3
写真16　補填箇所（外面） …… 4
写真17　補填箇所（内面） …… 4
写真18　立体形状の決定作業 …… 6
写真19　立体形状の決定 …… 6
写真20　アルミ箔貼り付け作業 …… 6
写真21　アルミ箔貼り付け作業 …… 6
写真22　石膏型の作成作業 …… 6
写真23　石膏型の作成作業（支持木枠作成） …… 6
写真24　支持木枠設置後の石膏型 …… 6
写真25　石膏型の取り外し作業 …… 6
写真26　完成した石膏型（前胴） …… 7
写真27　完成した石膏型（後胴） …… 7
写真28　鉄板への銀箔貼り付け作業 …… 7
写真29　石膏型への鉄板配置作業 …… 7
写真30　石膏型に配置した鉄板（前胴） …… 7
写真31　石膏型に配置した鉄板（後胴） …… 7
写真32　シリコン樹脂塗布作業 …… 7
写真33　シリコン樹脂塗布作業 …… 7
写真34　マグネットの配置作業 …… 8
写真35　マグネットの配置作業 …… 8
写真36　エポキシ樹脂塗布作業 …… 8
写真37　エポキシ樹脂塗布作業 …… 8
写真38　石膏型の取り外し作業 …… 8
写真39　鉄板の取り外し作業 …… 8
写真40　内型前胴と後胴の接合前整形作業 …… 8
写真41　内型前胴と後胴の接合作業 …… 8
写真42　内型の整形作業 …… 9
写真43　内型内面の塗装作業 …… 9
写真44　内型への鉄板配置状態（前から） …… 9
写真45　内型への鉄板配置状態（後から） …… 9
写真46　アクリル樹脂塗布作業 …… 9
写真47　石膏塗布作業 …… 9
写真48　クリーニング作業 …… 10
写真49　クリーニング作業（リューター使用） …… 10
写真50　脱塩処理 …… 10
写真51　脱塩処理中（１日後）に発生した赤サビ …… 10
写真52　強化処理（樹脂含浸）作業 …… 11
写真53　接合確認作業 …… 11
写真54　修復（整形）作業 …… 11
写真55　保存処理後 …… 11
写真56　文殊堂古墳群出土金属製品の保存処理前状況① 12
写真57　文殊堂古墳群出土金属製品の保存処理前状況② 13
写真58　文殊堂古墳群出土金属製品の保存処理前状況③ 14
写真59　文殊堂古墳群出土金属製品の保存処理前状況④ 15
写真60　林古墳群出土金属製品の保存処理前状況① …… 16
写真61　林古墳群出土金属製品の保存処理前状況② …… 17
写真62　林古墳群出土金属製品の保存処理前状況③ …… 18

図 版 目 次

カラー

図版１　北西からの遠景(円田丘陵および太田川流域を望む)

図版２　１　円田丘陵の古墳群（南からの全景）
　　２　文殊堂１～５・７号墳（北から）

図版３　１　文殊堂６・８～12号墳（南西から）
　　２　文殊堂５号墳　横穴式石室（南から）

図版４　１　文殊堂８号墳　遠景（北から）
　　２　文殊堂８号墳　第３埋葬施設（南から）
　　３　文殊堂12号墳　墳丘（西から）

図版５　１　文殊堂８号墳　第１・２埋葬施設（北東から）
　　２　文殊堂11号墳　短甲出土状況（東から）
　　３　文殊堂11号墳　第１～３埋葬施設（西から）

図版６　１　宇藤蓮台１号墳　周溝内の土器群（北から）
　　２　林２号墳　短甲周囲の土層（東から）

図版７　林２号墳　第１埋葬施設（南西から）

図版８　林５号墳　横穴式木室（南から）

図版９　林５号墳　横穴式木室に関わる土層①～⑤

図版10　宇藤蓮台１号墳　出土遺物

図版11　文殊堂８号墳　出土遺物

図版12　文殊堂11号墳　第１埋葬施設出土遺物

図版13　林２号墳　出土遺物

図版14　林５号墳　出土遺物

文殊堂古墳群

図版15　１　文殊堂古墳群１・２区(６・８～12号墳)(俯瞰)
　　２　文殊堂古墳群３区(１～５・７号墳)(俯瞰)

図版16　１　１号墳　全景（南から）
　　２　１号墳　盛土除去後の状態（南から）

図版17　１　１号墳　横穴式石室（南から）
　　２　１号墳　石室内の覆土断面（南から）
　　３　１号墳出土土器①

図版18　１号墳出土土器②、玉類、鉄製品

図版19　１号墳周辺出土の古代以降の遺物

図版20　１　２号墳　全景（南西から）
　　２　２号墳　盛土下の遺構群（北西から）
　　３　２号墳　北東部周溝土器出土状況（南東から）

図版21　１　２号墳　南東部周溝土器出土状況（南から）
　　２　２号墳　南東部周溝土器出土状況（東から）
　　３　２号墳出土土器①

図版22　２号墳出土土器②

図版23　２号墳出土土器③、古代の土器、鉄製品

図版24　１　３号墳　全景（南西から）
　　２　３号墳　盛土除去後の状態（南西から）

図版25　１　３号墳　盛土下の遺構群（北西から）
　　２　３号墳　横穴式石室（南から）

図版26　１　３号墳　墓道中の石群（東から）
　　２　３号墳　石室内の覆土断面（南から）
　　３　３号墳　石室右（西）側壁（東から）
　　４　３号墳出土土器①

図版27　１　３号墳出土土器②
　　２　３号墳出土金属製品
　　３　３号墳周辺出土の古代以降の遺物

図版28　１　４号墳　全景（南東から）
　　２　４号墳　盛土除去後の状態（南西から）

図版29　１　４号墳　西部周溝土器出土状況（北西から）
　　２　４号墳出土土器①

図版30　４号墳出土土器②

図版31　４号墳出土土器③、古代の土器

図版32　４号墳出土鉄製品

図版33　１　５号墳　全景(横穴式石室検出状況)(南から)
　　２　５号墳　盛土除去後の状態（南から）

図版34　１　５号墳　横穴式石室（南から）
　　２　５号墳　横穴式石室（南から）

図版35　１　５号墳　石室右（西）側壁（北東から）
　　２　５号墳　石室左（東）側壁（北西から）
　　３　５号墳　石室内土器・耳環出土状況（南から）
　　４　５号墳　石室内鉄鏃出土状況（西から）
　　５　５号墳　石室基底石（南から）
　　６　SF93（５号墳北東部）（北東から）
　　７　SF93 鉄鏃等出土状況（北東から）

図版36　５号墳出土土器

図版37　５号墳出土金属製品、SF93関連土器

図版38　１　SF93出土鉄製品
　　２　５号墳周辺出土の古代以降の遺物

図版39　１　６号墳　全景（北西から）
　　２　６号墳　盛土除去後の状態（北西から）
　　３　６号墳　北部周溝土器出土状況（西から）

図版40　６号墳出土土器、古代の土器

図版41　１　７号墳　全景（南から）
　　２　７号墳出土土器

図版42　１　８号墳　全景（北西から）
　　２　８号墳　北東部の盛土断面（北西から）
　　３　８号墳　盛土下の遺構群（北から）
　　４　８号墳　北部周溝土器出土状況（西から）

図版43　１　８号墳　第１・２埋葬施設（北東から）
　　２　８号墳　第１・２埋葬施設（北東から）

図版44　１　８号墳　第１埋葬施設遺物出土状況①（北東から）
　　２　８号墳　第１埋葬施設遺物出土状況②（南東から・北西から）
　　３　８号墳　第１埋葬施設の礫の入った土坑（南東から）
　　４　８号墳　第２埋葬施設遺物出土状況（北東から）
　　５　８号墳　第２埋葬施設の礫の入った土坑（南東から）
　　６　８号墳　第３埋葬施設北小口（南から）
　　７　８号墳　第３埋葬施設南小口（北から）

図版45　１　８号墳　第３埋葬施設検出状況（北から）
　　２　８号墳　第３埋葬施設床面・側壁（南から）

3　8号墳　第3埋葬施設床面・側壁（北から）
4　8号墳　第3埋葬施設墓壙（東から）
図版46　8号墳出土土器①
図版47　1　8号墳出土土器②
2　8号墳出土鉄製品①
図版48　8号墳出土鉄製品②、玉類
図版49　8号墳出土鉄製品③（X線透過写真など）
図版50　1　9号墳　全景（北西から）
2　9号墳出土土器、古代の土器
図版51　1　10号墳　全景（南東から）
2　10号墳　全景（西から）
図版52　1　10号墳　北西部周溝土器出土状況(南西から)
2　10号墳　北東部周溝鉄刀出土状況(北東から)
3　10号墳出土土器①
図版53　1　10号墳出土土器②
2　10号墳周溝出土鉄刀
図版54　1　11号墳　全景（北から）
2　11号墳　全景（南から）
図版55　1　11号墳　盛土除去後の状態（西から）
2　11号墳　第1～3埋葬施設（南西から）
図版56　1　11号墳　第1埋葬施設（南西から）
2　11号墳　第1埋葬施設遺物出土状況①（北西から・南から）
図版57　1　11号墳　第1埋葬施設遺物出土状況②（南西から）
2　11号墳　第1埋葬施設短甲出土状況（北西から）
3　11号墳　第1埋葬施短甲下の鉄斧
4　11号墳　第2埋葬施設遺物出土状況（南西から）
5　11号墳　第2埋葬施設（南西から）
図版58　1　11号墳　第3埋葬施設（南西から）
2　11号墳　第3埋葬施設遺物出土状況（南西から・南東から）
3　11号墳出土土器、石製品・玉類
図版59　11号墳第1埋葬施設出土刀剣、鉄鏃
図版60　11号墳第1埋葬施設出土農工具・鉄鏃
図版61　11号墳第1埋葬施設出土農工具・鉄鏃（X線透過写真）
図版62　11号墳第1埋葬施設出土短甲（正面、背面）
図版63　1　11号墳第1埋葬施設出土短甲（側面）
2　短甲　前胴上縁の覆輪（表面）
3　短甲　前胴上縁の覆輪（裏面）
4　短甲　後胴上縁の覆輪（裏面）
5　短甲　後胴地板第1段（裏面）
図版64　1　短甲　前胴における布の痕跡（表面）
2　短甲　引合板下部の傷（表面）
3　短甲　後胴上部の毛状痕跡（表面）
4　短甲　後胴下部の毛状痕跡（表面）
5　短甲　引合板中央の傷（表面）
6　短甲　引合板中央の傷（裏面）
図版65　1　短甲　復元前の状態（外面）
2　短甲のX線透過写真（後胴）
図版66　1　短甲のX線透過写真（前胴）
2　短甲のX線透過写真（後胴地板第1段）
3　短甲のX線透過写真（前胴上縁）
4　短甲のX線透過写真（前胴下部）
5　11号墳第2埋葬施設出土鉄製品
図版67　11号墳第3埋葬施設出土鉄製品
図版68　1　12号墳　全景（北西から）
2　12号墳　全景（南から）
図版69　1　12号墳　南部の葺石（南から）
2　12号墳　北西部の葺石（北西から）
3　12号墳　北西部の葺石除去後の状態（西から）
図版70　1　12号墳　盛土除去後の状態（北西から）
2　12号墳　第1・2埋葬施設（西から）
図版71　1　12号墳　第1埋葬施設遺物出土状況(北から)
2　12号墳　第2埋葬施設（西から）
3　12号墳　第2埋葬施設遺物出土状況①（北から）
4　12号墳　第2埋葬施設遺物出土状況②（北から）
5　12号墳　第2埋葬施設遺物出土状況③（北から）
図版72　1　12号墳出土土器
2　12号墳出土玉類、刀剣
図版73　12号墳出土鉄鏃
図版74　1　SF108（西から）
2　SF100（西から）
3　SF101（南西から）
4　SF53（南西から）
5　SD06（6号墳西側を北西から）
6　SD06（2区中央の東側を南から）
図版75　1　6～12号墳とSD06（南から）
2　SD06と6号墳（北から）
図版76　古代以降の土坑出土遺物など
図版77　遺構外の出土遺物

宇藤蓮台古墳群

図版78　1　宇藤蓮台古墳群1・2区（北東から）
2　1号墳　全景（南東から）
図版79　1　1号墳　全景（北東から）
2　1号墳　北部周溝土器出土状況①(北西から)
図版80　1　1号墳　北部周溝土器出土状況②(北東から)
2　1号墳　南部周溝（北西から）
3　1号墳　南部周溝紡錘車出土状況(北西から)
4　1号墳　埋葬施設と撹乱（南東から）
5　1号墳　埋葬施設発見状況（南西から）
6　1号墳　埋葬施設粘土断面（北から）
図版81　1号墳出土土器①
図版82　1号墳出土土器②、石製品
図版83　1号墳出土土器③
図版84　1　2号墳　全景（北東から）
2　2号墳　北部周溝土器出土状況（北東から）
図版85　1　2号墳　北部周溝土師器高杯出土状況（北東から）
2　2号墳　北部周溝須恵器甕出土状況(北から)

3　2号墳出土土器
図版86　1　宇藤蓮台古墳群3区（3号墳）（俯瞰）
2　3号墳　横穴式石室検出状況（西から）
図版87　1　3号墳　横穴式石室の墓壙（南から）
2　3号墳　墓道土器出土状況①（南から）
3　3号墳　墓道土器出土状況②（北東から）
4　3号墳　北西部周溝土器出土状況(南西から)
5　3号墳　北西部周溝（南西から）
図版88　3号墳出土遺物
図版89　1　SF05（南から）
2　SF05遺物出土状況（南から）
3　SF10人骨・土器出土状況（東から）
4　SF10人骨・銅銭出土状況（南から）
5　SF08（南西から）
6　SF08遺物出土状況（南西から）
図版90　古代以降の遺物①
図版91　古代以降の遺物②
図版92　古代以降の遺物③、人骨

林古墳群

図版93　林古墳群全景（北東から）
図版94　1　1号墳　全景（南西から）
2　1号墳出土土器
3　SD01による方形区画遺構(南西から)
4　SD01出土土器
図版95　1　2号墳　全景（北西から）
2　2号墳　北部周溝紡錘車出土状況（北から）
3　2号墳　南部周溝土器出土状況（東から）
図版96　1　2号墳　盛土除去後の状態（南東から）
2　2号墳　北部周溝遺物出土状況（東から）
図版97　2号墳　第1・2埋葬施設（北から）
図版98　1　2号墳　第1・2埋葬施設（東から）
2　2号墳　第1埋葬施設（南から）
図版99　1　2号墳　第1埋葬施設遺物出土状況①（南から）
2　2号墳　第1埋葬施設遺物出土状況②（北西から）
図版100　1　2号墳　第2埋葬施設（北東から）
2　2号墳　第2埋葬施設（南から）
図版101　1　2号墳　第2埋葬施設遺物出土状況①（南から・南東から・東から）
2　2号墳　第2埋葬施設遺物出土状況②（南東から）
3　2号墳　第2埋葬施設の礫の入った土坑（南から）
4　2号墳出土土器①
図版102　2号墳出土土器②
図版103　1　2号墳出土土器③、石製品
2　2号墳第1埋葬施設出土刀剣、刀子・鉄鏃
図版104　2号墳第1埋葬施設出土短甲（正面、背面）
図版105　1　2号墳第1埋葬施設出土短甲（側面）
2　短甲　蝶番金具
3　短甲　後胴の地板の鋲と帯金との重なり
図版106　1　短甲の内面（前胴、後胴）
2　短甲　前胴右側上縁の覆輪（表面）
3　短甲　後胴上縁の覆輪（裏面）
4　短甲　下縁の鉄覆輪（表面）
5　短甲のX線透過写真（前胴）
6　短甲のX線透過写真（蝶番金具）
図版107　1　短甲のX線透過写真（後胴）
2　短甲のX線透過写真（上縁）
3　短甲のX線透過写真（後胴地板第1段）
4　短甲のX線透過写真（下縁）
5　2号墳第1埋葬施設出土鉄製品のX線透過写真
図版108　2号墳第2埋葬施設出土玉類、刀子・鉄鏃、鉄斧
図版109　2号墳第2埋葬施設出土刀剣
図版110　1　3号墳　全景（南から）
2　3号墳　盛土断面（南東から）
図版111　1　3号墳　墳丘上の石群（北東から）
2　3号墳　盛土下の遺構群（北西から）
3　3号墳出土遺物
図版112　1　4号墳　全景(盛土除去後の状態)(南西から)
2　4号墳　盛土断面（西から）
3　4号墳　埋葬施設（北西から）
図版113　1　5号墳　全景（北西から）
2　5号墳　盛土除去後の状態（南から）
図版114　1　5号墳　横穴式木室検出状況①（南西から）
2　5号墳　横穴式木室検出状況②（西から）
図版115　1　5号墳　木室の床面（南西から）
2　5号墳　木室内遺物出土状況①（手前左隅部を北東から・北西から、中央左縁部を南西から）
図版116　1　5号墳　木室内遺物出土状況②（北東から）
2　5号墳　木室内遺物出土状況③（奥寄り中央部を南西から）
3　5号墳　木室内遺物出土状況④（中央部を南西から、中央右縁部を南西から）
図版117　5号墳出土土器①
図版118　1　5号墳出土土器②
2　5号墳出土玉類・鉄製品①
図版119　5号墳出土鉄製品②（刀剣）
図版120　5号墳出土鉄製品③（鉄鏃-1）
図版121　5号墳出土鉄製品④（鉄鏃-1のX線透過写真）
図版122　5号墳出土鉄製品⑤（鉄鏃-2）
図版123　1　5号墳出土鉄製品⑥(鉄鏃-2のX線透過写真)
2　古代以降の土器

金属製遺物の保存処理

文殊堂・林古墳群からは多くの金属製遺物が出土した。静岡県埋蔵文化財調査研究所保存処理室では短甲の現地取り上げならびに全金属製遺物に対する保存処理を実施した。ここではその詳細を報告する。

1．出土金属製遺物の保存処理の概要

文殊堂古墳群からは短甲、大刀、鉄剣、鉄鏃、鉄斧、刀子、不明鉄製品、林古墳群からは短甲、鉄刀、鉄剣、鉄鏃、鉄斧、刀子、不明鉄製品が出土した。大半を占める鉄製品・銅製品の処理の概要は次のとおりである。

・鉄製品

①処理前記録の作成：遺物法量、観察所見などをカードに記載。処理前写真、X線写真の撮影。

②クリーニング：表面のサビや泥、サビ膨れ、その他不要付着物の除去。

③安定化処理

(a)脱塩処理：遺物中に含まれる塩化物イオンを抽出する。

(b)防錆処理：防錆剤を含浸する。

④強化処理：アクリル樹脂を減圧含浸。

⑤修復：部材を接合して欠失部に補填材を充填し整形する。補填部はアクリル絵の具で補彩を行う。

⑥処理後記録：処理の経過を記録カードに記載。処理後写真の撮影。

・銅製品

安定化処理の方法が鉄製品と異なる。

(a)脱塩処理：銅製品では基本的に脱塩処理は行わない。

(b)防錆処理：ベンゾトリアゾール（BTA）という防錆剤を遺物に浸透させる。

文殊堂古墳群の鉄製遺物では出土後に急速に劣化が進行したため脱塩処理の方法を変更した。多くの遺物でサビ汁と呼ばれる塩化鉄が生成し、層状の剥離や折損が発生した。そのため生成した塩化鉄の溶解を主目的として、水酸化リチウム0.1%溶解のエタノールとメタノール混合溶液を調製して遺物を浸漬させ、脱塩処理を行った。

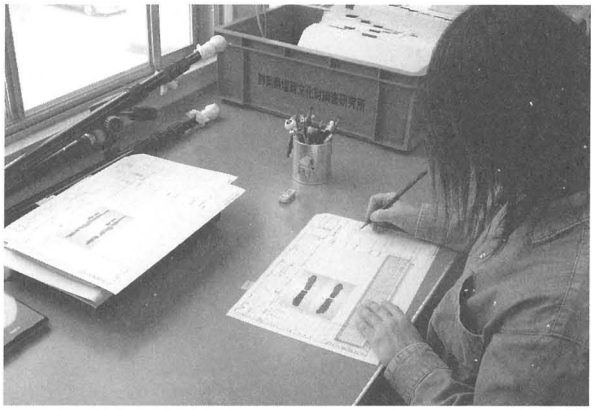


写真１　処理前記録の作成（カード記載）

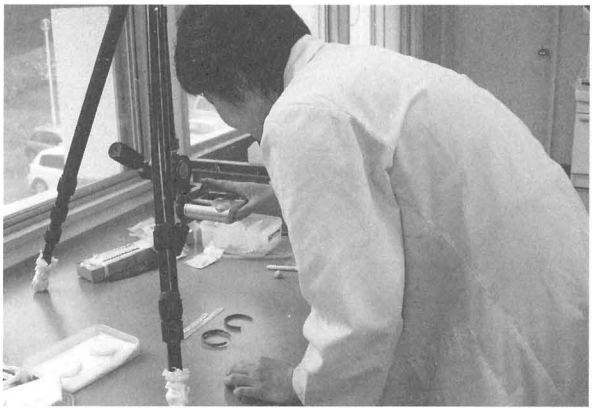


写真２　処理前写真撮影

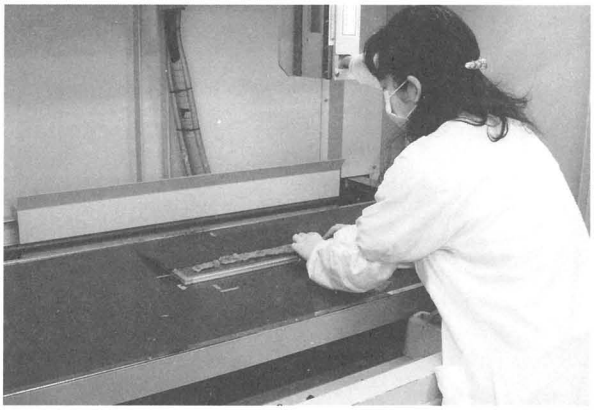


写真３　Ｘ線写真撮影

写真４　クリーニング作業（リューター使用）

写真５　クリーニング作業（顕微鏡使用）

写真６　クリーニング作業（エアブレイシブ）

写真７　脱塩処理作業

写真８　安定化処理作業

写真９　強化処理（樹脂減圧含浸）作業

写真10　強化処理（樹脂拭き取り）作業

写真11　修復（樹脂補填）作業

写真12　修復（整形）作業

写真13　修復（補彩）作業

2．文殊堂11号墳出土短甲の保存処理

（1）取り上げ

文殊堂11号墳から出土した短甲は、革綴であるため革紐が腐朽して鉄板の各板がくずれており、全体が前倒しに潰れた状態であったが完形の状態で出土した。各鉄板は薄いうえに銹着しており、かなり脆弱化していることが予測されたため、全体をまとめて取り上げなければならない状態であった。

取り上げには慎重を期し、短甲下部の土を少しずつ除去しながら短甲全体にアクリル樹脂（パラロイドB-72の10%キシレン溶液）を塗布し、その上をアルミ箔で覆ってからさらに外部を硬質発泡ウレタン樹脂で固めた。ウレタン樹脂（商品名ソフラン-R）は主剤と硬化剤を重量比1：1で混合し、ビニール袋内で撹拌して短甲を覆う様に流し込む。ウレタン樹脂が完全に硬化してから、短甲下部の土ごと切り取って全体を反転して取り上げた。

取り上げ後は室内に持ち込んでウレタン樹脂および短甲付着土砂の除去を行った。室内作業では上下が反転した状態で土砂の除去が行われる。そのため検出された面は当初とは上下が反対になり、通常では見ることのできない出土状態となる。土砂を完全に除去した後、慎重に各鉄板を取り上げた。

（2）クリーニング

クリーニングは短甲周囲および部分的に付着する革紐の痕跡および獣皮状の物質に留意しながら、泥およびサビ膨れの除去を行った。泥の除去には竹串、メス、筆ブラシを用い、サビ膨れの除去にはニッパ、精密加工具（リューター）を使用した。また、微細な泥やサビの除去にはエアブレイシブ（高圧エ

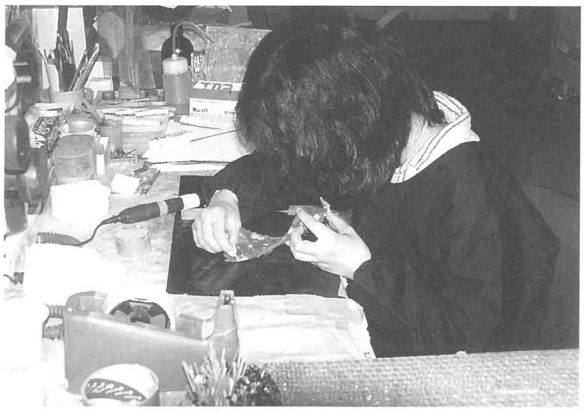


写真14　修復（樹脂補填）作業

写真15　安定化処理作業

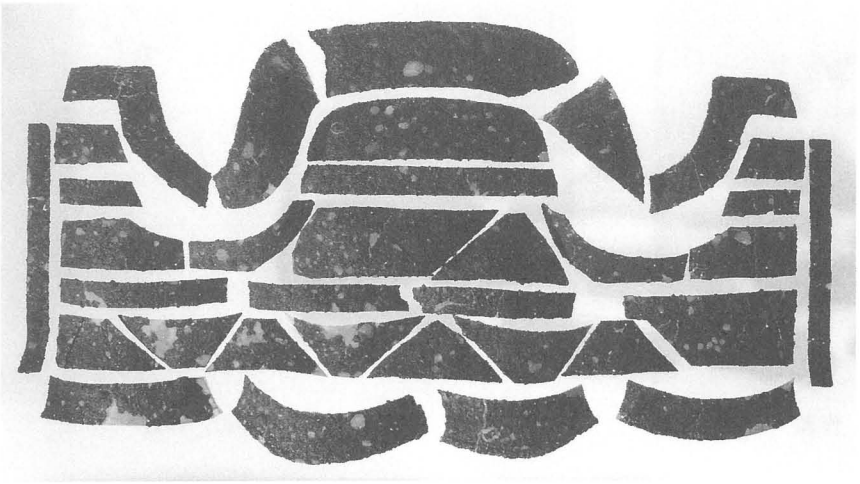


写真16　補填箇所（外面）

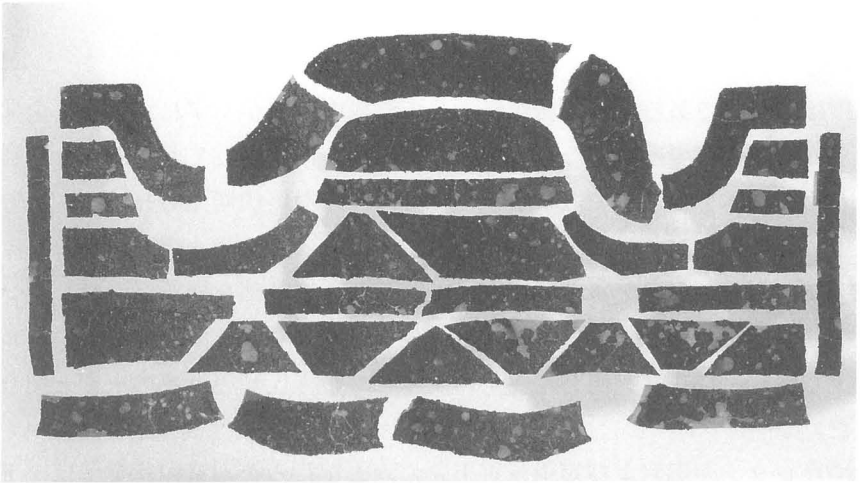


写真17　補填箇所（内面）

アに微粒アルミナを混入して吹き付ける装置）を使用した。クリーニングに際しては資料性を第一に考え、進行状況を調査者と確認しながら作業を進めた。

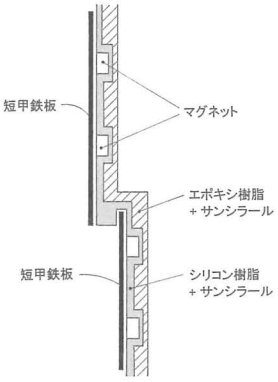
（3）防錆処理、強化処理

文殊堂古墳群出土の金属製遺物は全般的に保存状況が良くないため、この短甲では脱塩処理を行わず防錆処理のみを行うことにし、保管環境を厳重にコントロールすることで保存していくことにした。防錆処理はまずダイカン（ジシクロヘキシルアミン亜硝酸塩）の３％エタノール溶液含浸を行った。この処理は鉄地表面に耐水性の分子被膜を生成することを目的としている。その後さらにT.T.S(チタネートカップリング剤）の２％キシレン溶液の含浸を行った。この処理はダイカン処理による耐水分子被膜の補足強化で、大気中からの凝結水に対する撥水効果の強化を目的としている。

防錆処理後は強化処理を行いアクリル樹脂の減圧含浸を行った。樹脂含浸は二段階にし、まず低分子量のアクリル樹脂（パラロイドB-72の10％キシレン溶液）を減圧含浸し微細亀裂部への樹脂充填を行った。次いで全体の強化として高濃度のアクリル樹脂（プライマルMV-23）を減圧含浸した。プライマルMV-23は取り扱い易く、仕上がりが良いことを考慮して使用している。減圧含浸後には余分な樹脂をよく拭き取り、充分に乾燥させた。

（4）修　復

文殊堂11号墳出土短甲はほぼ完形で出土しているが、革綴の革紐が腐朽して各鉄板が分離した状態であった。そのため修復作業は立体復原形状を想定しながらパーツごとに接合と補填を行った。接合にはシアノアクリレート（商品名アロンアルファ）を用い、間隙部、サビ瘤の除去跡などにはフェノールマイクロバルーン混合のエポキシ樹脂（商品名セメダインハイスーパー）を補填し乾燥後に整形した。この樹脂補填箇所は記録写真を撮影した後にアクリル絵の具で補彩した。



第１図　内型断面模式図

（5）短甲の立体復原

本例のような革綴短甲においては、革紐が腐朽してしまうと各鉄板は分離した状態になる。各鉄板が分離した状態は各板の構造や作りを観察し研究する上では都合が良いが、短甲としての全体像を想定しづらい。バラバラの状態からひとつの立体に形状復原するには各パーツを繋ぎ合わせなければならないが、接着剤で接合してしまうと再分離がきわめて困難になり、今度は個別部材の研究に支障をきたしてしまう。

静岡県埋蔵文化財調査研究所保存処理室ではこの問題を解決するために、甲冑の立体復原法としてマグネットを埋め込んだ内型を用いる方法を開発した。この内型に各鉄板を貼れば短甲の立体形状が復原し、保管時には各鉄板をはがして別途保存することができる。短甲を立体形状で展示に供することと、個別部位の調査研究が両立できるきわめて合理的な方法である。この甲冑復原方法は袋井市（旧浅羽町）五ヶ山B２号墳出土の三角板革綴短甲の立体復原に際して開発した方法である。今回の文殊堂11号墳出土短甲の立体復原は、この時の方法を一部修正してより発展させたものである。

（6）内型の作成

短甲の立体形状が安定して保持されるためには、内型全体の強度が充分でなければならないし、各鉄板が内型と正確にフィットしていなければならない。隙間が空いて鉄板がぐらつくようでは、危険過ぎて立体復原には用いられない。したがって、内型にはきわめて高い形状精度が必要になる。この点を念頭に置いて短甲内型の製作は進められた。製作経過を以下に紹介する。

①立体形状の決定

保存処理の完了した各鉄板を発泡スチロールに輪ゴム等で張り付けて、各鉄板の位置関係および実際に復原される立体形状を決定する。

②①で決定した形状を石膏型に転写する準備として鉄板部分をアルミ箔で覆う。

③石膏型の作成

石膏で外型を作成し①で決定した形状を転写する。石膏型は前胴と後胴それぞれに作成し、石膏型が取り外せるように割り型とする。

④石膏硬化後に割り型を外し、ついで鉄板を発泡スチロールから取り外す。

⑤内型製作準備として各鉄板に錫箔を貼る。

⑥⑤で錫箔を貼った鉄板を石膏型に配置する。

⑦シリコン樹脂の塗布

実際に鉄板と接する面で、完成した内型では最外面になる。

⑧マグネットの配置

配置後にはマグネットが隠れる程度にシリコン樹脂を塗布する。

⑨エポキシ樹脂の塗布

内型の強度を担う。芯材を入れて三層程度塗布し、約１㎝程度の厚さとする。

⑩石膏型の取り外し

エポキシ樹脂硬化後に石膏型を外し、鉄板も取り外す。

⑪樹脂製内型の前胴と後胴を整形し接合する。

⑫シリコン樹脂製型とエポキシ樹脂製型を接合する。

⑬内型の細部整形をし、内面を塗装して内型が完成。

写真18　立体形状の決定作業

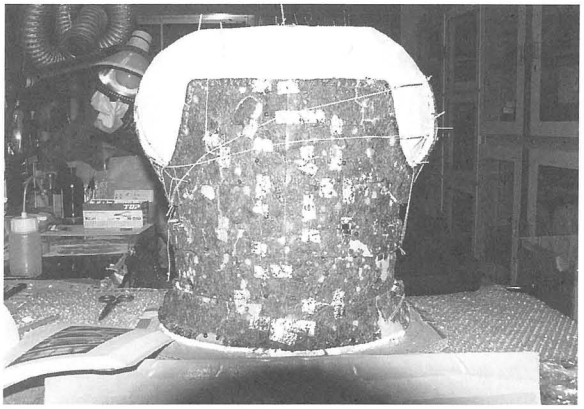


写真19　立体形状の決定

写真20　アルミ箔貼り付け作業

写真21　アルミ箔貼り付け作業

写真22　石膏型の作成作業

写真23　石膏型の作成作業（支持木枠作成）

写真24　支持木枠設置後の石膏型

写真25　石膏型の取り外し作業

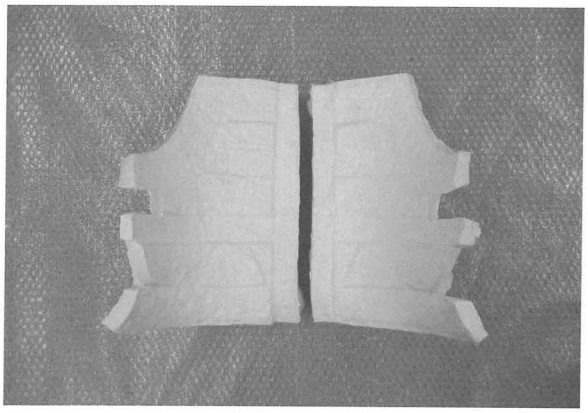


写真26　完成した石膏型（前胴）

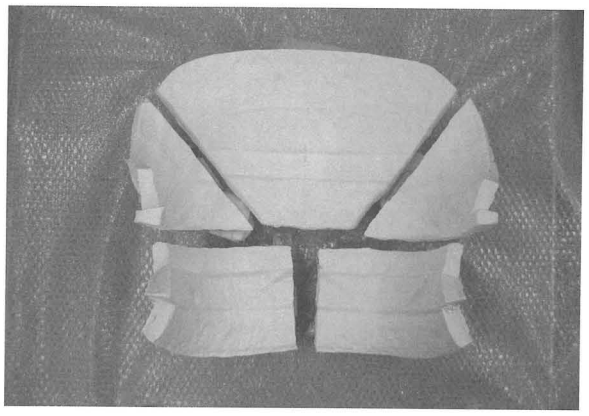


写真27　完成した石膏型（後胴）

写真28　鉄板への銀箔貼り付け作業

写真29　石膏型への鉄板配置作業

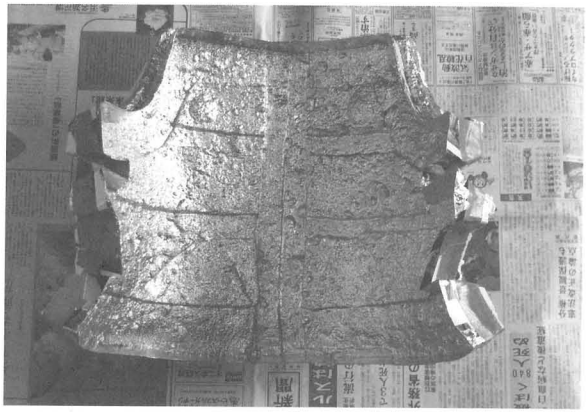


写真30　石膏型に配置した鉄板（前胴）

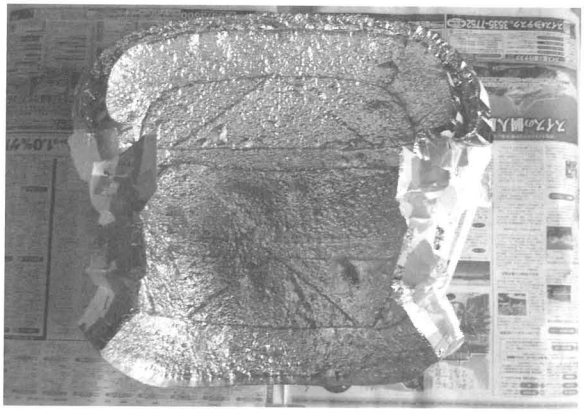


写真31　石膏型に配置した鉄板（後胴）

写真32　シリコン樹脂塗布作業

写真33　シリコン樹脂塗布作業

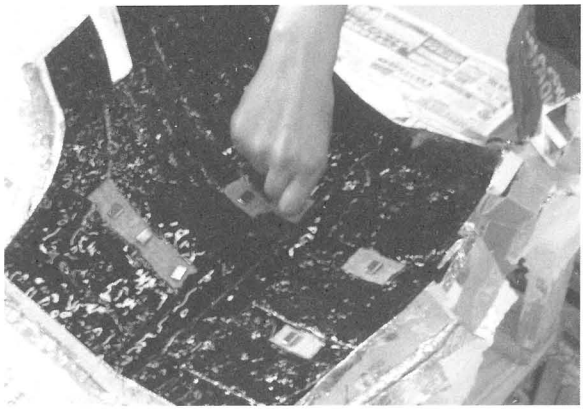


写真34　マグネットの配置作業

写真35　マグネットの配置作業

写真36　エポキシ樹脂塗布作業

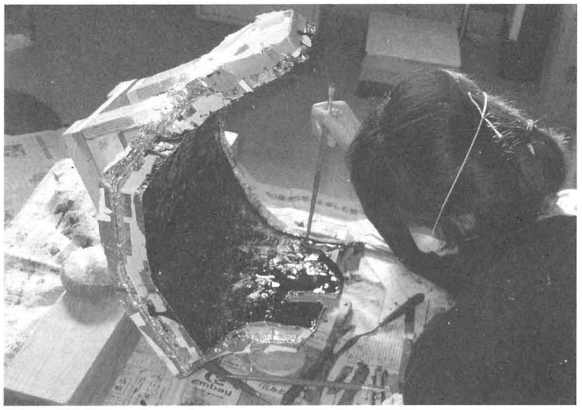


写真37　エポキシ樹脂塗布作業

写真38　石膏型の取り外し作業

写真39　鉄板の取り外し作業

写真40　内型前胴と後胴の接合前整形作業

写真41　内型前胴と後胴の接合作業

写真42　内型の整形作業

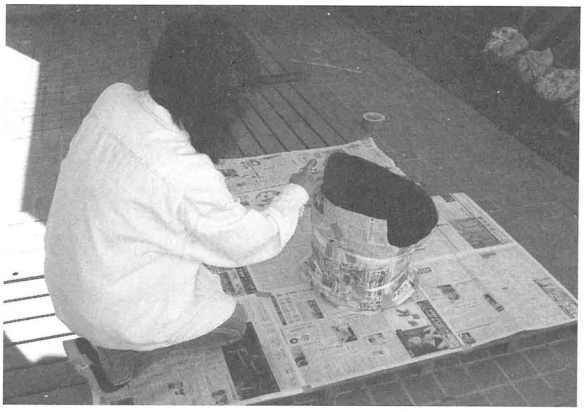


写真43　内型内面の塗装作業

写真44　内型への鉄板配置状態（前から）

写真45　内型への鉄板配置状態（後から）

3．　林２号墳出土短甲の保存処理

（1）取り上げ

林２号墳出土の短甲は、右前胴が分離した状態で検出された。大きな欠損はなく、ほぼ完形の状態である。鋲留短甲であるため鉄板の分離は無く形状自体はよく保たれていたが、鉄板は薄く、表面にはサビ瘤が目立つ状態であり、かなり脆弱化していることが予測された。

取り上げには慎重を期し、短甲下部の土を少しずつ除去しながら短甲全体にアクリル樹脂（パラロイドＢ-72の10％キシレン溶液）を塗布してガーゼで表打ちをして固め、その上をアルミ箔で覆ってからさらに外部を石膏で固めた。石膏が完全に硬化してから、短甲下部の土ごと切り取って取り上げた。取り上げ後は、室内に持ち込んで補強材および短甲付着土砂の除去を行った。

写真46　アクリル樹脂塗布作業

写真47　石膏塗布作業

（2）クリーニング、脱塩処理

クリーニングは短甲周囲および部分的に付着する獣皮状の物質に留意しながら、泥およびサビ膨れの除去を行った。泥の除去には竹串、メス、筆ブラシを用い、サビ膨れの除去にはニッパ、リューターを使用した。また、微細な泥やサビの除去にはエアブレイシブを使用した。クリーニングに際しては資料性を第一に考え、進行状況を調査者と確認しながら作業を進めた。

クリーニング後にはサビの発生を抑制するために安定化処理を行う。脱塩処理は遺物中に含まれる塩化物イオンなどの腐食促進物質を抽出、除去する作業である。塩化物イオンは水への溶解度が高いため、通常は防錆剤を溶解した水溶液を処理溶液として用いる。しかし、塩化物イオンの濃度が極端に高くなると、防錆剤の効力が減殺され処理溶液中でもサビが発生してしまう。本例では遺物重量の10倍の処理溶液に浸漬し約70℃に加温して脱塩処理を行ったところ、たった１日で溶液が赤色に変色するほどのサビが発生した。処理溶液中の塩化物イオン量を塩素イオンメーターで測定したところ、後胴の当初値では86ppm程になった。溶液の赤色化が収まり塩化物イオン値が恒常化するまで、溶液交換は13回繰り返し行った。

第１表　抽出塩化物イオン濃度表（ppm）

No.	遺物名	重量(g)	１回目	２回目	３回目	４回目	５回目	６回目	７回目	８回目	９回目	10回目	11回目	12回目	13回目
1	林２号墳短甲（後胴）	2501.8	86.00	63.60	-	52.40	36.40	13.00	7.58	-	8.14	5.42	5.03	5.97	7.68
2	林２号墳短甲（前胴）	1515.5	17.60	17.00	-	22.90	-	13.90	9.67	8.01	9.00	5.63	5.56	7.81	6.41

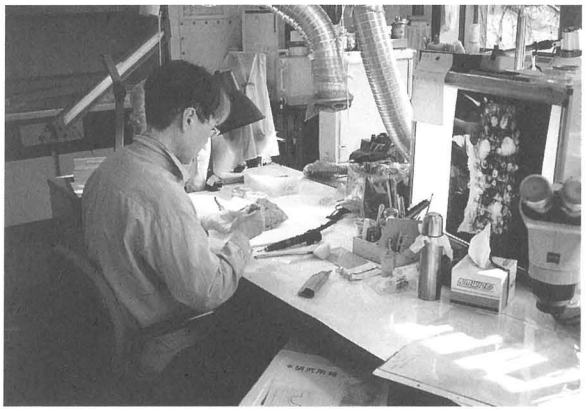


写真48　クリーニング作業

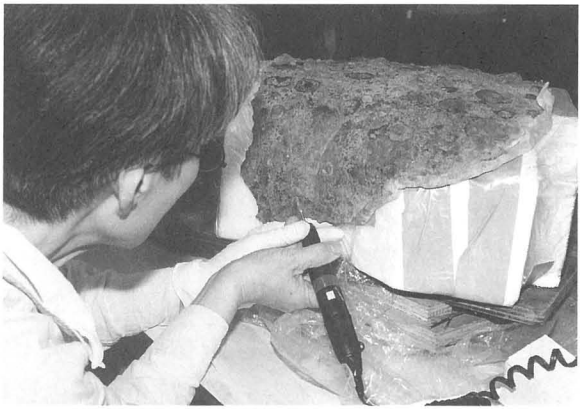


写真49　クリーニング作業（リューター使用）

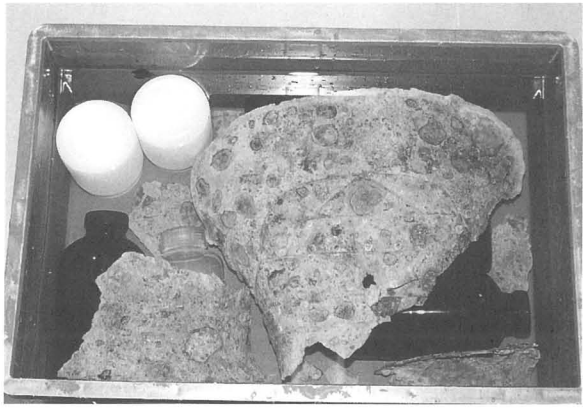


写真50　脱塩処理

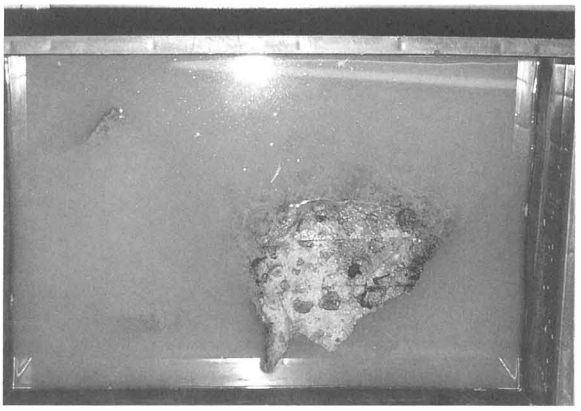


写真51　脱塩処理中（１日後）に発生した赤サビ

（3）防錆処理、強化処理

脱塩処理後は防錆剤の含浸作業を行った。薬品はダイカンの３％エタノール溶液で、この処理は鉄地表面に耐水性の分子被膜を生成することを目的としている。その後さらにT.T.Sの２％キシレン溶液の含浸を行った。この処理はダイカン処理による耐水分子被膜の補足強化で、大気中からの凝結水に対する撥水効果の強化を目的としている。

防錆処理後は強化処理を行いアクリル樹脂の減圧含浸を行った。樹脂は取り扱いの良さと仕上がりの良さを考慮してプライマルMV-１を使用している。減圧含浸後には余分な樹脂をよく拭き取り、充分に乾燥させた。

（4）修　復

強化処理後は接合作業を行う。林２号墳の短甲はほぼ完形で出土しているが、全体的に力学的なひずみが潜在していたようで処理中に破損が起きていた。このひずみによって破片も変形したらしく破片同士を正位置で接合していくと、最終的に元の形状が復原せず、ひずんだ形状になってしまうことが確認された。そのため実際に接合作業を行う前に調査者と復原形状を検討し、資料性を損なわずかつ美的にも満足できる形状を確認した。接合にはシアノアクリレートを用い、やや大きい間隙部にはガラスクロスを装填しシアノアクリレートで固めた。その他の間隙部、サビ瘤の除去跡などにはフェノールマイクロバルーン混合のエポキシ樹脂を補填し乾燥後に整形した。この樹脂補填部は記録写真を撮影した後にアクリル絵の具で補彩した。

写真52　強化処理（樹脂含浸）作業

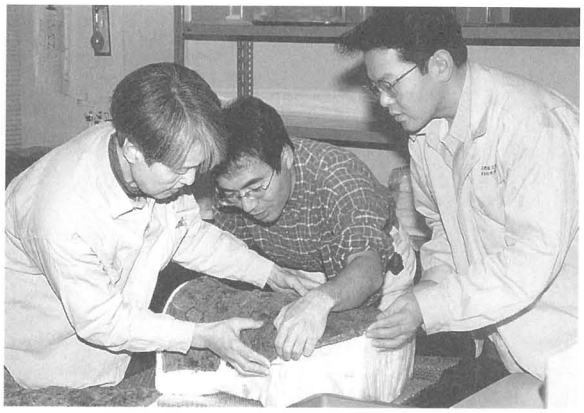


写真53　接合確認作業

写真54　修復（整形）作業

写真55　保存処理後

写真56　文殊堂古墳群出土金属製品の保存処理前状況①

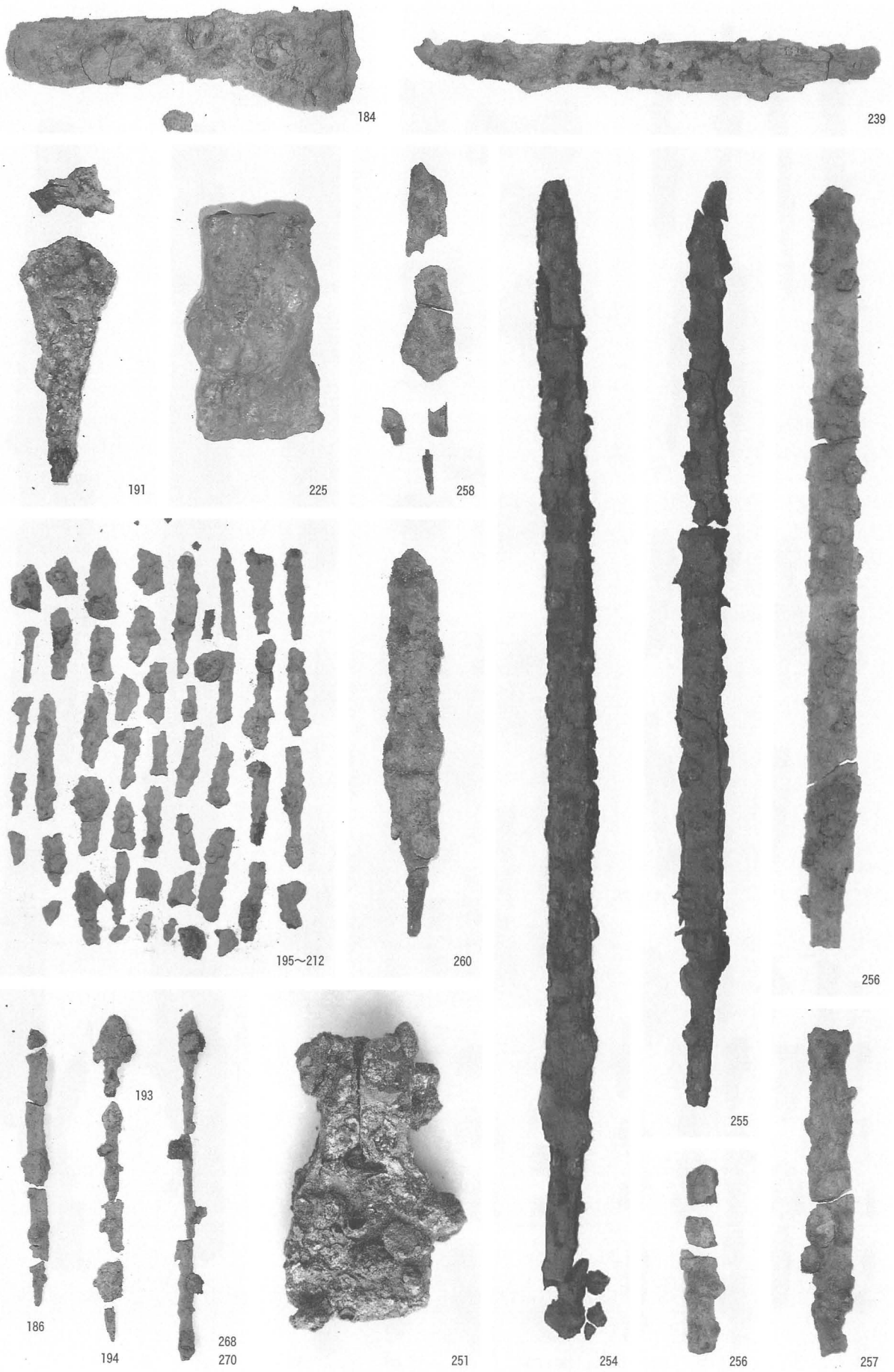


写真57　文殊堂古墳群出土金属製品の保存処理前状況②

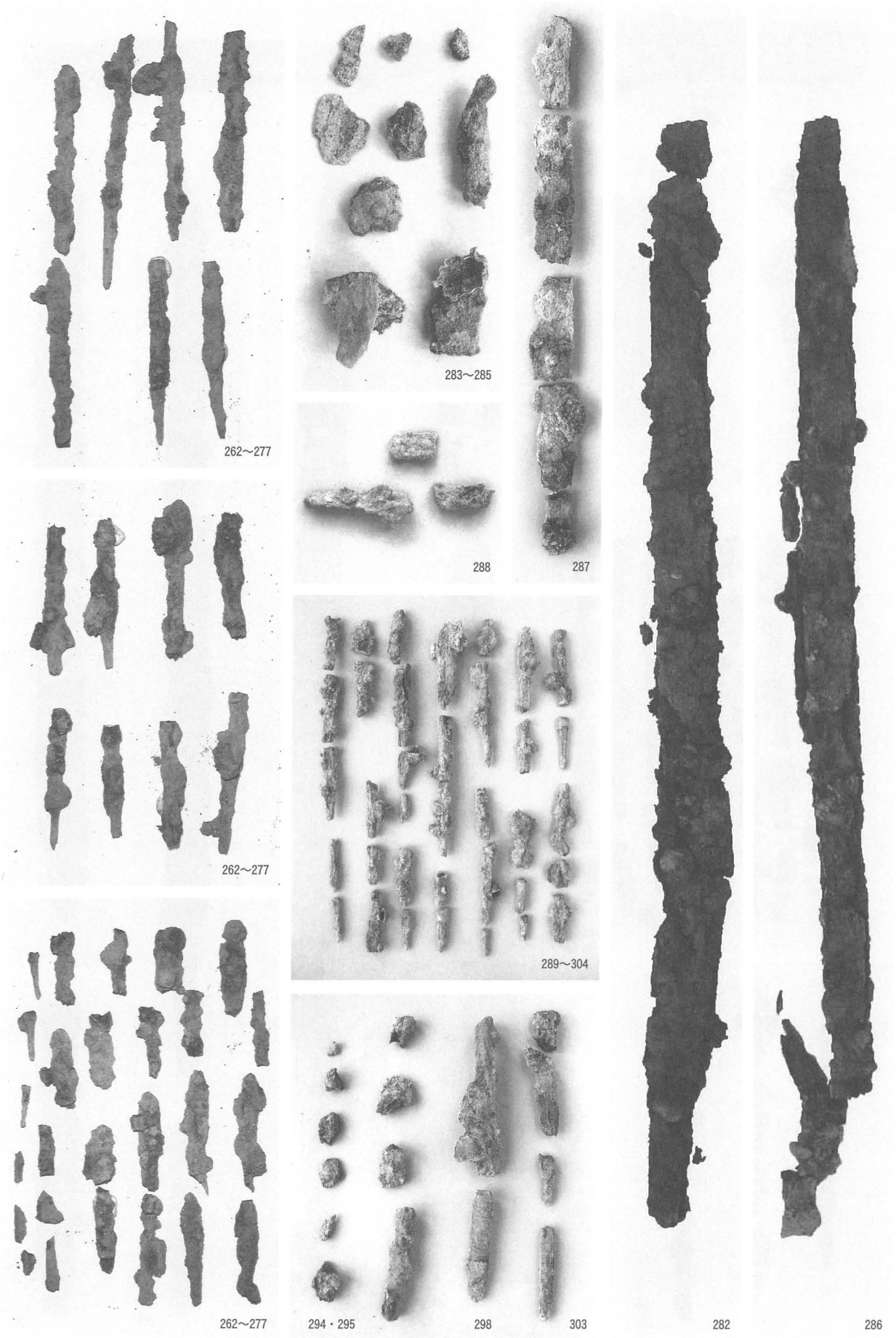


写真58　文殊堂古墳群出土金属製品の保存処理前状況③

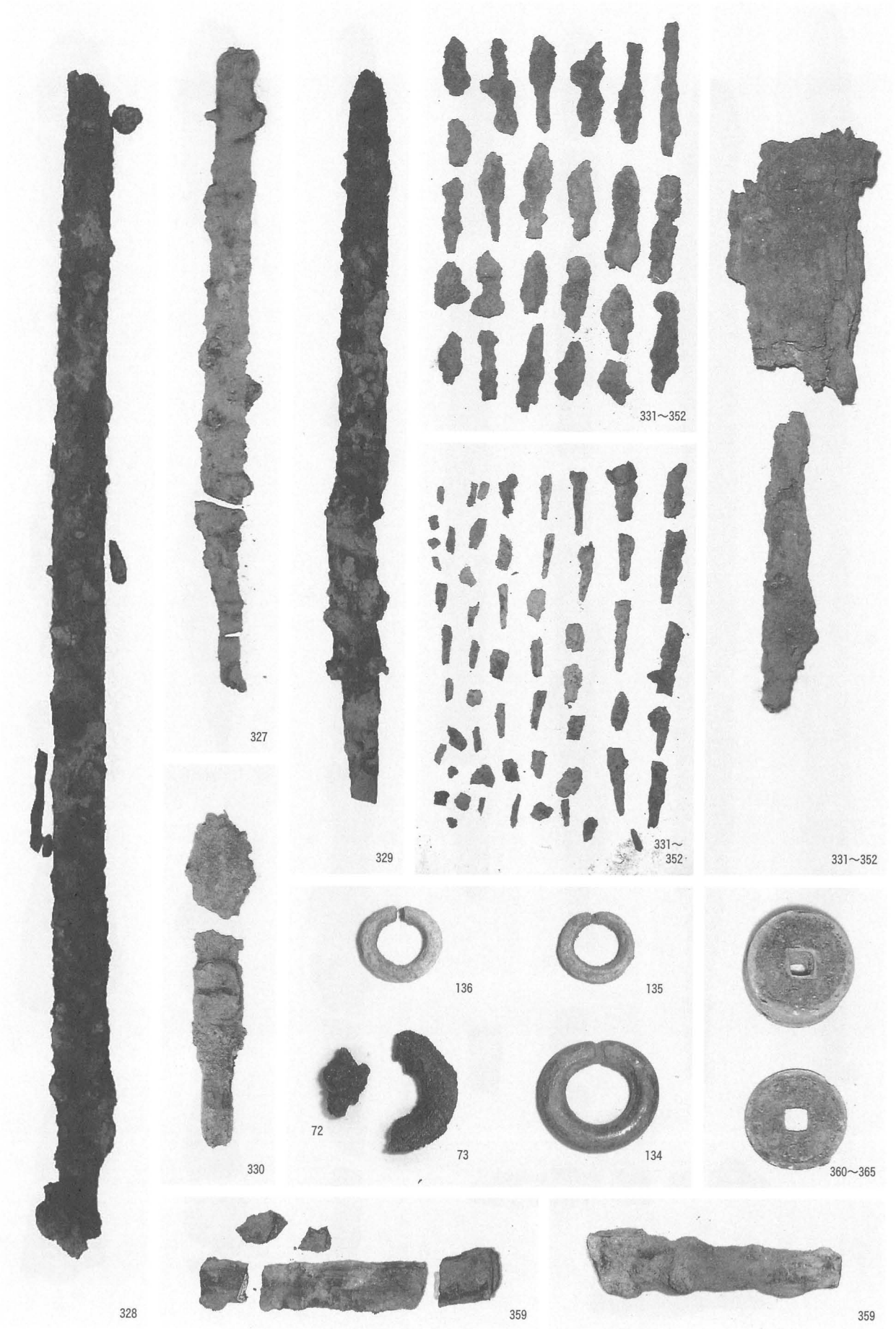


写真59　文殊堂古墳群出土金属製品の保存処理前状況④

写真60　林古墳群出土金属製品の保存処理前状況①

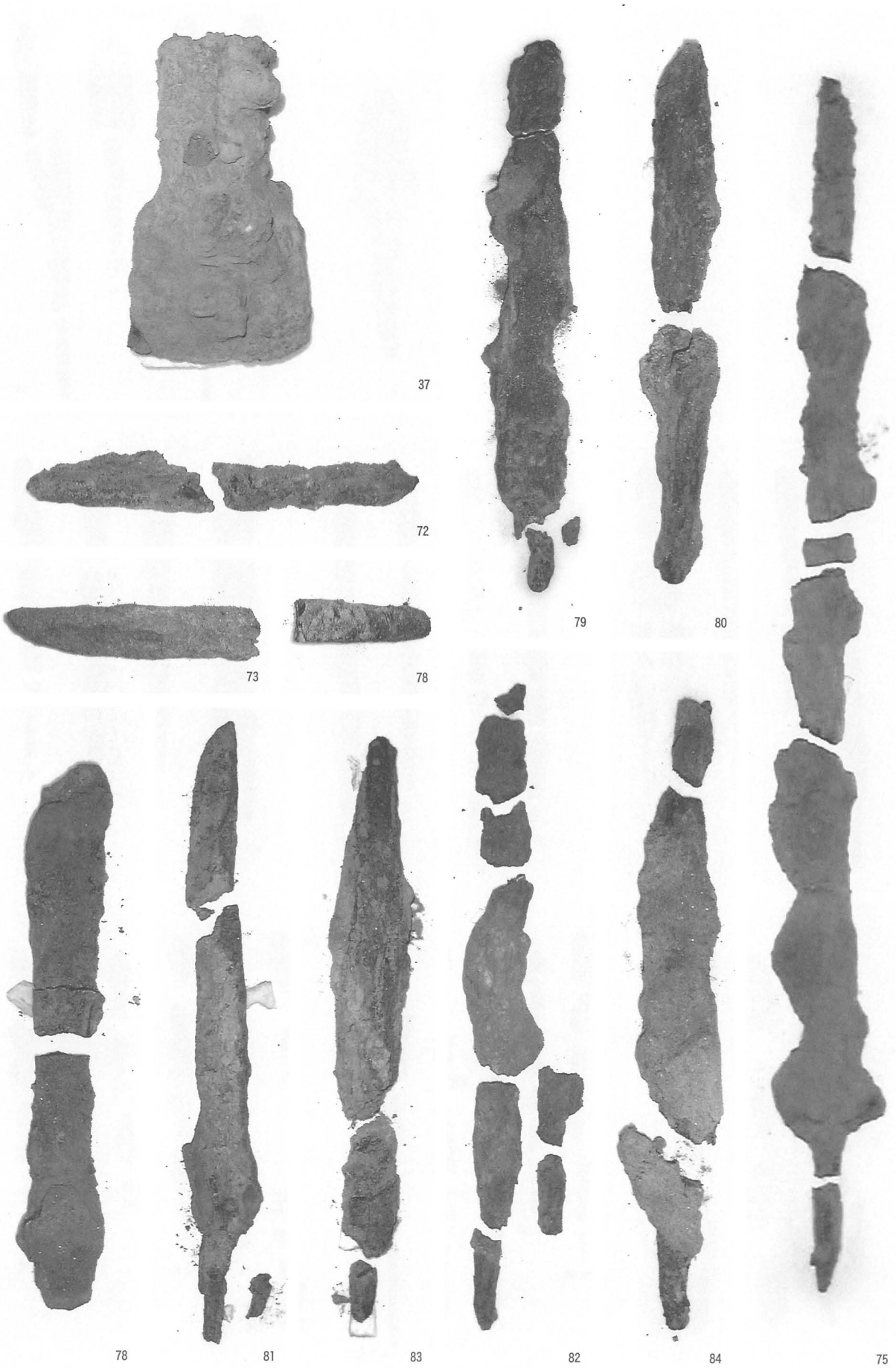
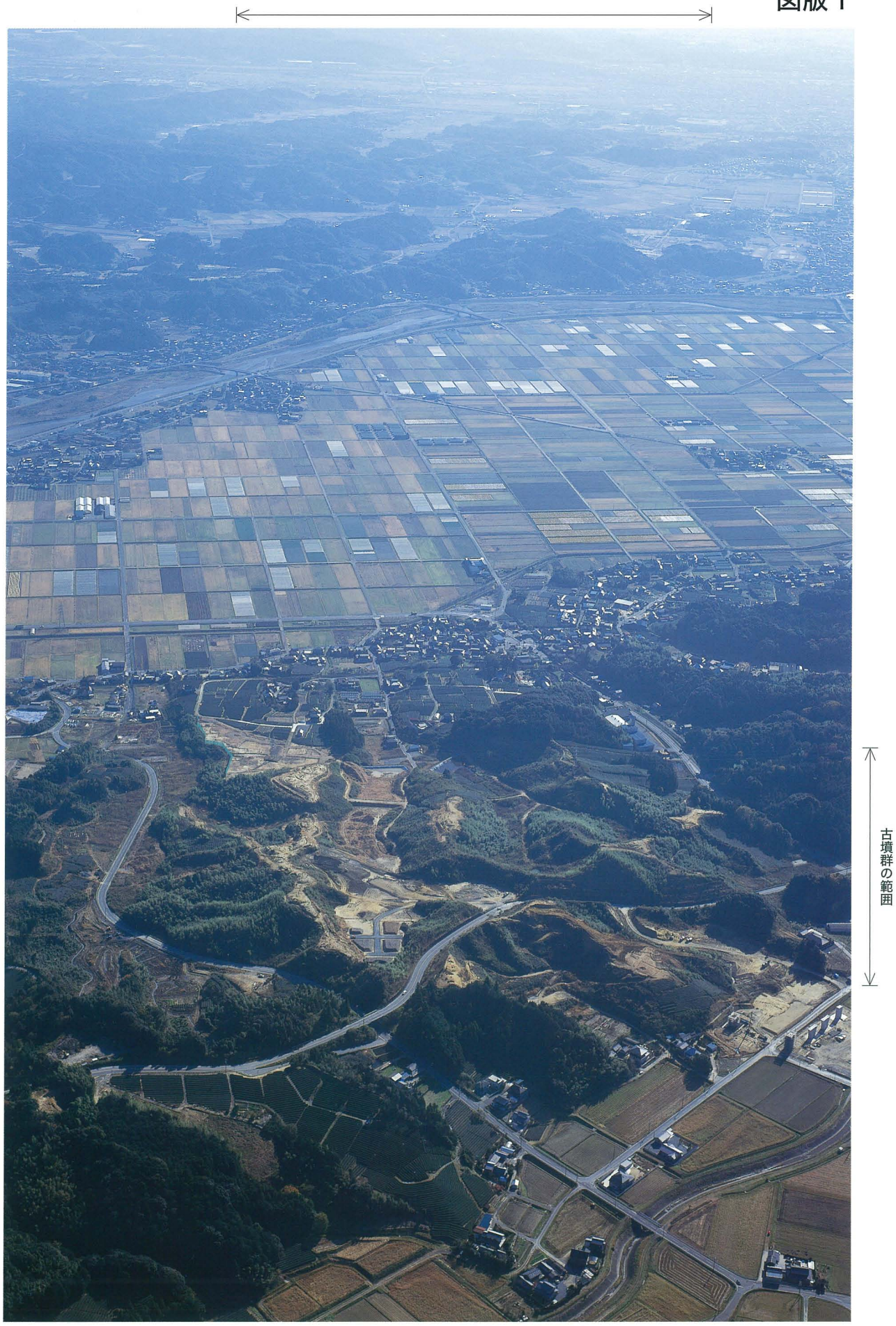


写真61　林古墳群出土金属製品の保存処理前状況②

写真62　林古墳群出土金属製品の保存処理前状況③

写真図版

図版 1



北西からの遠景（円田丘陵および太田川流域を望む）

図版 2

1．円田丘陵の古墳群（南からの全景）

2．文殊堂１～５・７号墳（北から）

1．文殊堂６・８～12号墳（南西から）

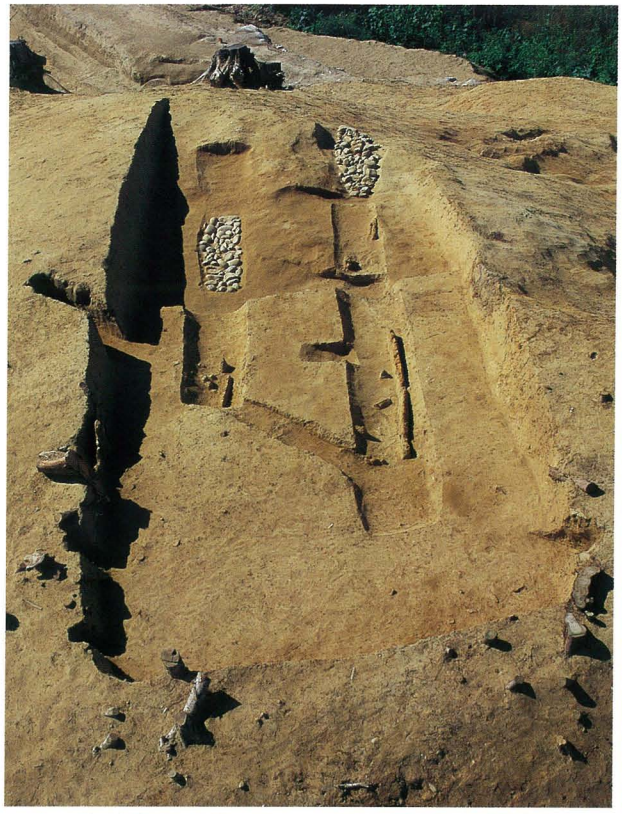
2．文殊堂５号墳　横穴式石室（南から）

図版 4

1．文殊堂 8 号墳　遠景（北から）

2．文殊堂 8 号墳　第 3 埋葬施設（南から）

3．文殊堂12号墳　墳丘（西から）



1．文殊堂８号墳　第１・２埋葬施設（北東から）

2．文殊堂11号墳　短甲出土状況（東から）

3．文殊堂11号墳　第１～３埋葬施設（西から）

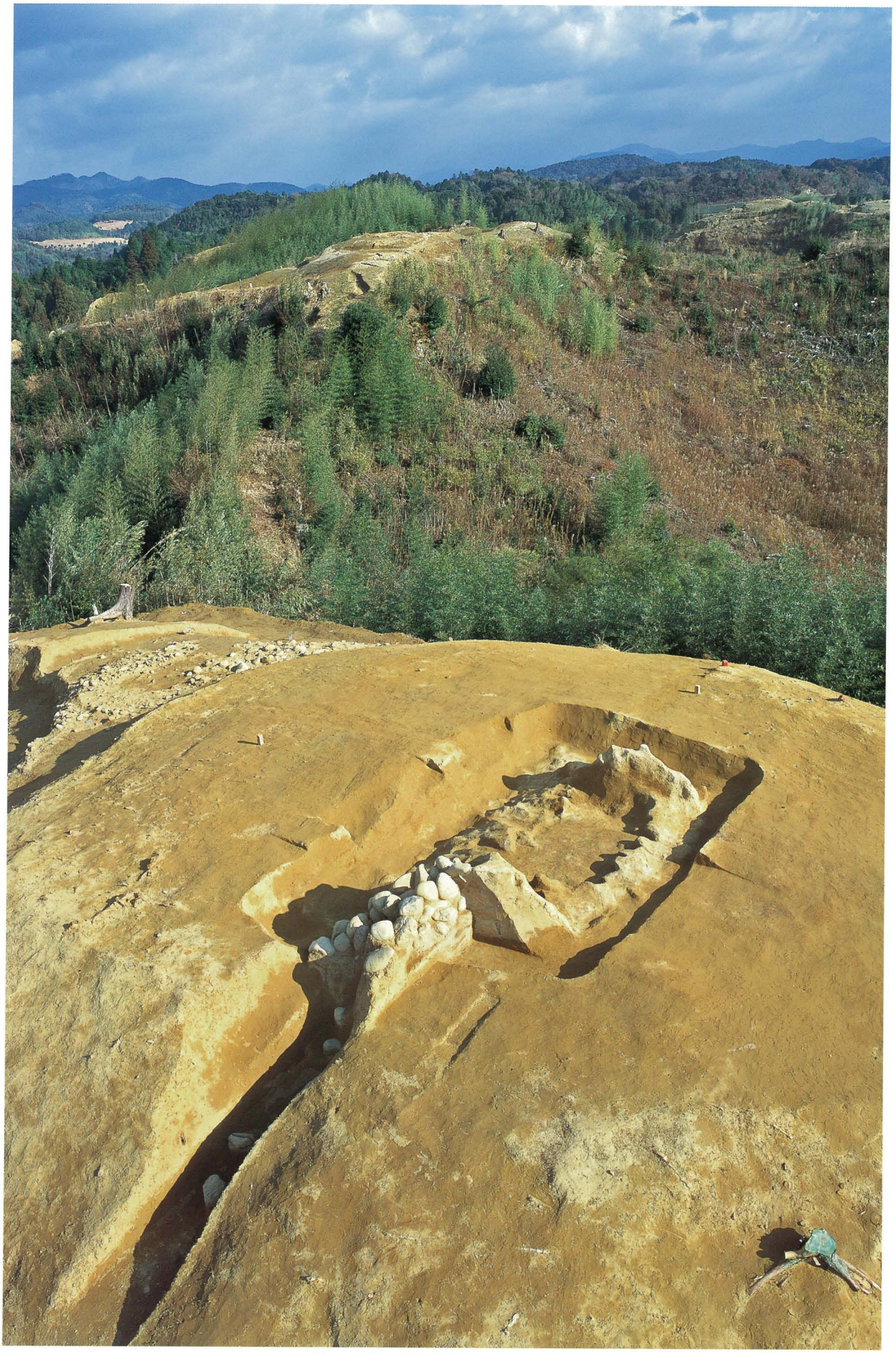
図版 6

1．宇藤蓮台１号墳　周溝内の土器群（北から）

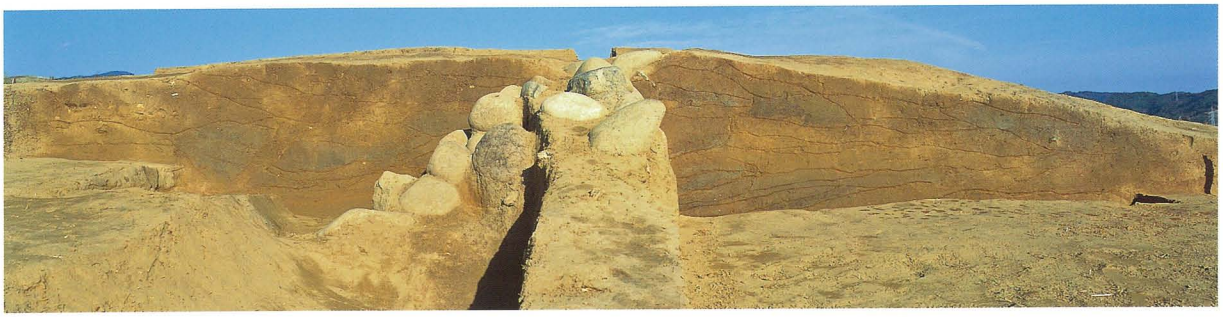
2．林２号墳　短甲周囲の土層（東から）

林２号墳　第１埋葬施設（南西から）

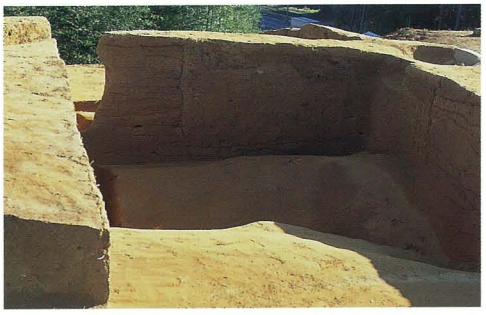
図版 8



林 5 号墳　横穴式木室（南から）



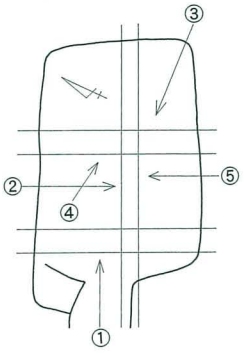
①



②

③

④



⑤

林 5 号墳　横穴式木室に関わる土層

宇藤蓮台１号墳　出土遺物

文殊堂 8 号墳　出土遺物

文殊堂11号墳　第１埋葬施設出土遺物

林２号墳　出土遺物

林５号墳　出土遺物

1．文殊堂古墳群１・２区（６・８～12号墳）（俯瞰）

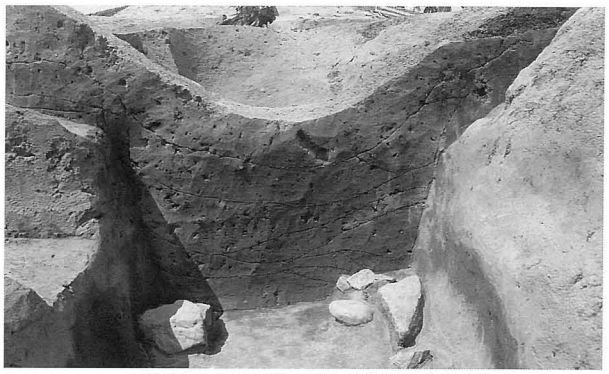
2．文殊堂古墳群３区（１～５・７号墳）（俯瞰）

図版16　文殊堂古墳群

1．1号墳　全景（南から）

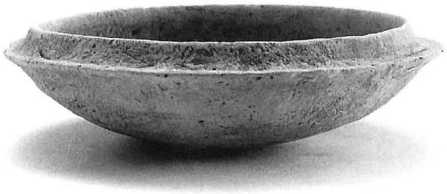
2．1号墳　盛土除去後の状態（南から）

1．１号墳　横穴式石室（南から）



2．１号墳　石室内の覆土断面（南から）

1



2

10

9

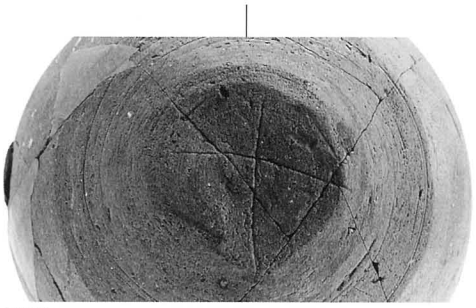
3

7

5

4

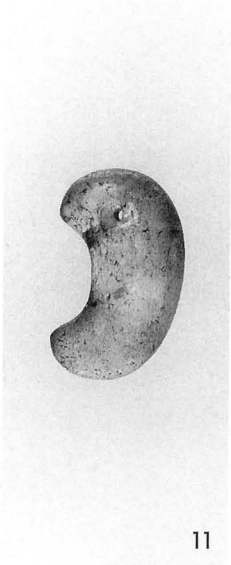
8



3．１号墳出土土器①

図版18　文殊堂古墳群

6



11

17

18

13

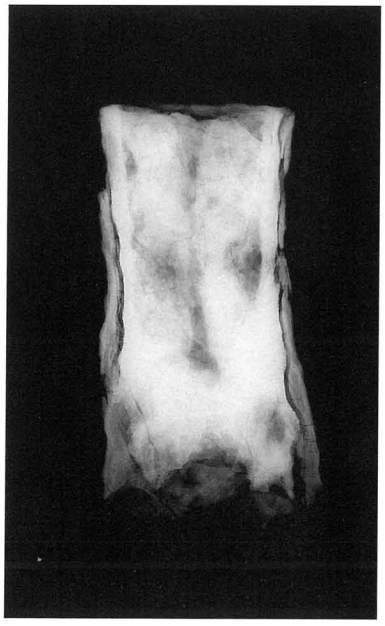
16

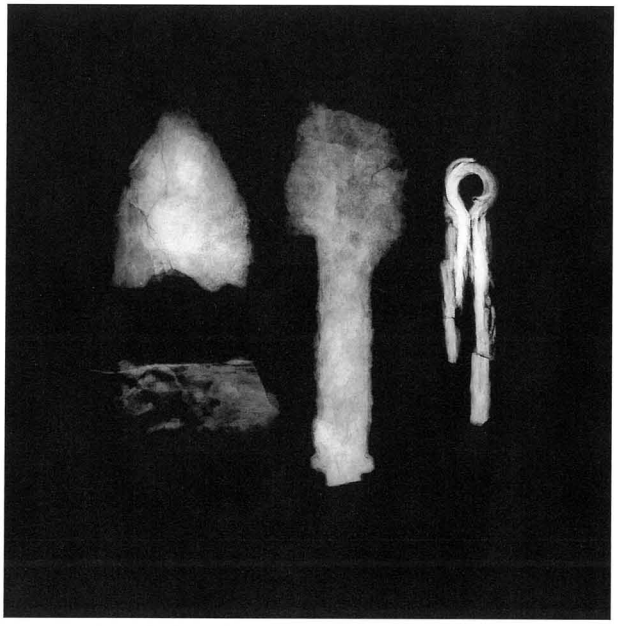
14

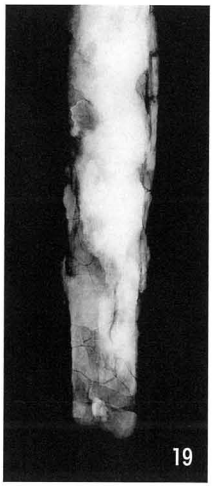
15

12

19

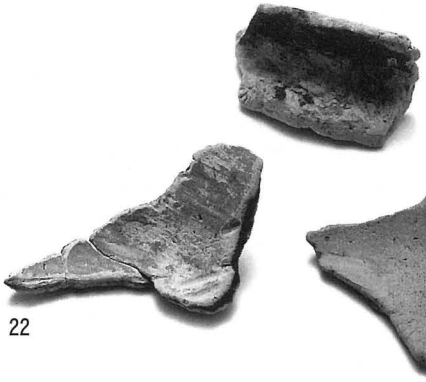


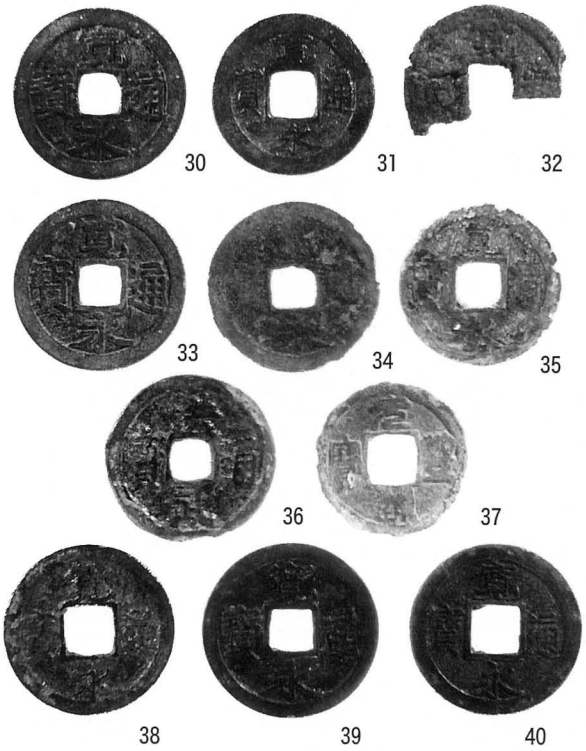


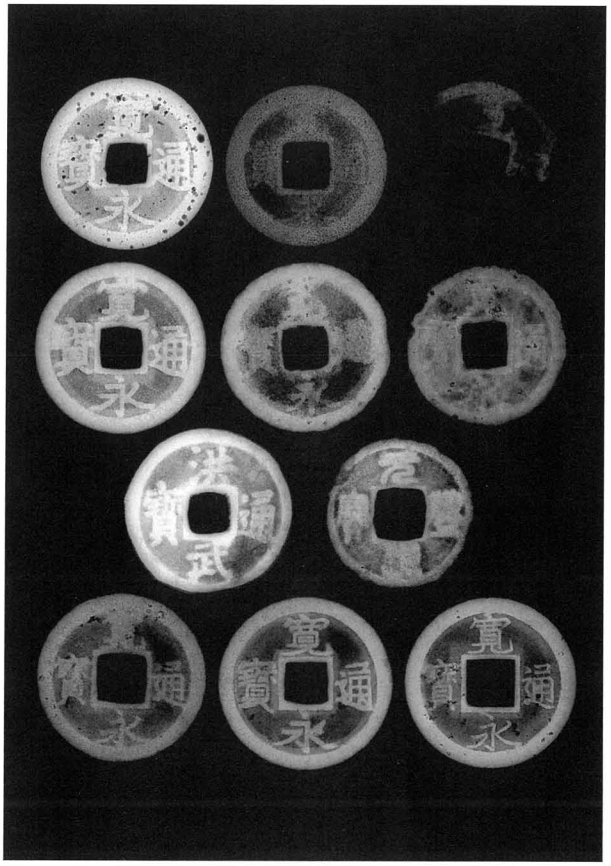


19

1号墳出土土器②、玉類、鉄製品







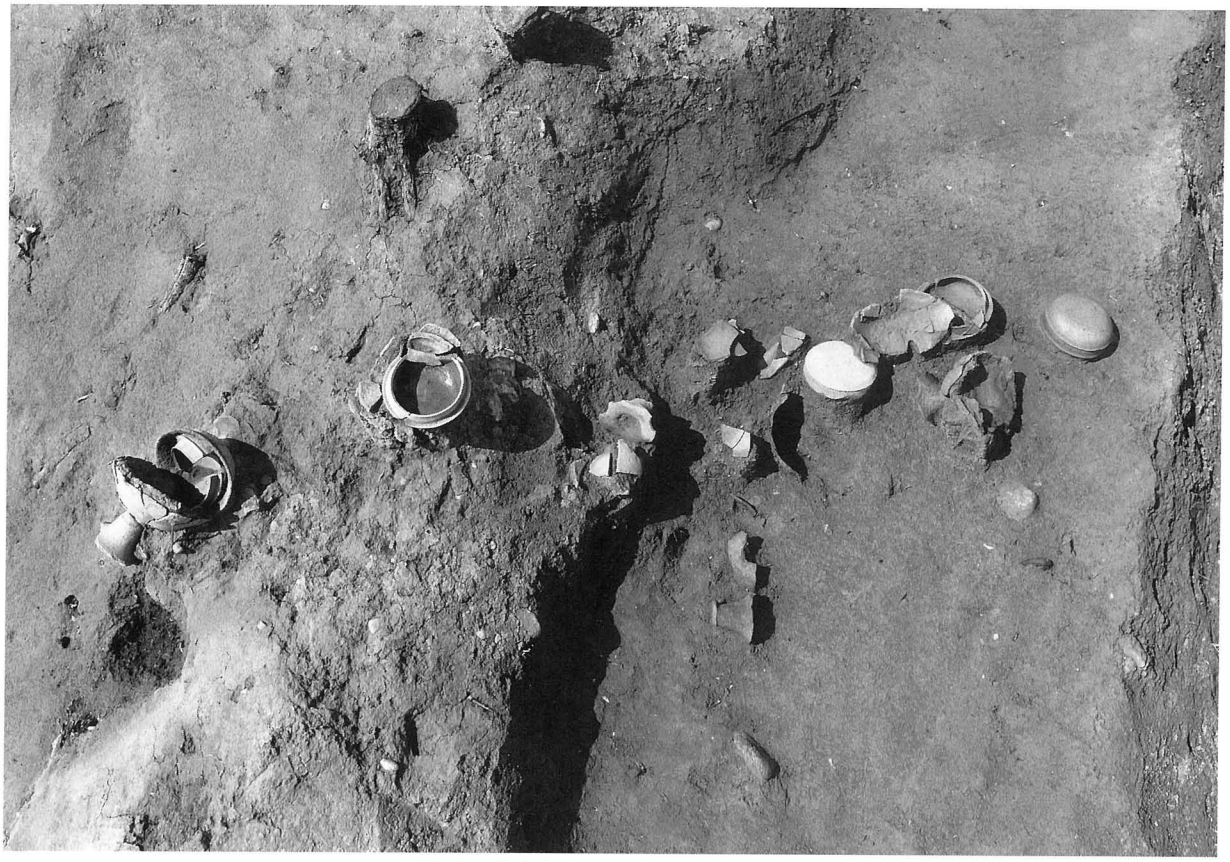
1号墳周辺出土の古代以降の遺物

図版20　文殊堂古墳群

1．２号墳　全景（南西から）

2．２号墳　盛土下の遺構群（北西から）

3．２号墳　北東部周溝土器出土状況（南東から）



1．2号墳　南東部周溝土器出土状況（南から）

2．2号墳　南東部周溝土器出土状況（東から）

42

43

44

3．2号墳出土土器①

図版22　文殊堂古墳群

45

46

49

47

41

50

51

52

53

2号墳出土土器②

54

59

55

61

60

62

48

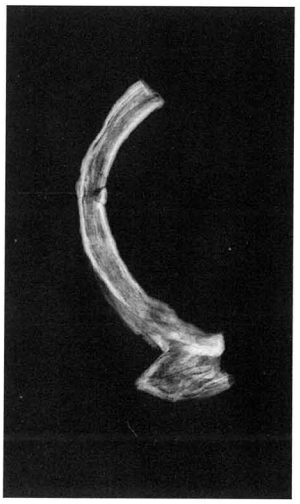
56

58

63

57

65



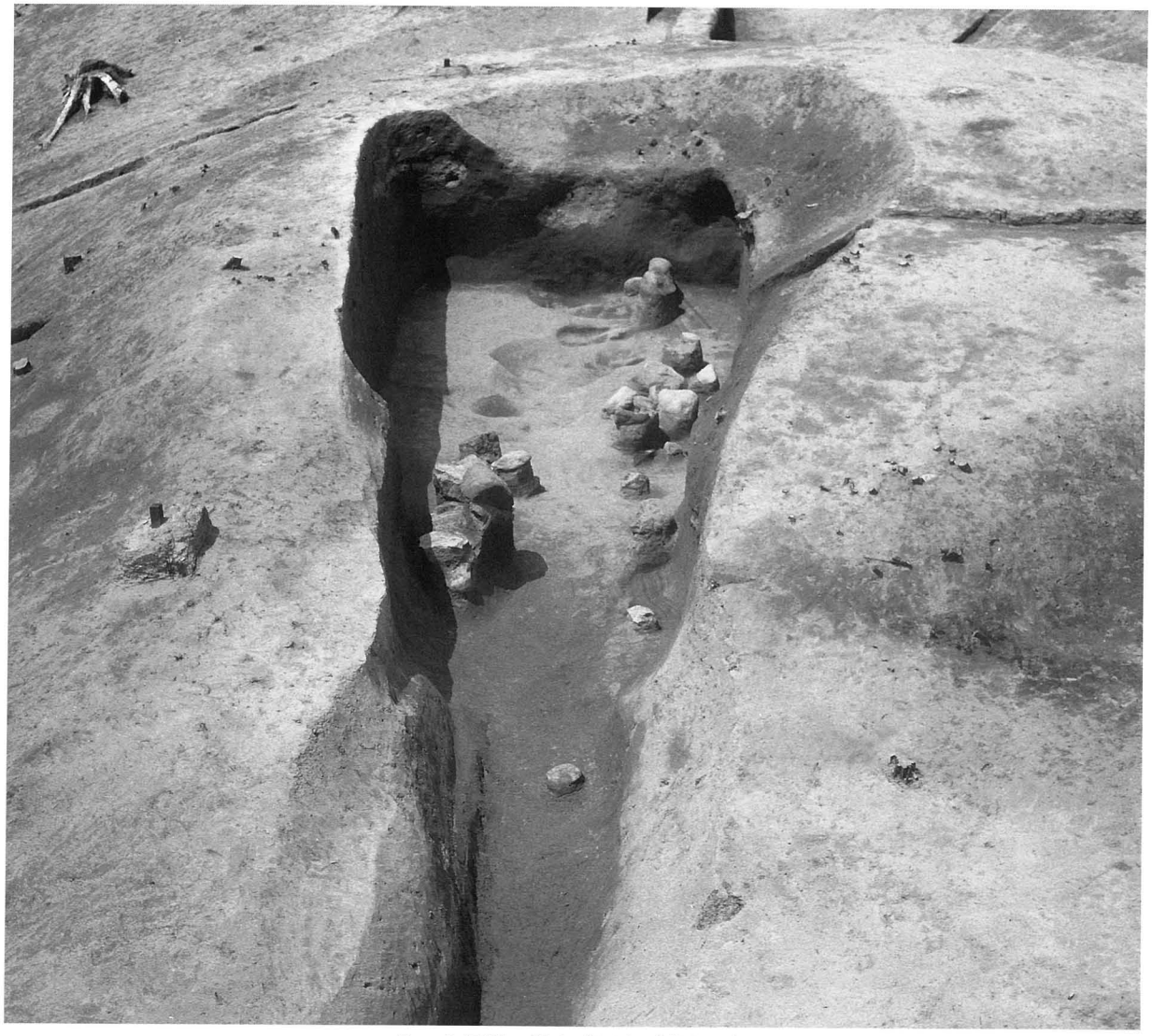
2号墳出土土器③、古代の土器、鉄製品

図版24　文殊堂古墳群

1．３号墳　全景（南西から）

2．３号墳　盛土除去後の状態（南西から）

1．3号墳　盛土下の遺構群（北西から）

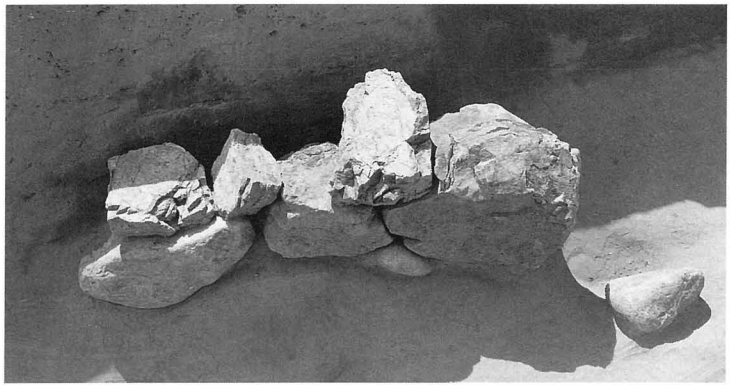


2．3号墳　横穴式石室（南から）

図版26　文殊堂古墳群

1．３号墳　墓道中の石群（東から）

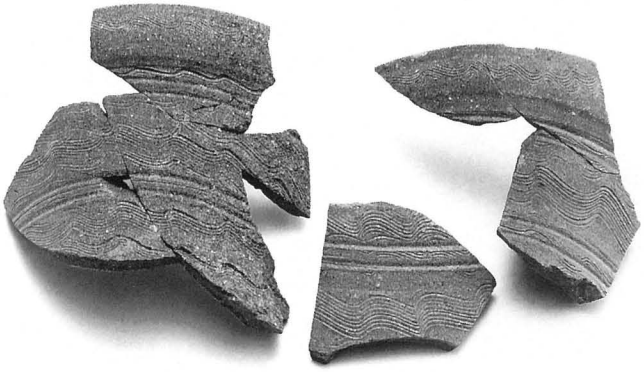
2．３号墳　石室内の覆土断面（南から）



3．３号墳　石室右（西）側壁（東から）

66

67



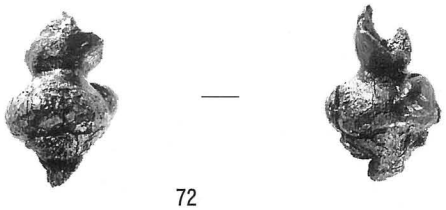
69

68

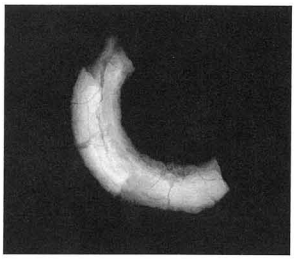
70

4．３号墳出土土器①

71



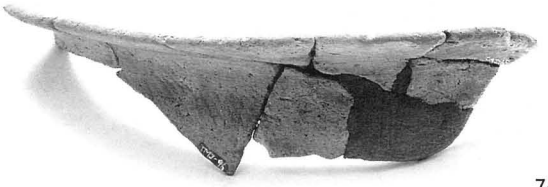
72



73

2．３号墳出土金属製品

75



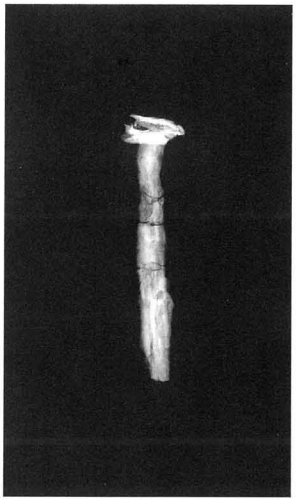
74

1．３号墳出土土器②

77

78

76



79

3．３号墳周辺出土の古代以降の遺物

図版28　文殊堂古墳群

1．４号墳　全景（南東から）

2．４号墳　盛土除去後の状態（南西から）

1．４号墳　西部周溝土器出土状況（北西から）

81　80　82

83

86

84

88

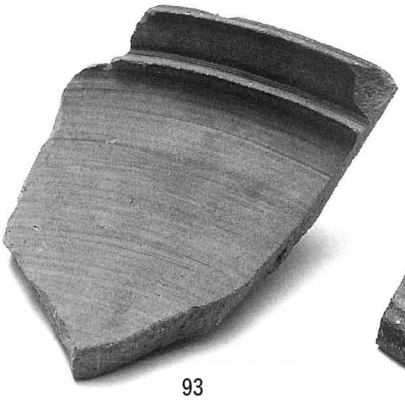
85

87

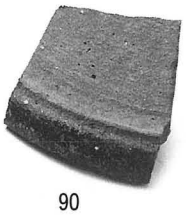
89

2．４号墳出土土器①

図版30　文殊堂古墳群



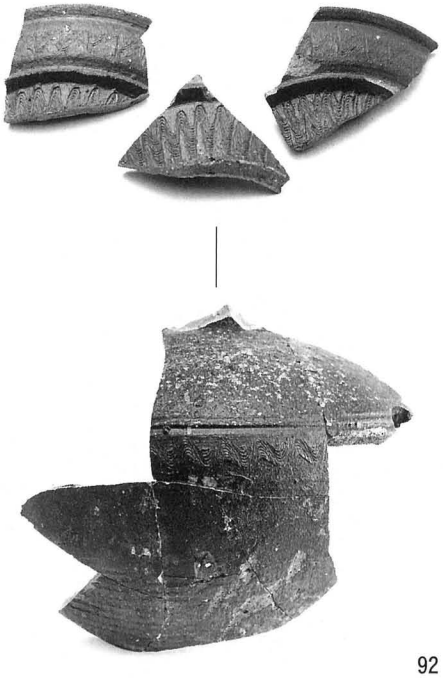
93



90

91

94

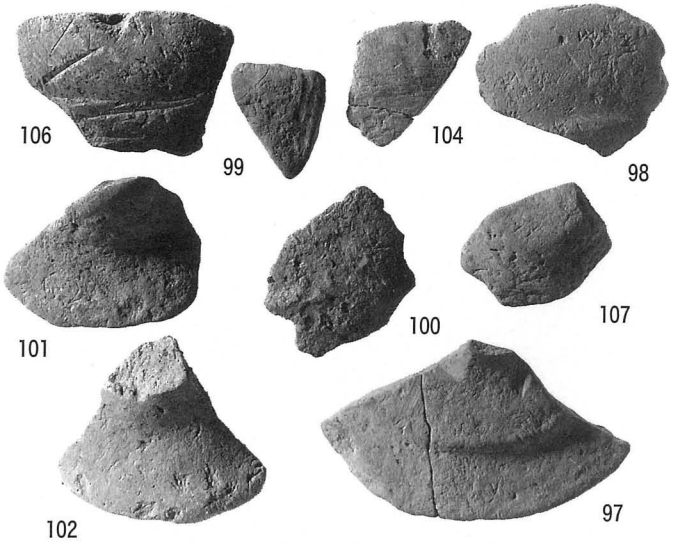


92

95

96

4号墳出土土器②



103

105

108

124

109

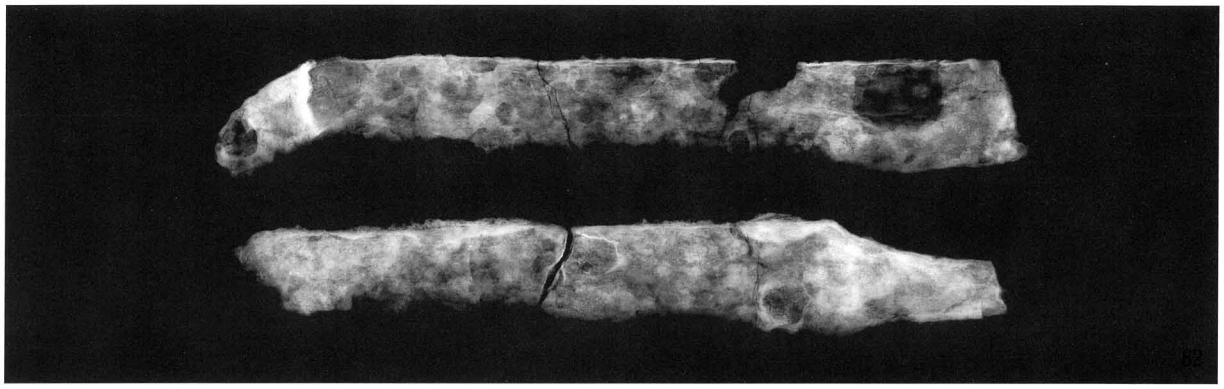
127

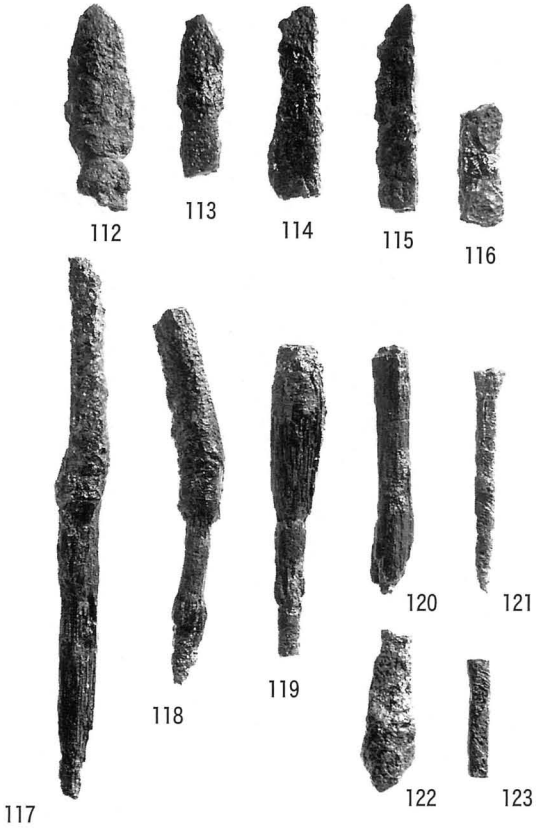
4号墳出土土器③、古代の土器

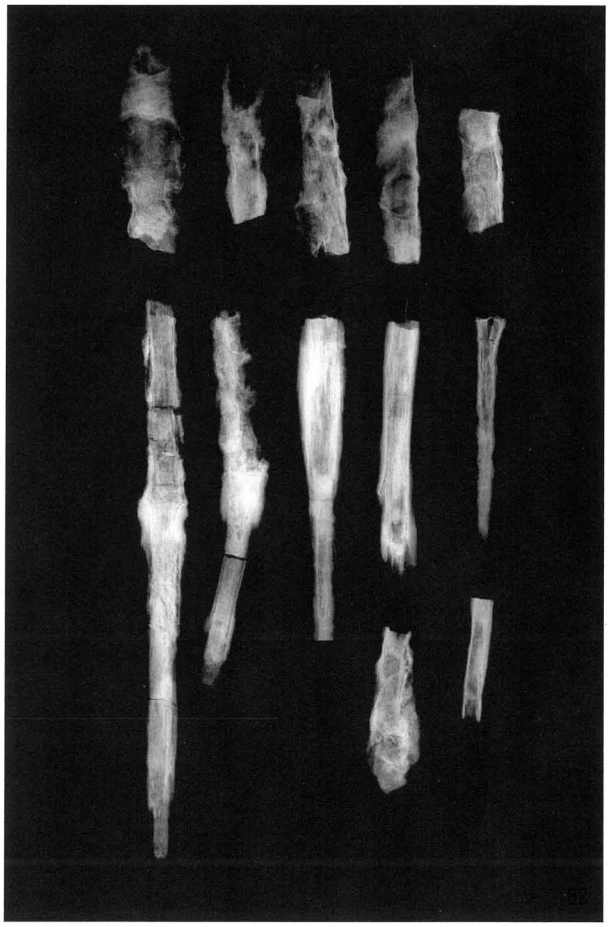
図版32　文殊堂古墳群

110

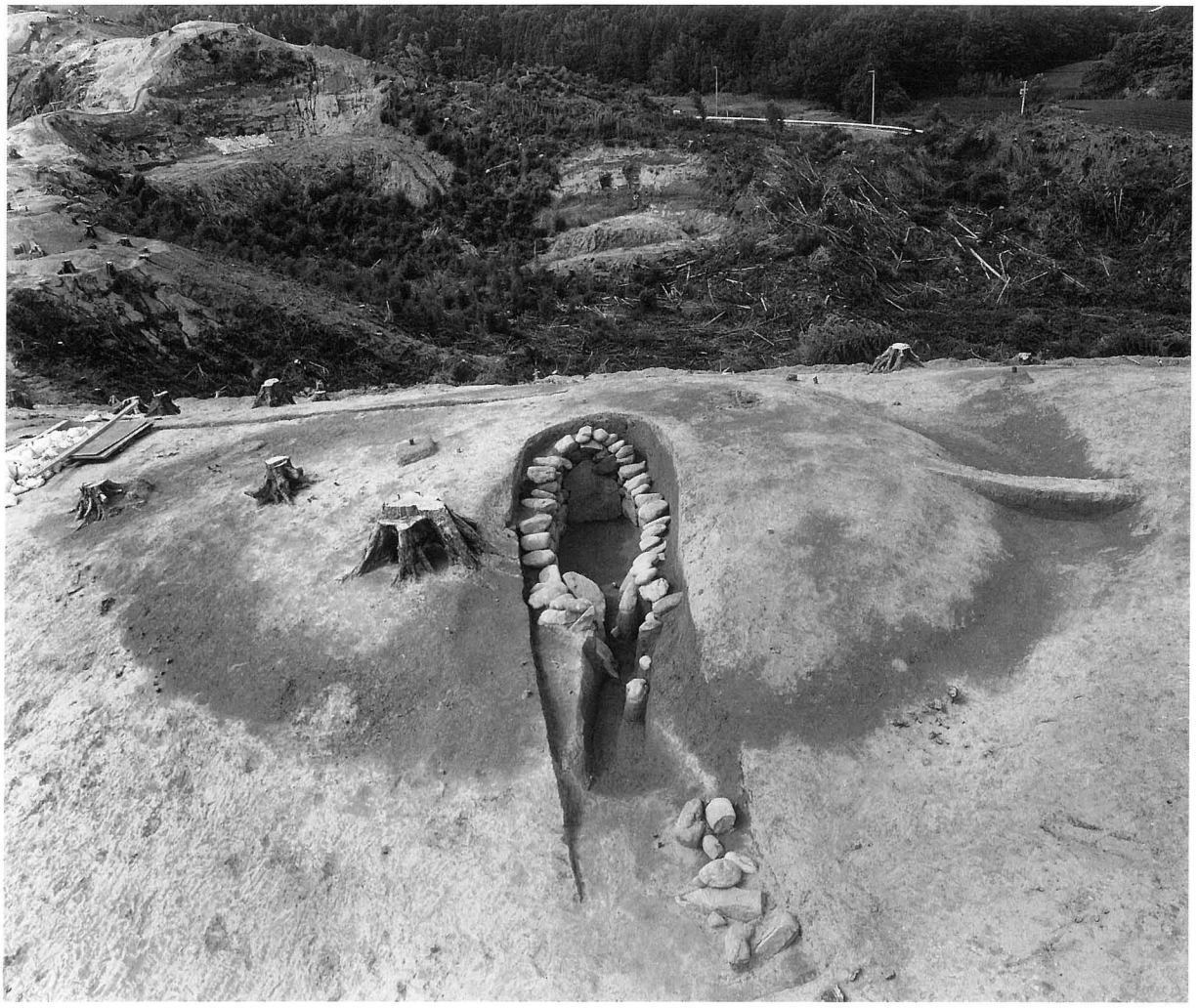
111







4号墳出土鉄製品



1．5号墳　全景（横穴式石室検出状況）（南から）

2．5号墳　盛土除去後の状態（南から）

図版34　文殊堂古墳群

1．５号墳　横穴式石室（南から）

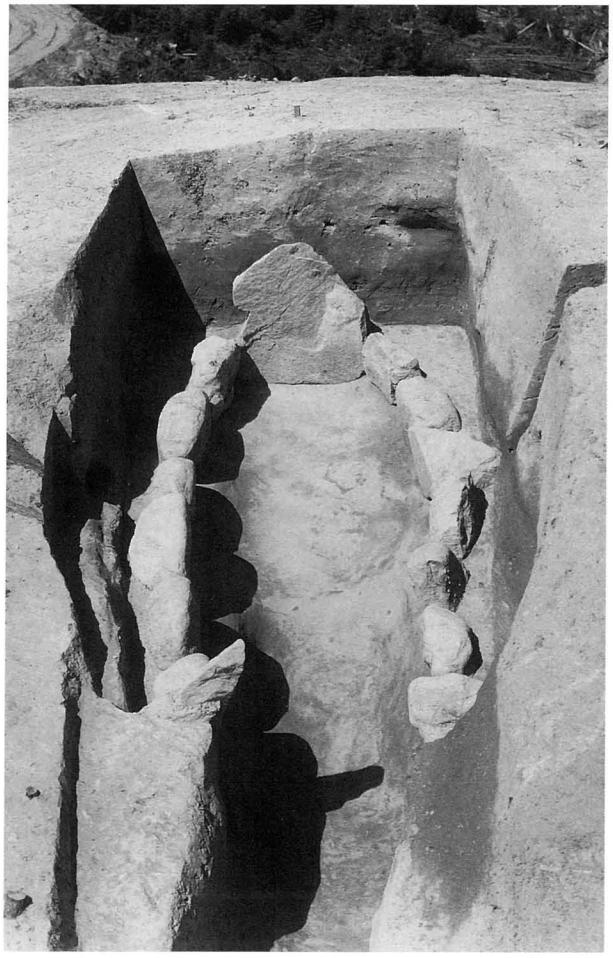
2．５号墳　横穴式石室（南から）

1．5号墳　石室右（西）側壁（北東から）

3．5号墳　石室内土器・耳環出土状況（南から）

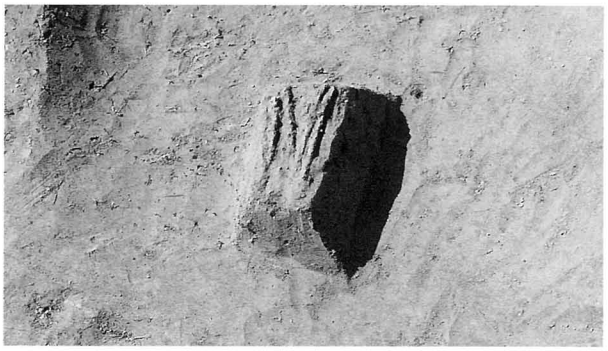
2．5号墳　石室左（東）側壁（北西から）

4．5号墳　石室内鉄鏃出土状況（西から）



5．5号墳　石室基底石（南から）

6．SF93（5号墳北東部）（北東から）



7．SF93 鉄鏃等出土状況（北東から）

図版36　文殊堂古墳群

128

130

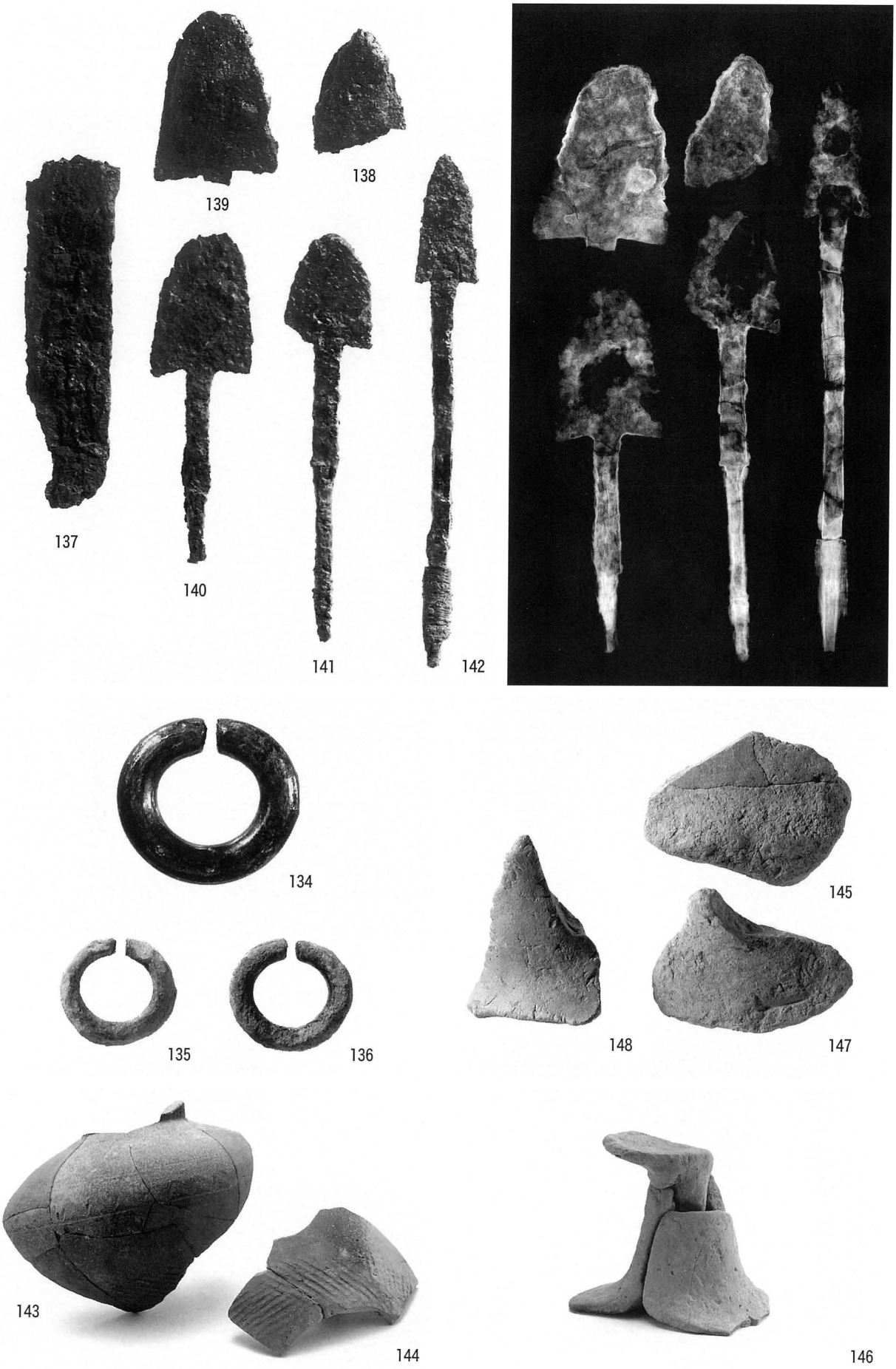
129

131

132

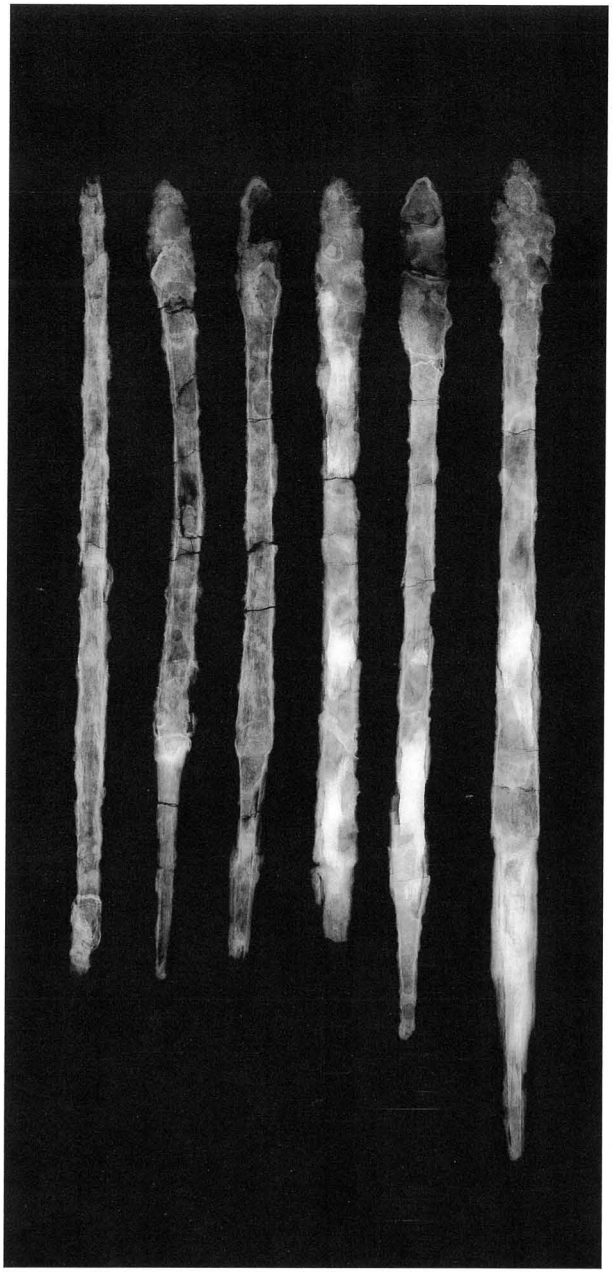
133

5号墳出土土器



5号墳出土金属製品、SF93関連土器

図版38　文殊堂古墳群

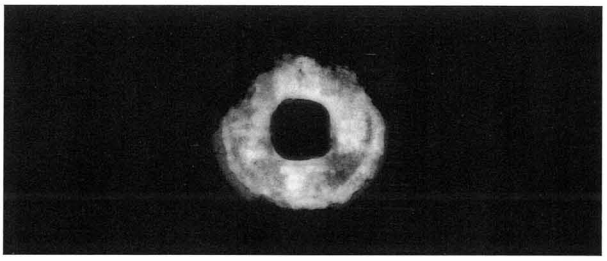


1．SF93出土鉄製品

156

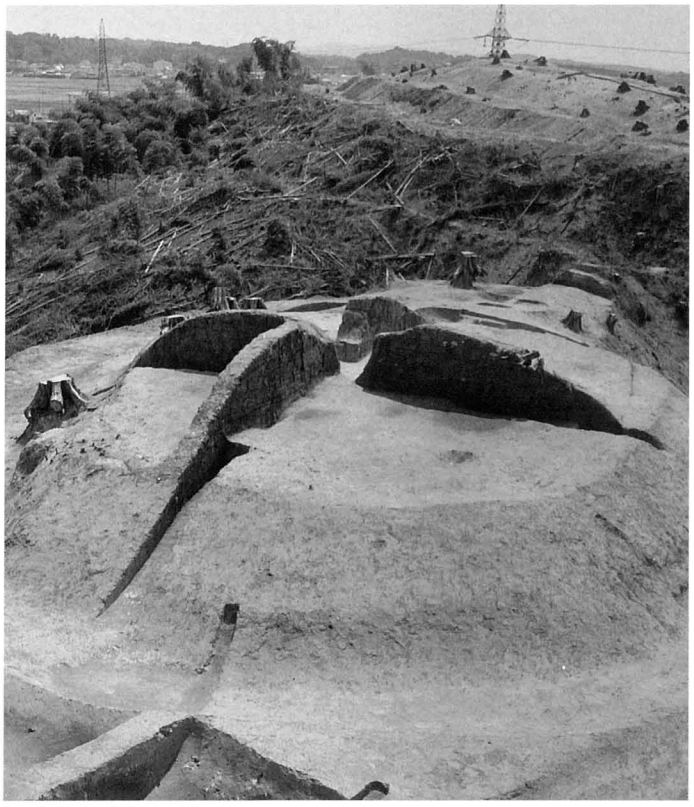
157

155



2．５号墳周辺出土の古代以降の遺物

1．6号墳　全景（北西から）



2．6号墳　盛土除去後の状態（北西から）

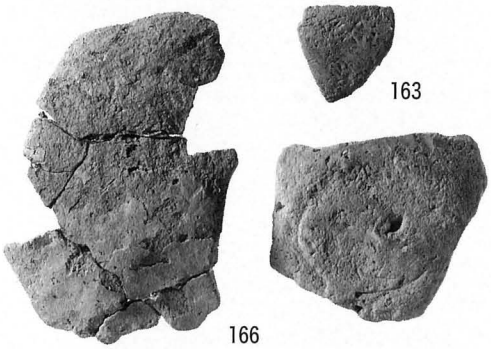
3．6号墳　北部周溝土器出土状況（西から）

図版40　文殊堂古墳群

158

159

160



163

166

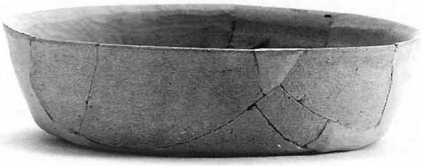
161

162

164

167

165



168

6号墳出土土器、古代の土器

1．７号墳　全景（南から）　中央の土坑は弥生時代の土坑墓

169

170

171

2．７号墳出土土器

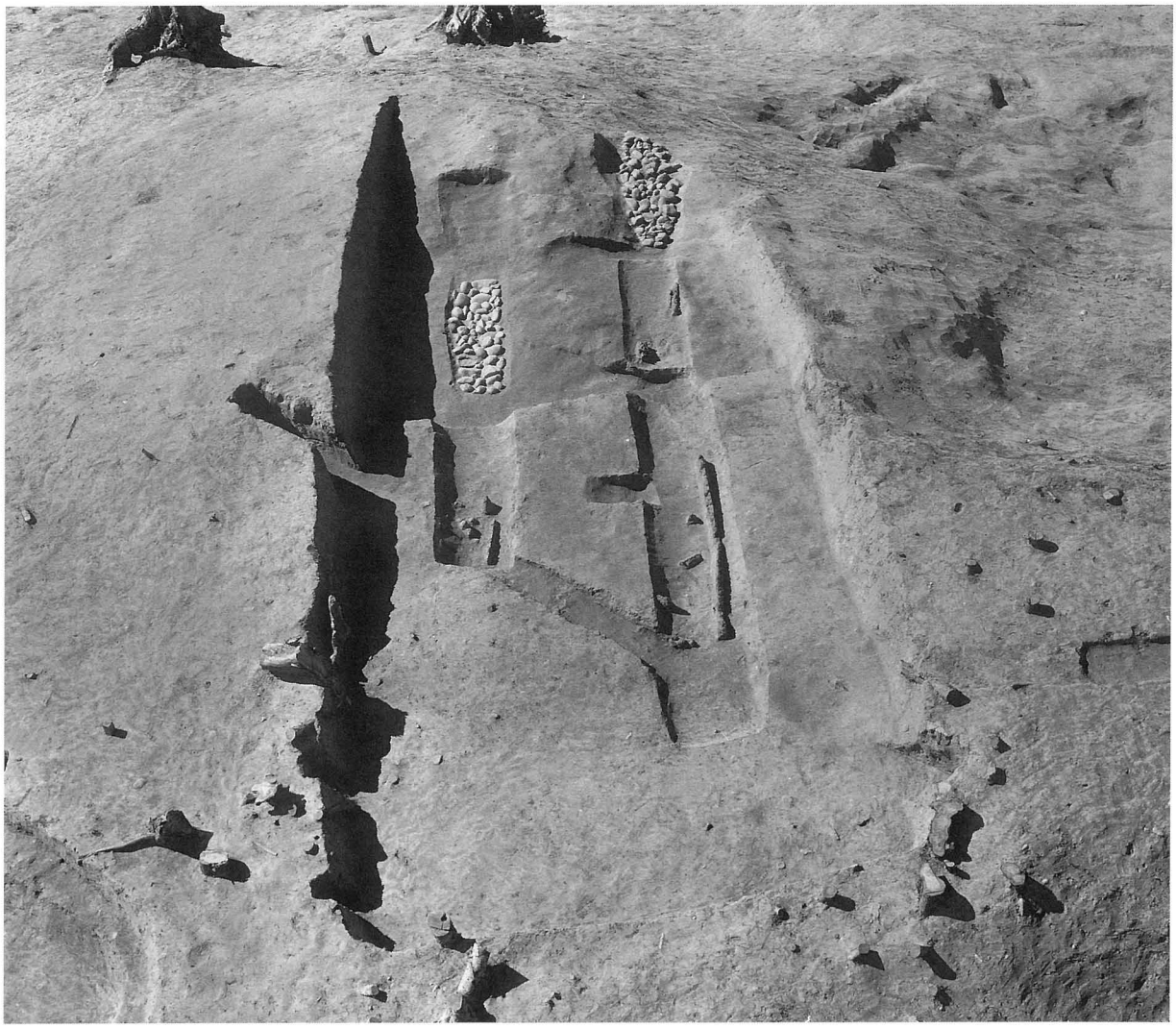
図版42　文殊堂古墳群

1．8号墳　全景（北西から）

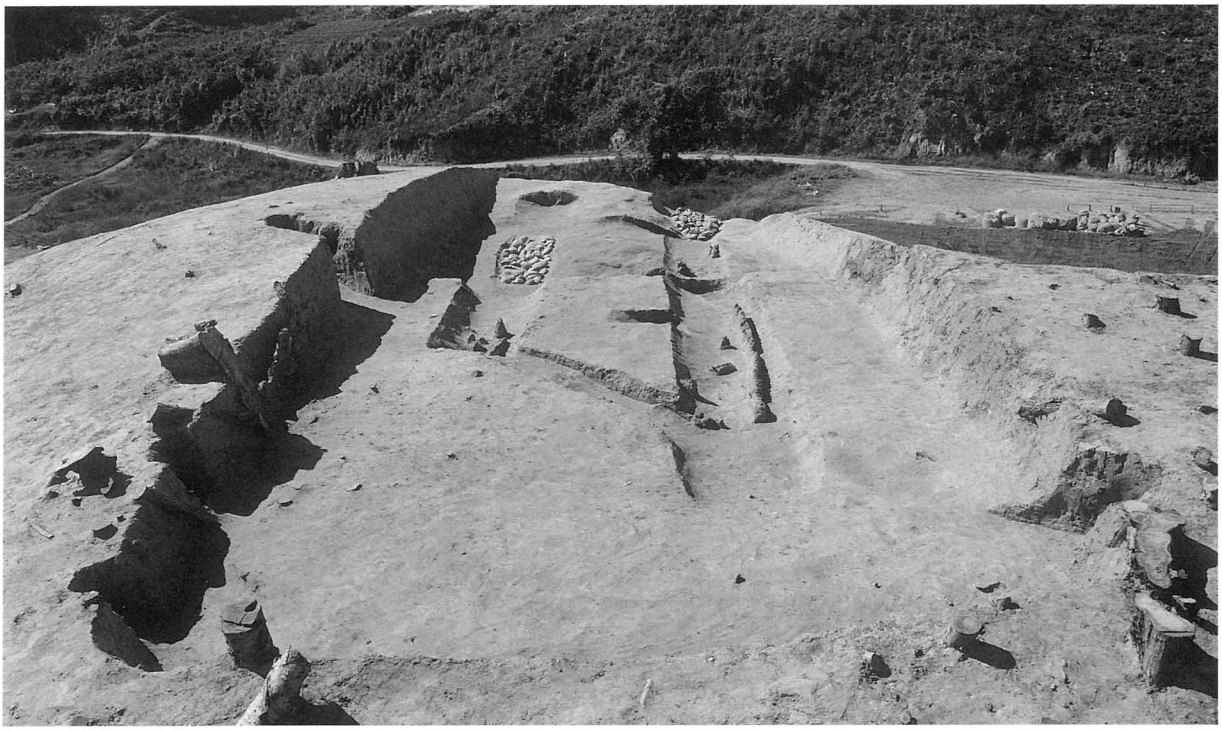
2．8号墳　北東部の盛土断面（北西から）

3．8号墳　盛土下の遺構群（北から）

4．8号墳　北部周溝土器出土状況（西から）



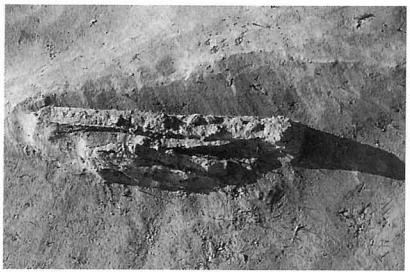
1．8号墳　第1・2埋葬施設（北東から）



2．8号墳　第1・2埋葬施設（北東から）

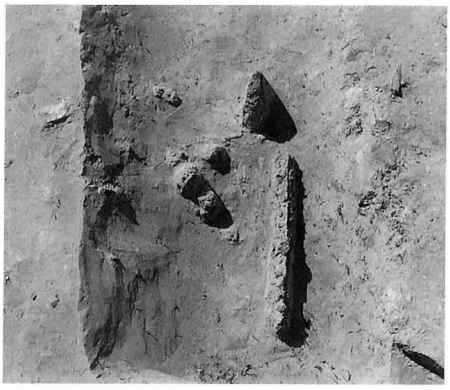
図版44　文殊堂古墳群

1．8号墳　第1埋葬施設遺物出土状況①（北東から）



2．8号墳　第1埋葬施設遺物出土状況②（南東から・北西から）

3．8号墳　第1埋葬施設の礫の入った土坑（南東から）



4．8号墳　第2埋葬施設遺物出土状況（北東から）

5．8号墳　第2埋葬施設の礫の入った土坑（南東から）

6．8号墳　第3埋葬施設北小口（南から）

7．8号墳　第3埋葬施設南小口（北から）

1．8号墳　第3埋葬施設検出状況（北から）

2．8号墳　第3埋葬施設床面・側壁（南から）

3．8号墳　第3埋葬施設床面・側壁（北から）

4．8号墳　第3埋葬施設墓壙（東から）

図版46　文殊堂古墳群

172

175

173

176

174

177　182

180

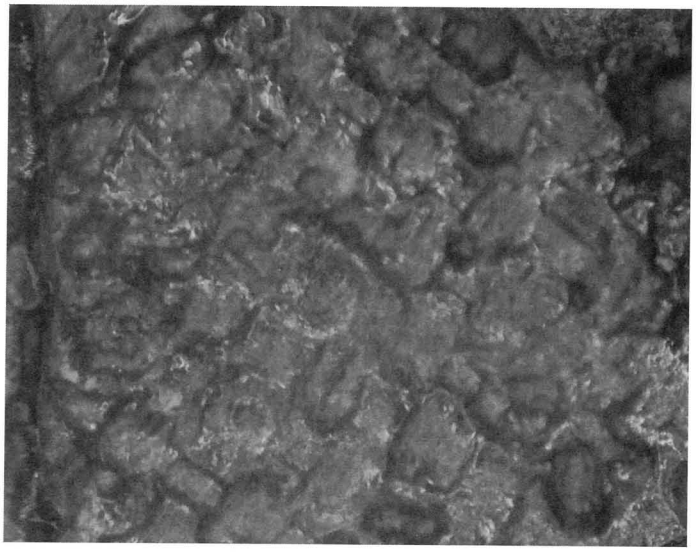
178　179

8号墳出土土器①

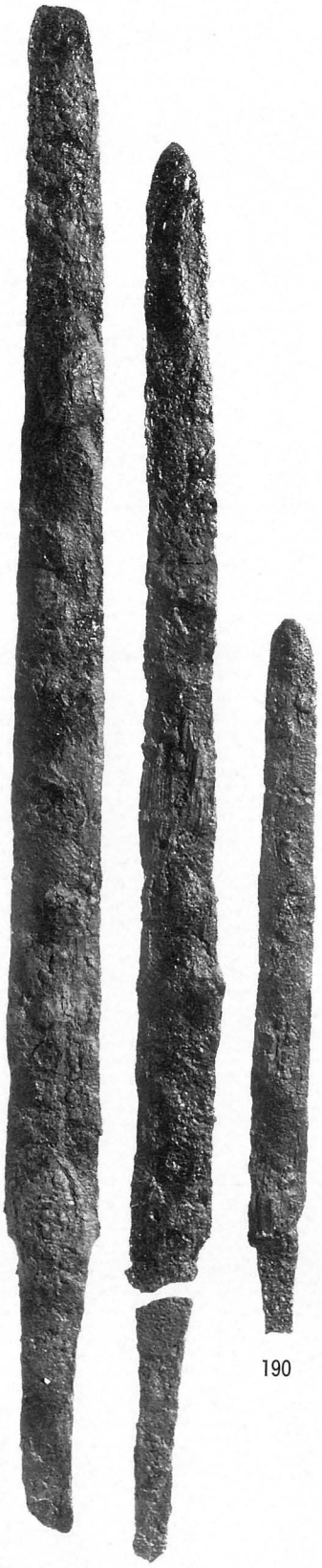
181

183

1．8号墳出土土器②



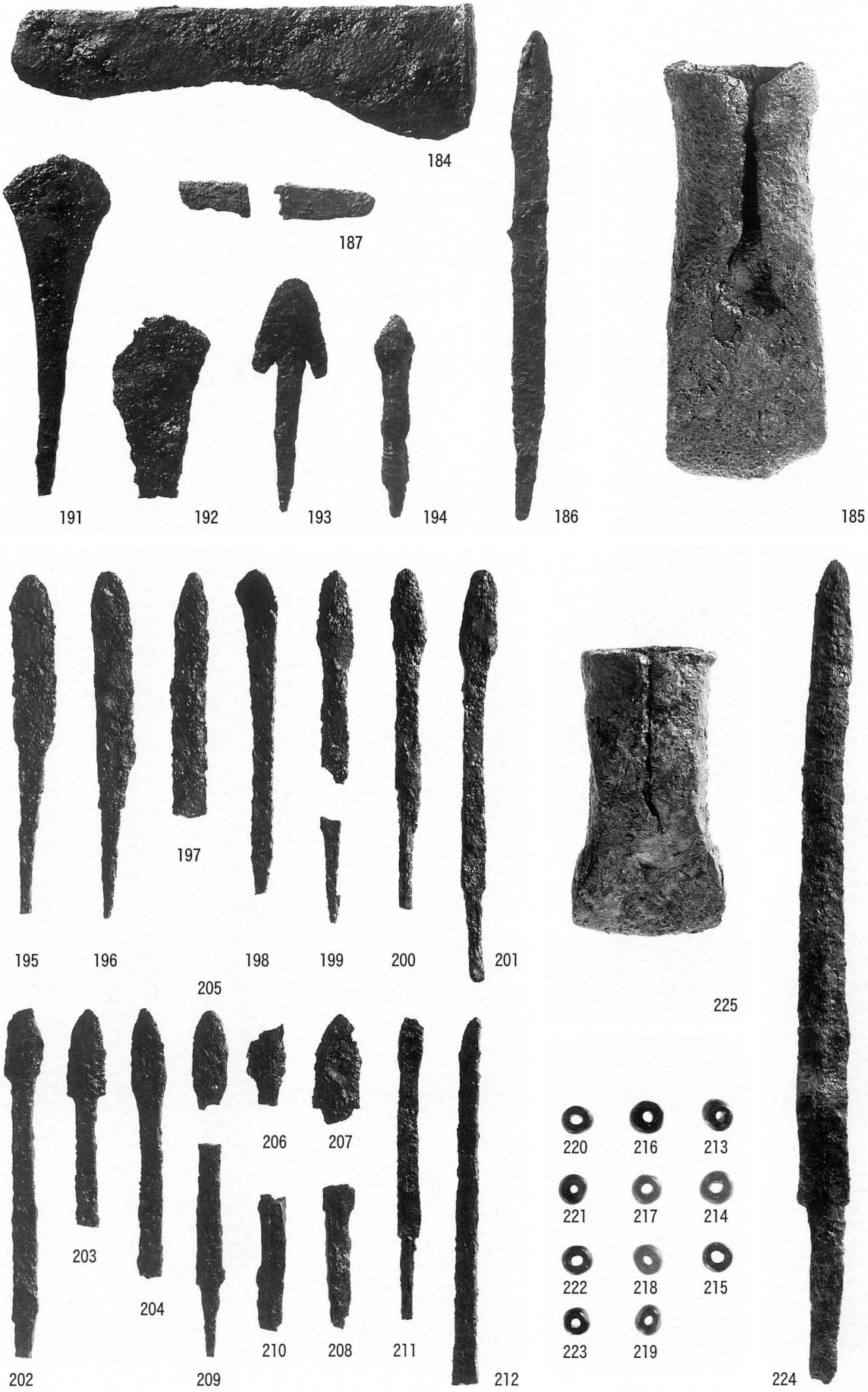
189の茎部に付着した布の痕跡　×20



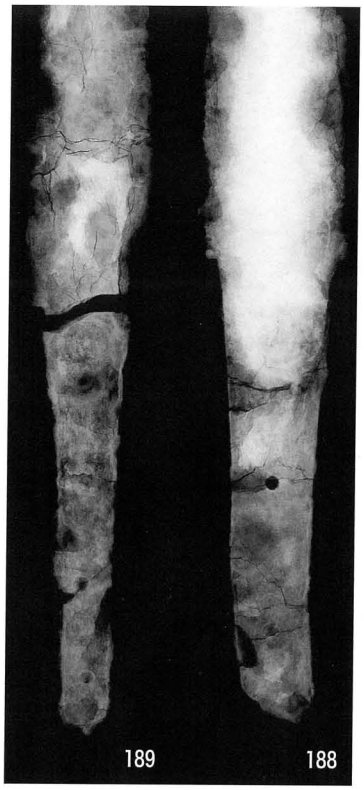
188　189　190

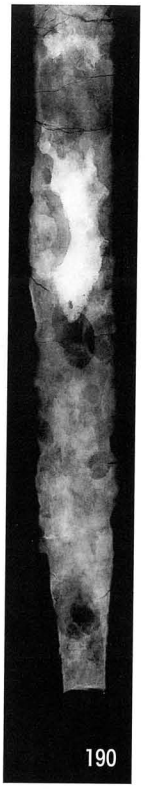
2．8号墳出土鉄製品①

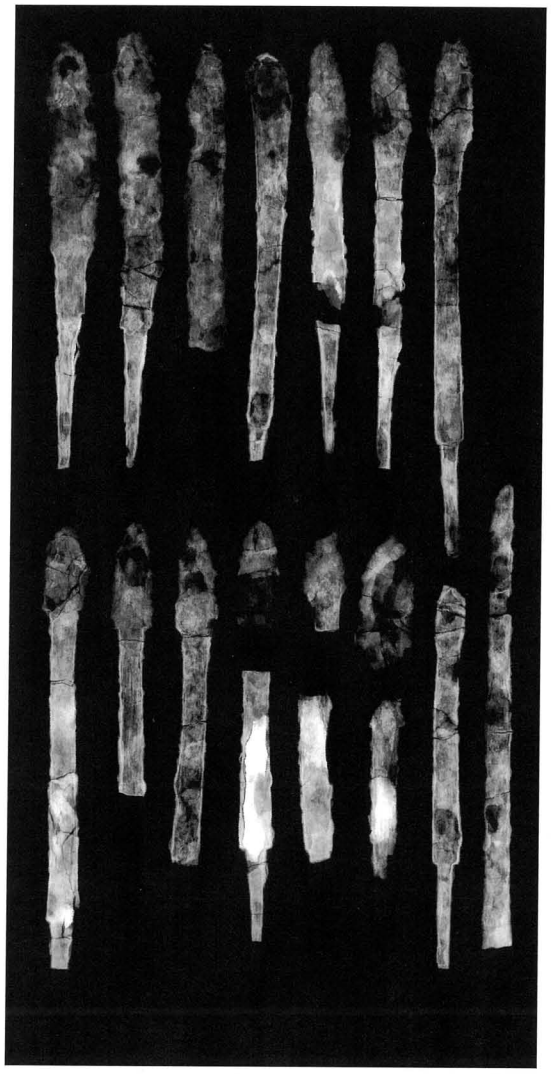
図版48　文殊堂古墳群

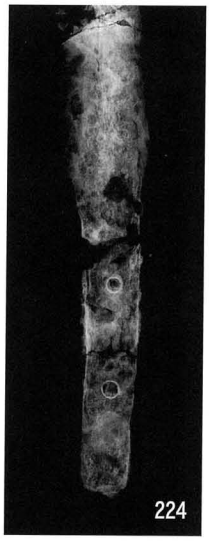


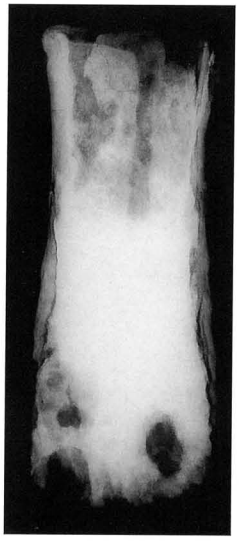
8号墳出土鉄製品②、玉類

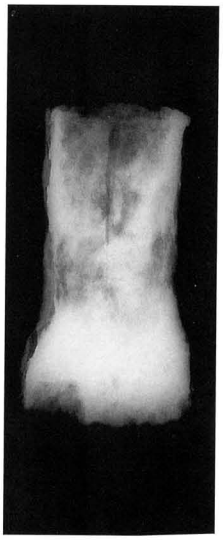


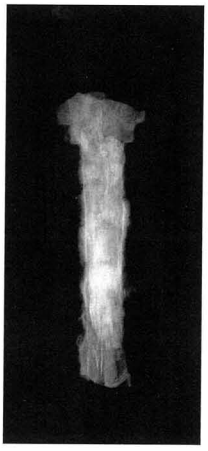












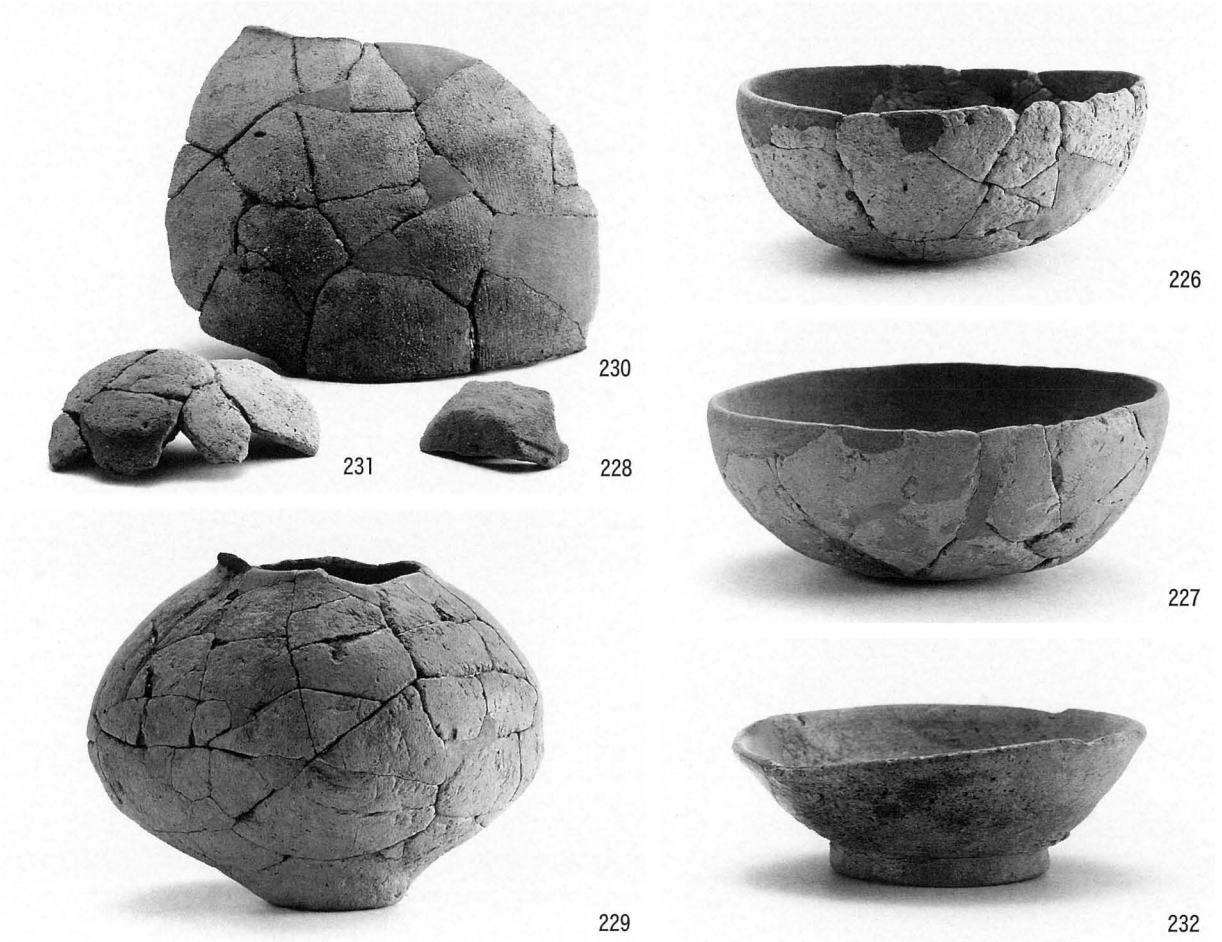
208の保存処理前

鎌(184)に付着した布の痕跡　×20

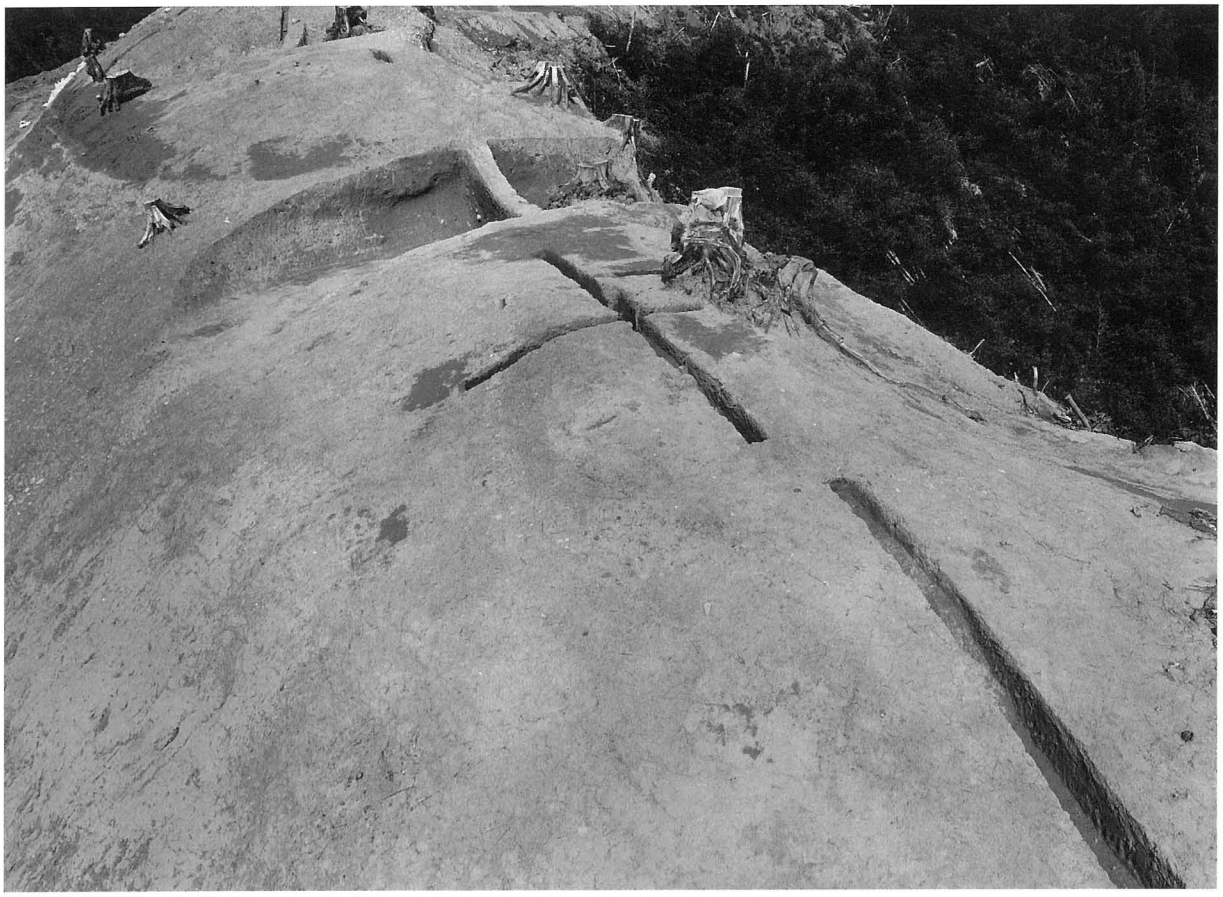
8号墳出土鉄製品③（X線透過写真など）

図版50　文殊堂古墳群

1．９号墳　全景（北西から）



2．９号墳出土土器、古代の土器



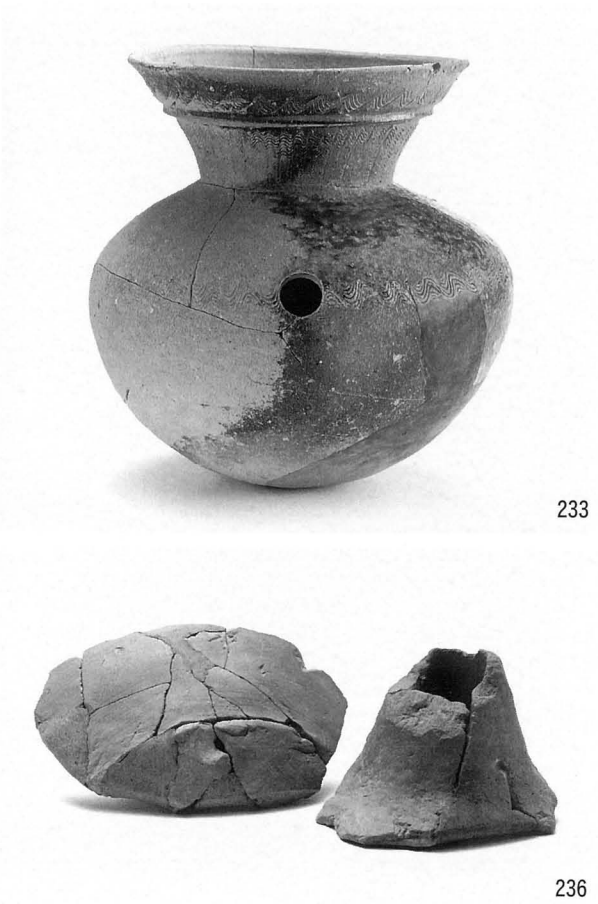
1．10号墳　全景（南東から）

2．10号墳　全景（西から）

図版52　文殊堂古墳群

1．10号墳　北西部周溝土器出土状況（南西から）

2．10号墳　北東部周溝鉄刀出土状況（北東から）



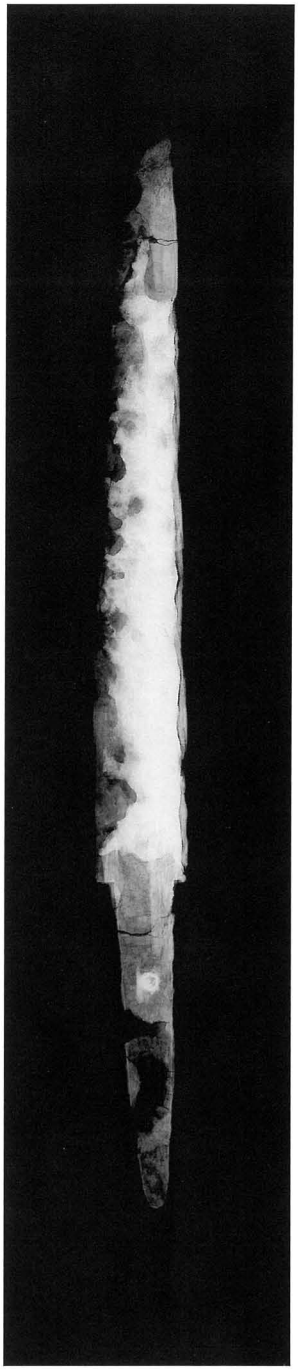
3．10号墳出土土器①

235

234

238

1．10号墳出土土器②

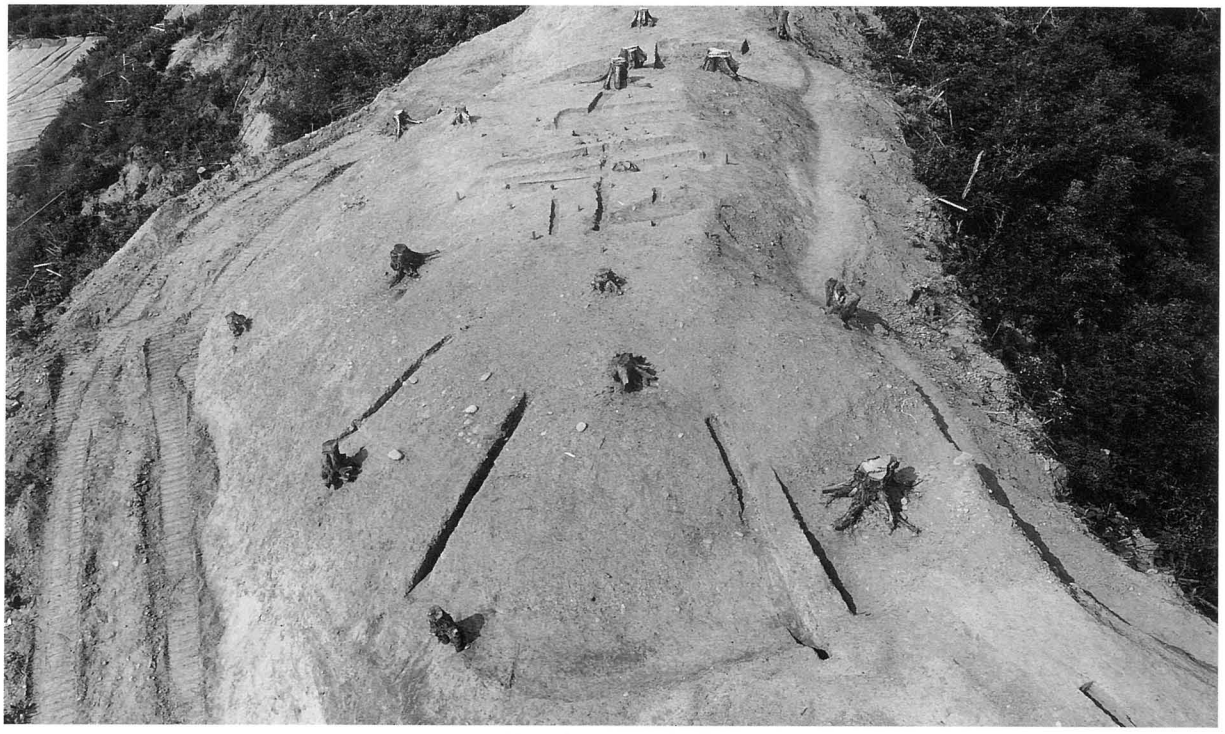


239

2．10号墳周溝出土鉄刀

図版54　文殊堂古墳群

1．11号墳　全景（北から）



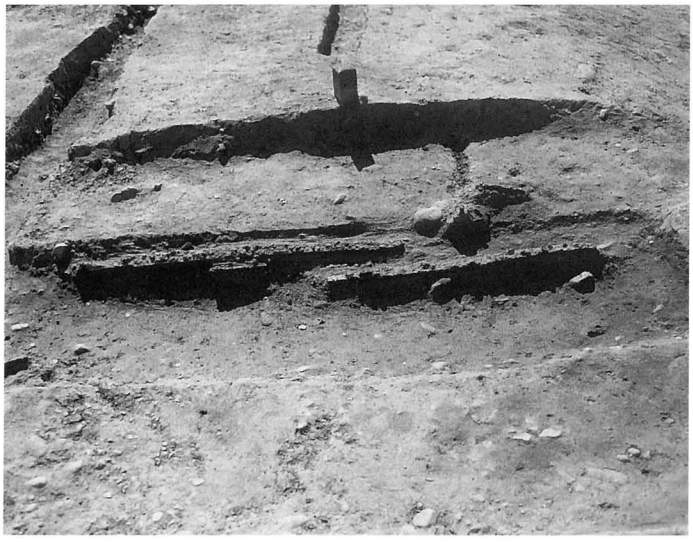
2．11号墳　全景（南から）

1．11号墳　盛土除去後の状態（西から）

2．11号墳　第１～３埋葬施設（南西から）

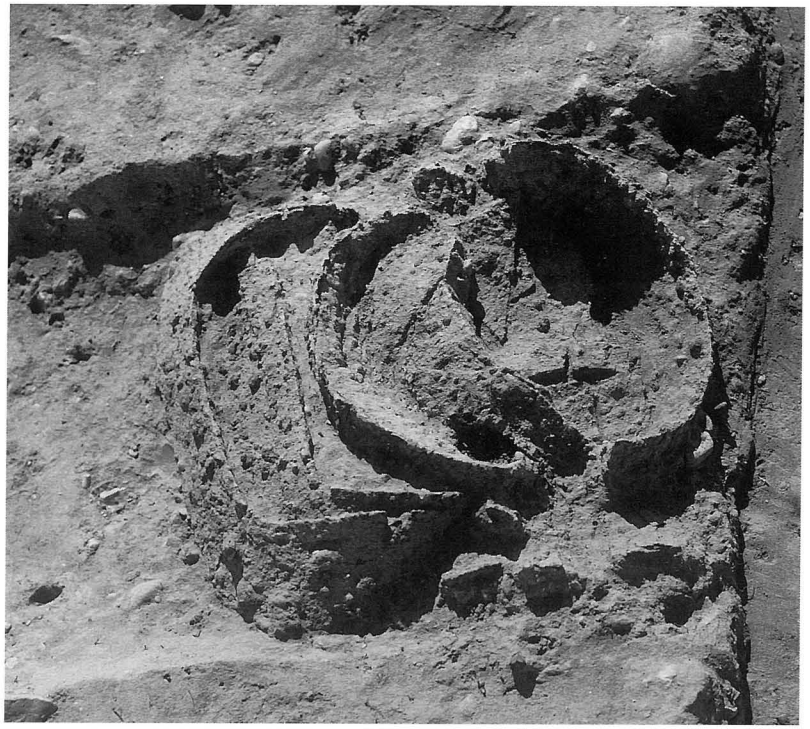
図版56　文殊堂古墳群

1．11号墳　第１埋葬施設（南西から）



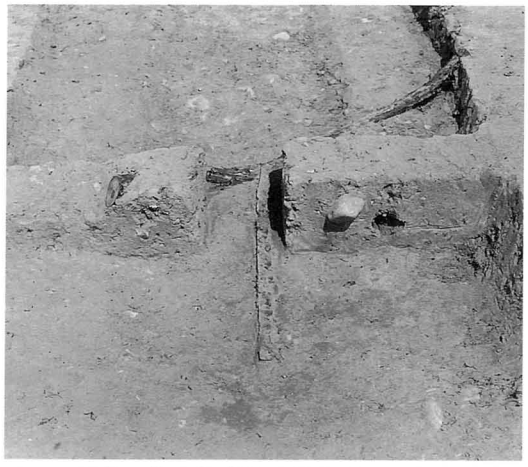
2．11号墳　第１埋葬施設遺物出土状況①（北西から・南から）

1．11号墳　第１埋葬施設
遺物出土状況②（南西から）

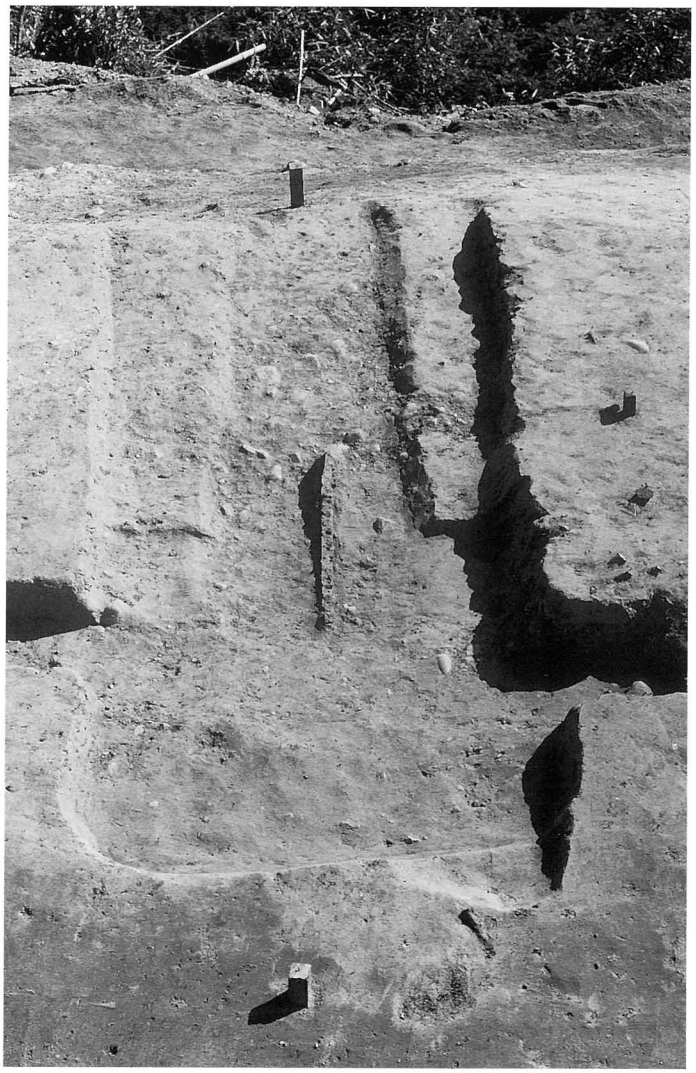


2．11号墳　第１埋葬施設短甲出土状況（北西から）

3．11号墳　第１埋葬施設短甲下の鉄斧



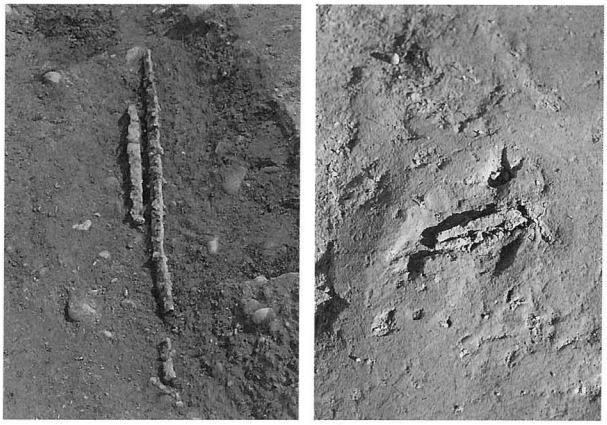
4．11号墳　第２埋葬施設遺物出土状況（南西から）



5．11号墳　第２埋葬施設（南西から）

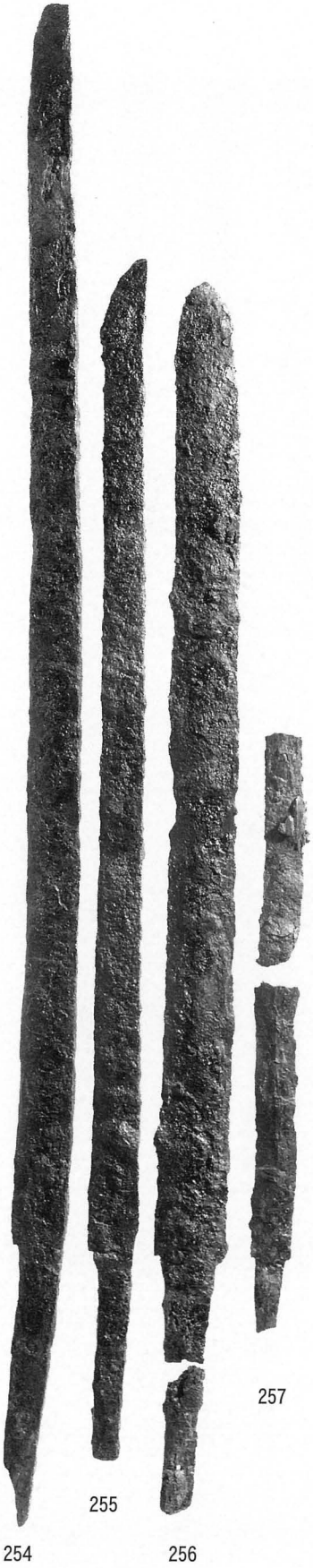
図版58　文殊堂古墳群

1．11号墳　第３埋葬施設（南西から）

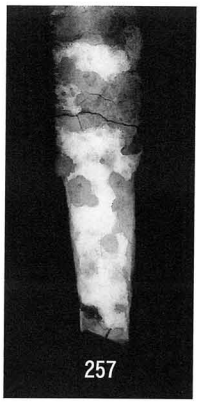


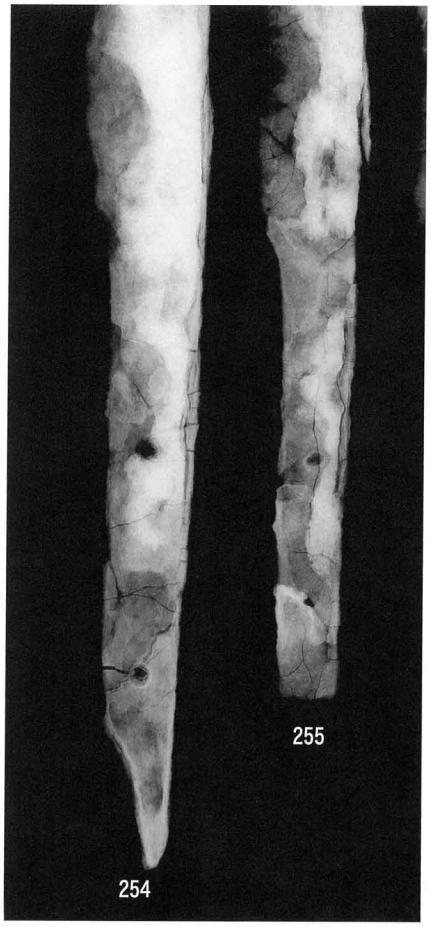
2．11号墳　第３埋葬施設遺物出土状況
（南西から・南東から）

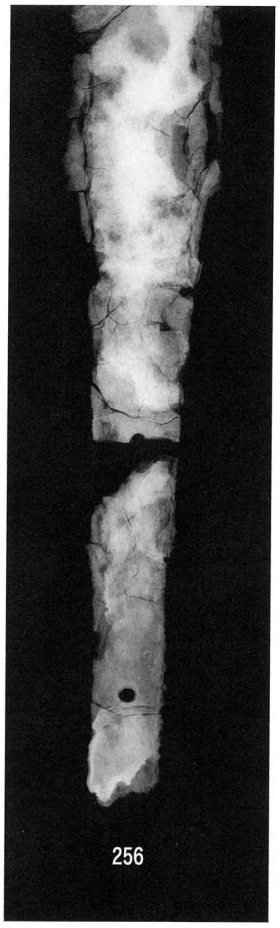
3．11号墳出土土器、石製品・玉類

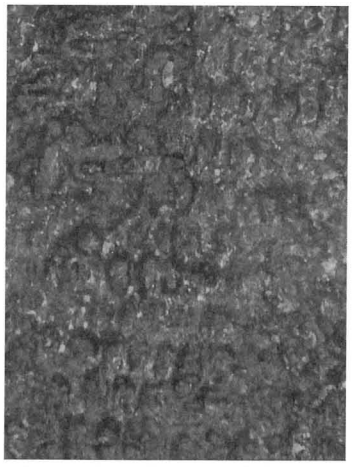


鉄剣(256)の茎部側面にある糸巻きの痕跡







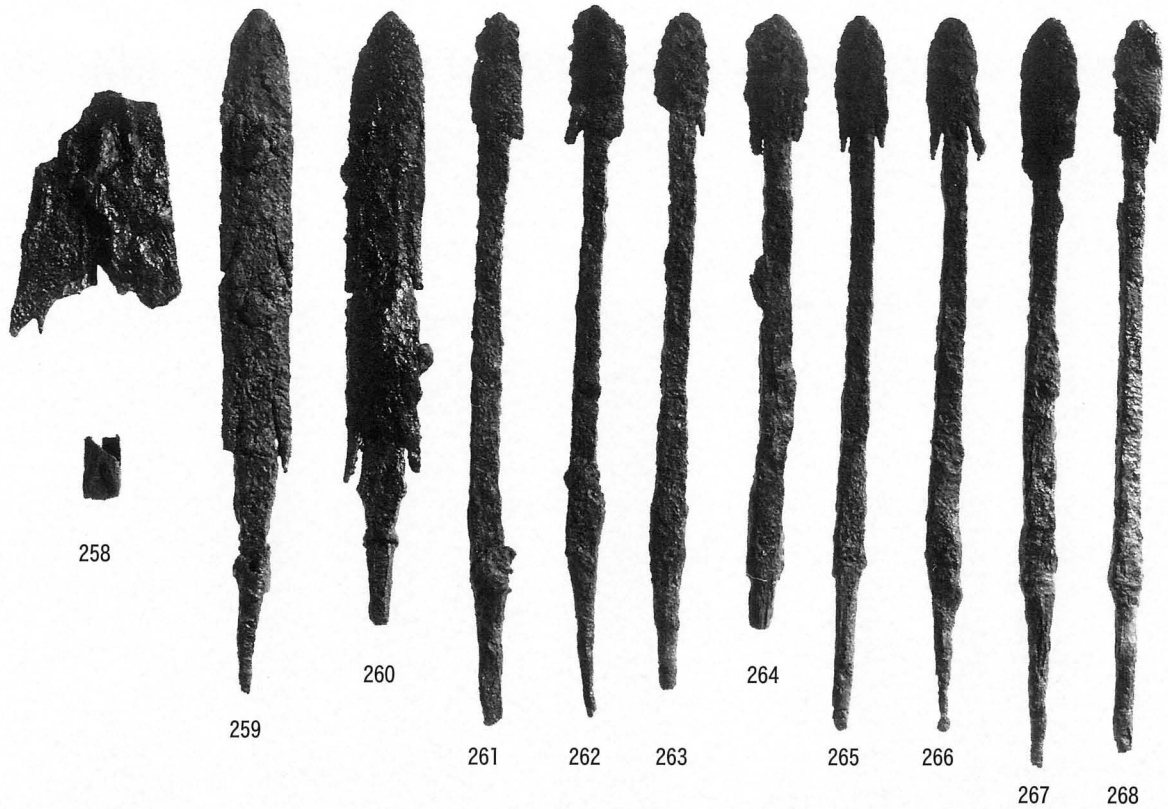


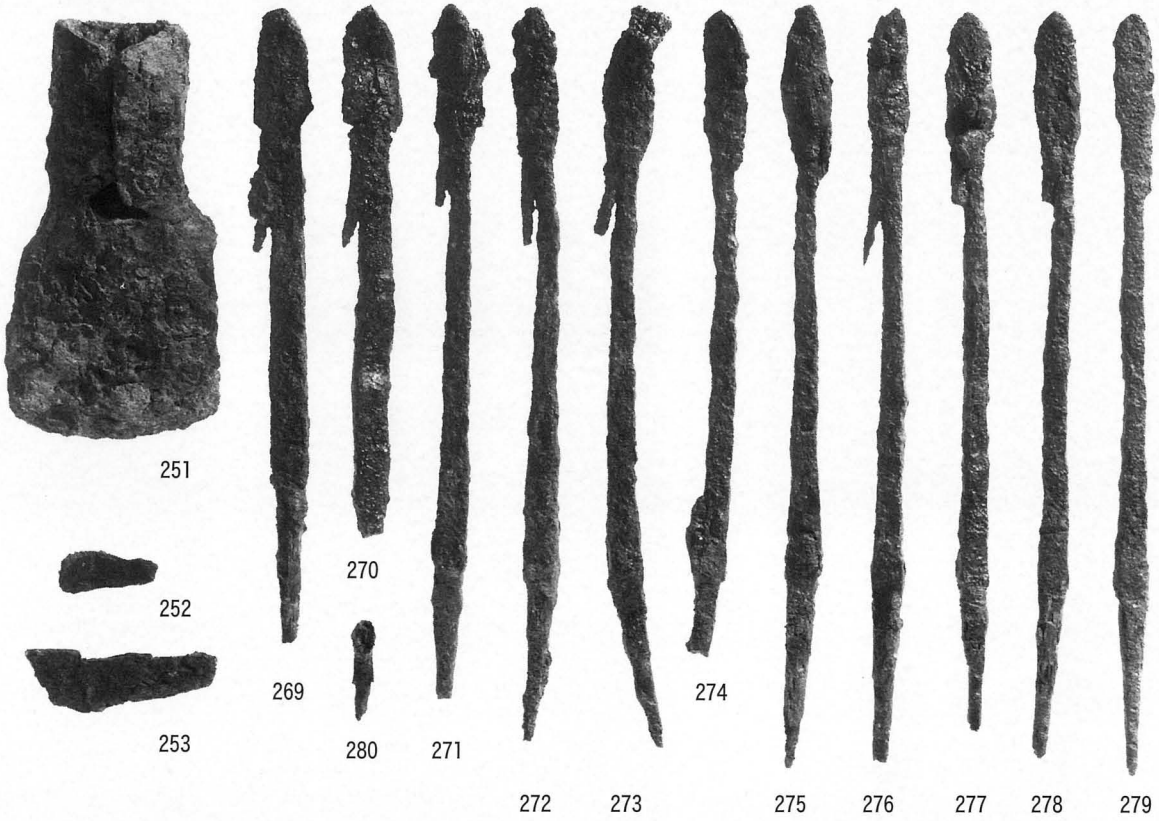
鉄鏃(270)に付着した布の痕跡　×10

鉄鏃(271)に付着した布の痕跡　×20

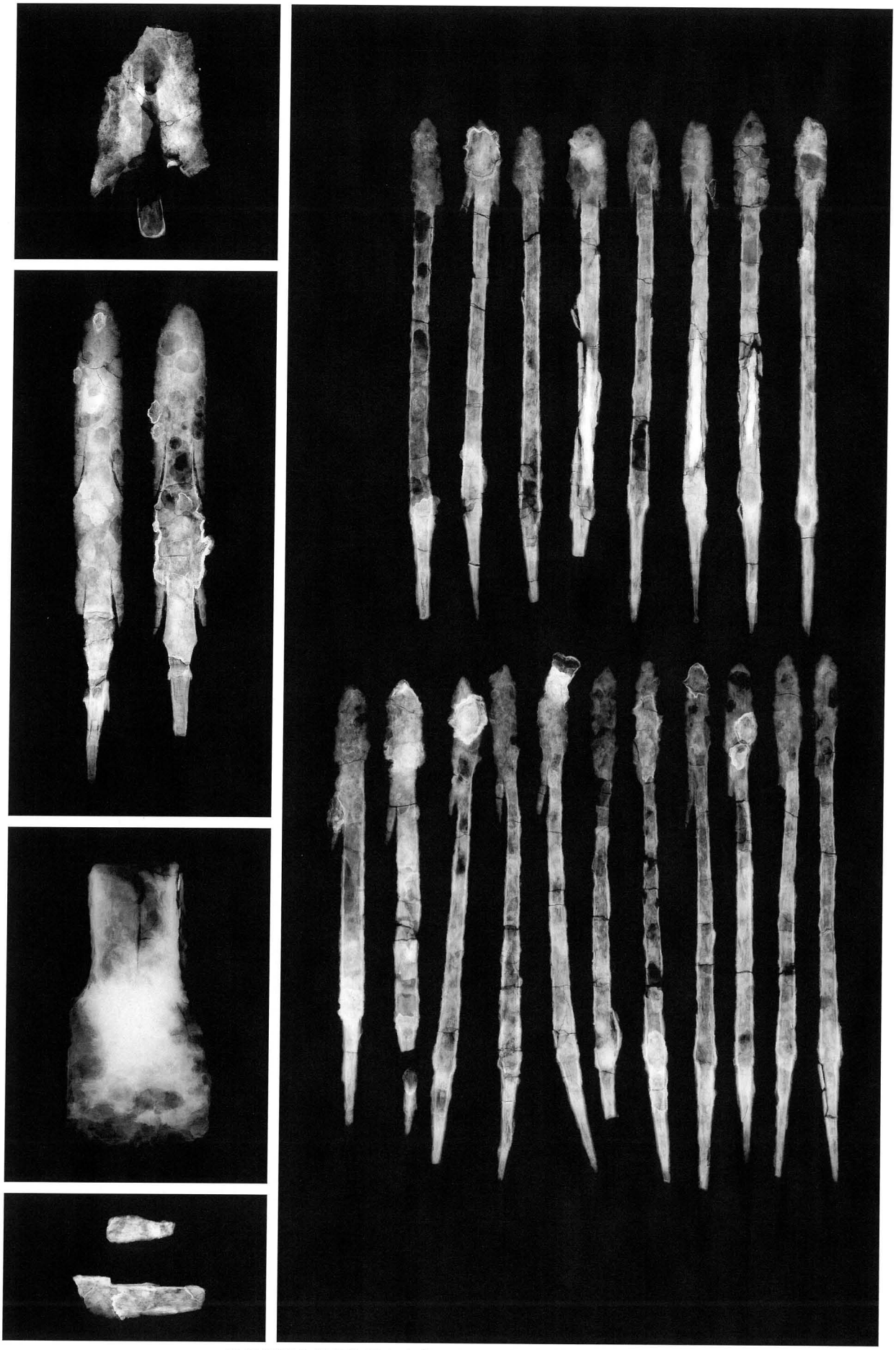
11号墳第１埋葬施設出土刀剣、鉄鏃

図版60　文殊堂古墳群

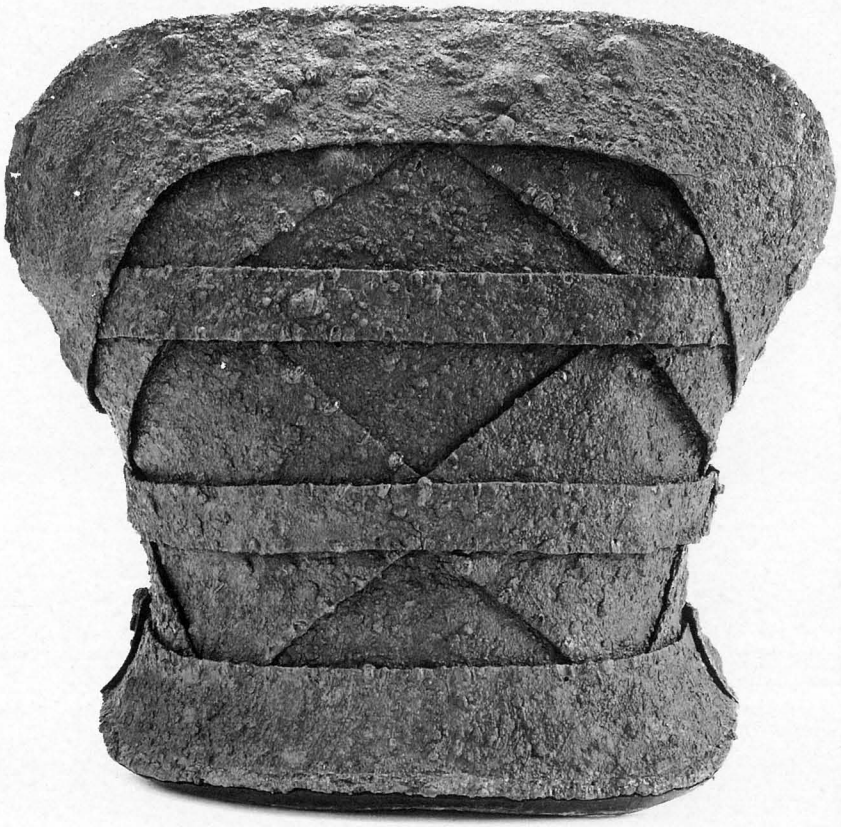




11号墳第１埋葬施設出土農工具・鉄鏃



11号墳第１埋葬施設出土農工具・鉄鏃（X線透過写真）



11号墳第１埋葬施設出土短甲（正面、背面）

1．11号墳第１埋葬施設出土短甲（側面）

2．短甲　前胴上縁の覆輪（表面）

3．短甲　前胴上縁の覆輪（裏面）

4．短甲　後胴上縁の覆輪（裏面）

5．短甲　後胴地板第１段（裏面）

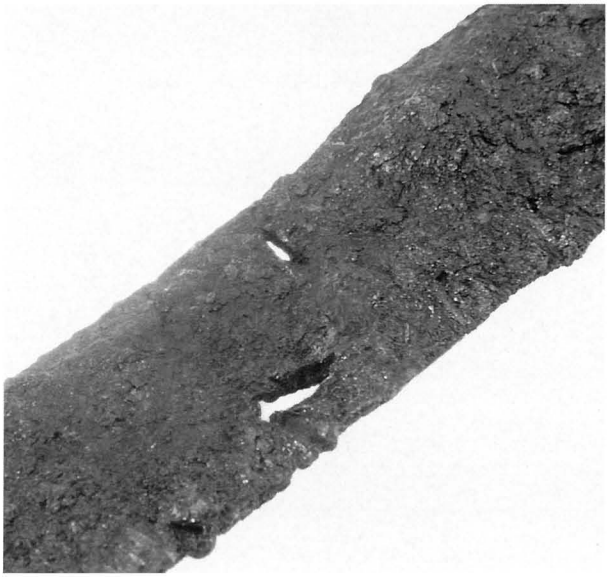
図版64　文殊堂古墳群

1．短甲　前胴における布の痕跡（表面）

2．短甲　引合板下部の傷（表面）

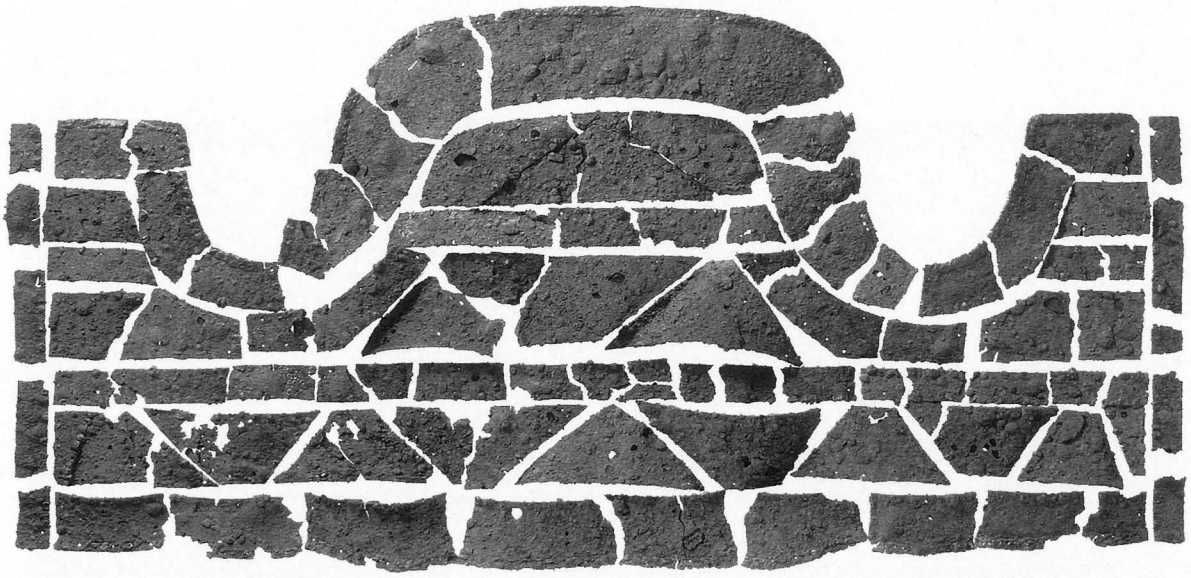
3．短甲　後胴上部の毛状痕跡（表面）

4．短甲　後胴下部の毛状痕跡（表面）

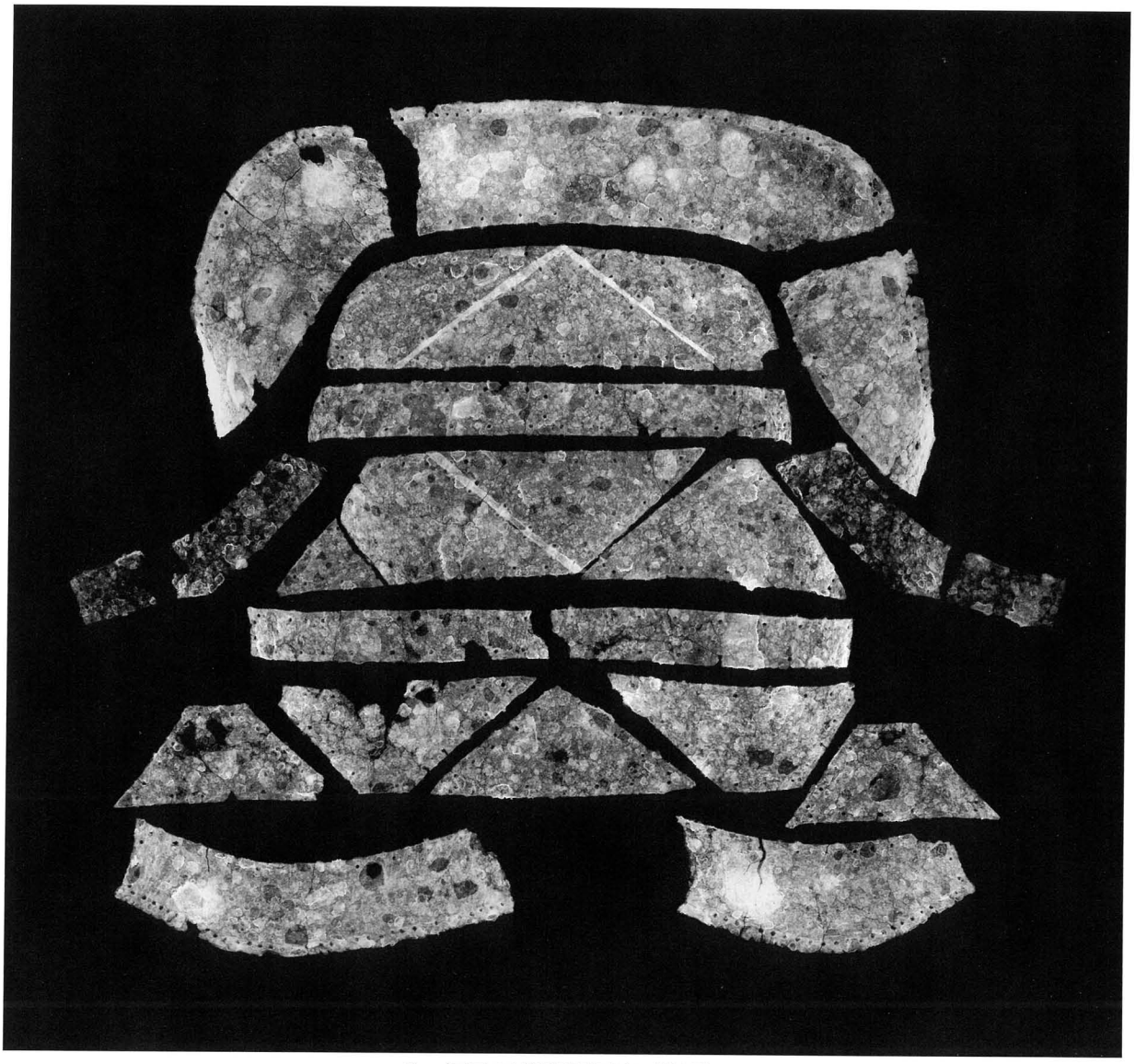


5．短甲　引合板中央の傷（表面）

6．短甲　引合板中央の傷（裏面）

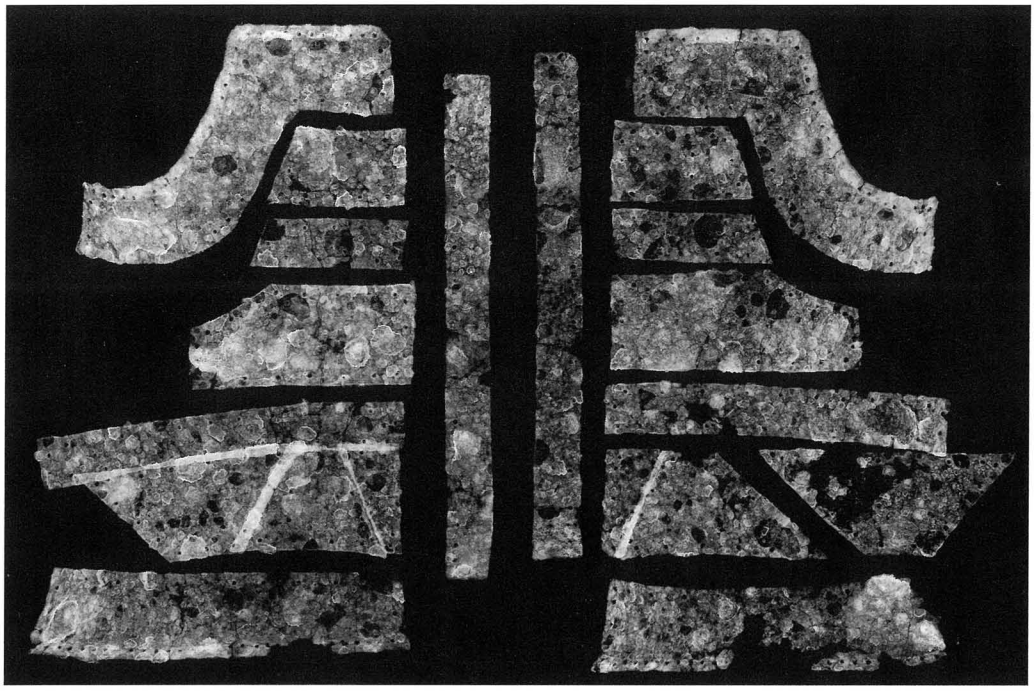


1．短甲　復元前の状態（外面）

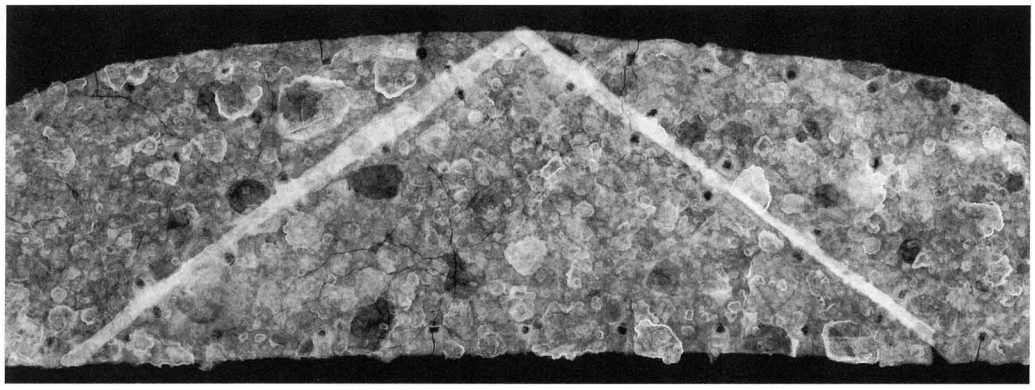


2．短甲のX線透過写真（後胴）

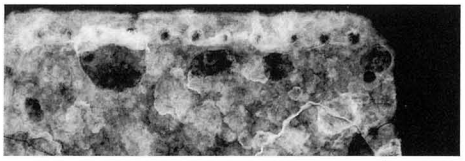
図版66　文殊堂古墳群



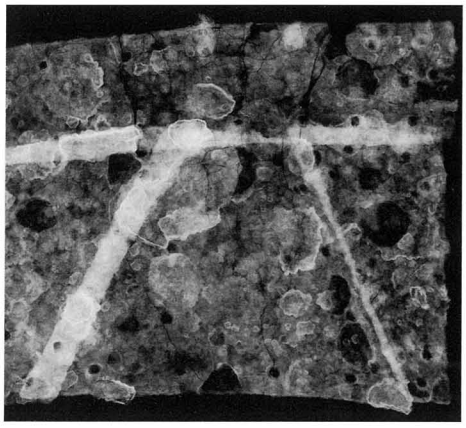
1．短甲のX線透過写真（前胴）



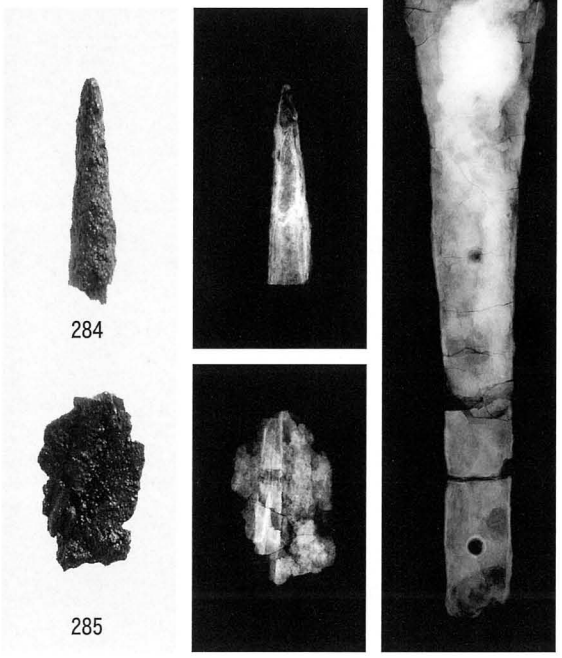
2．短甲のX線透過写真（後胴地板第１段）



3．短甲のX線透過写真（前胴上縁）



4．短甲のX線透過写真（前胴下部）



5．11号墳第２埋葬施設出土鉄製品

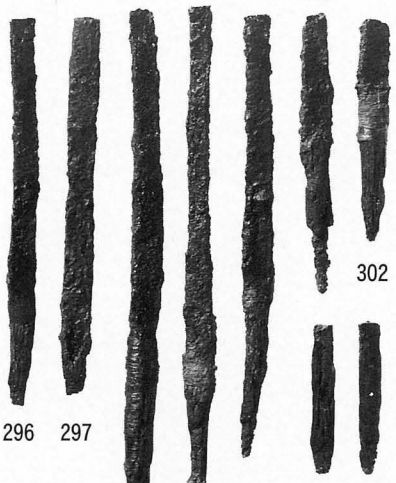
286

287

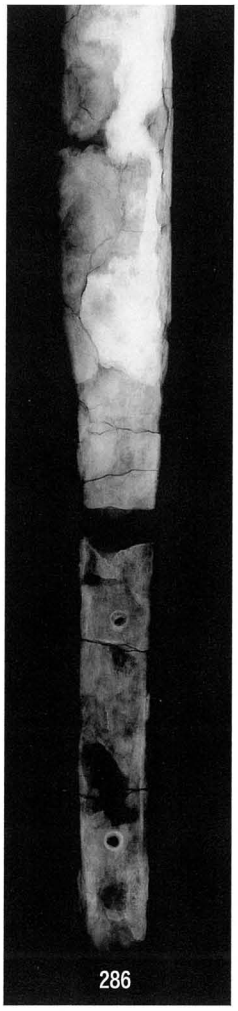
289 290 291 292 293

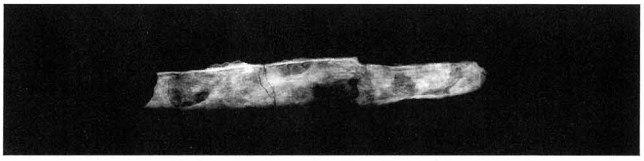
294 295

288


296 297 298 299 300 301 302 303 304

287


286



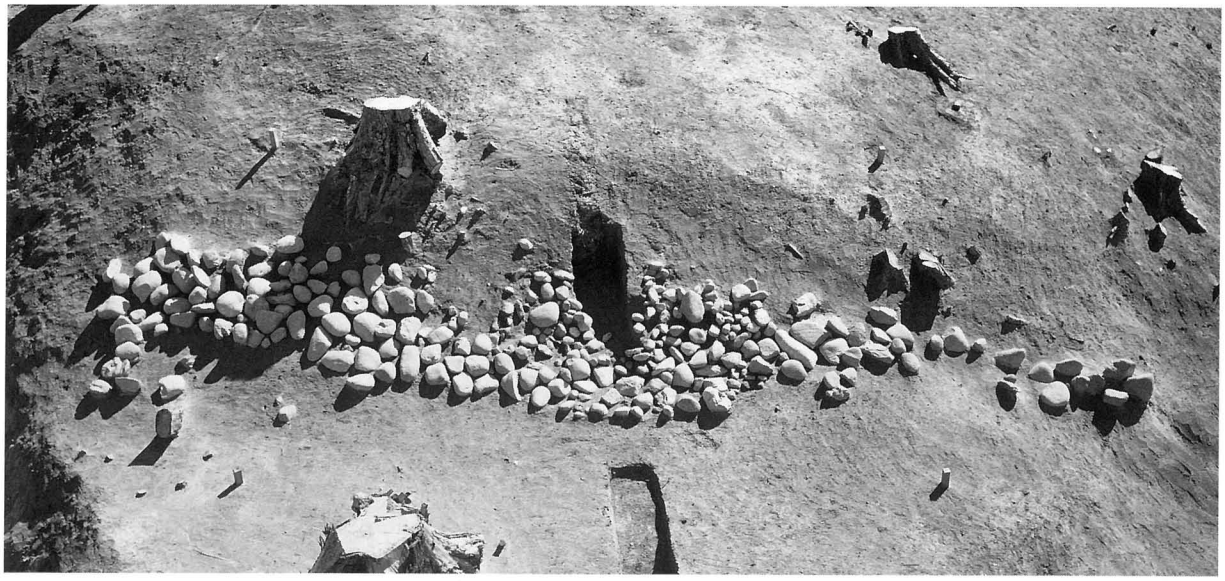
11号墳第３埋葬施設出土鉄製品

図版68　文殊堂古墳群

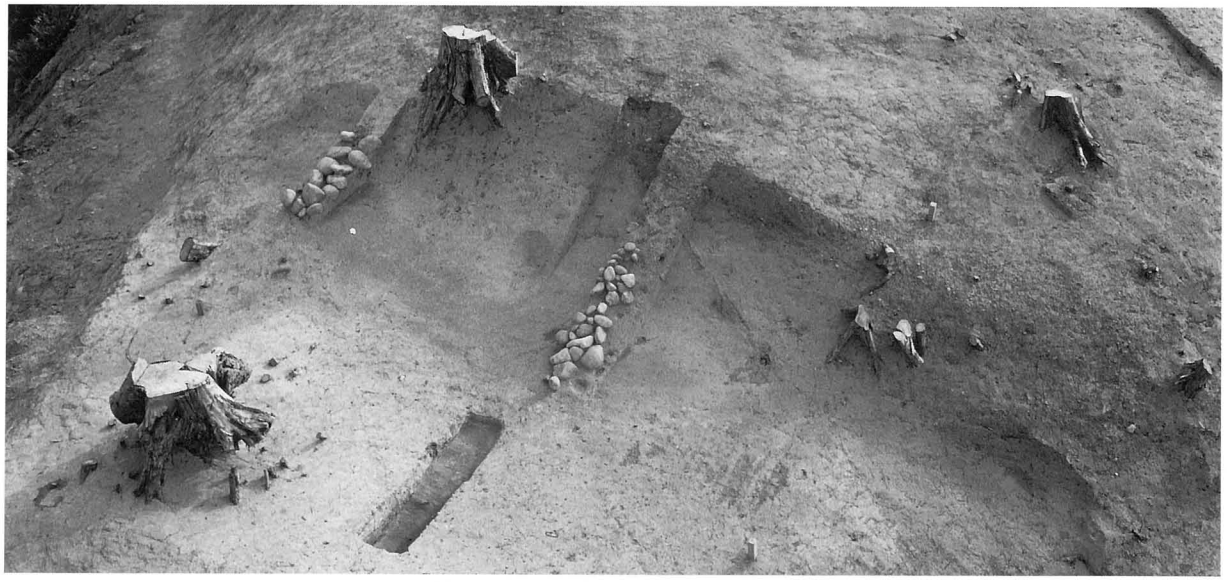
1．12号墳　全景（北西から）

2．12号墳　全景（南から）

1．12号墳　南部の葺石（南から）



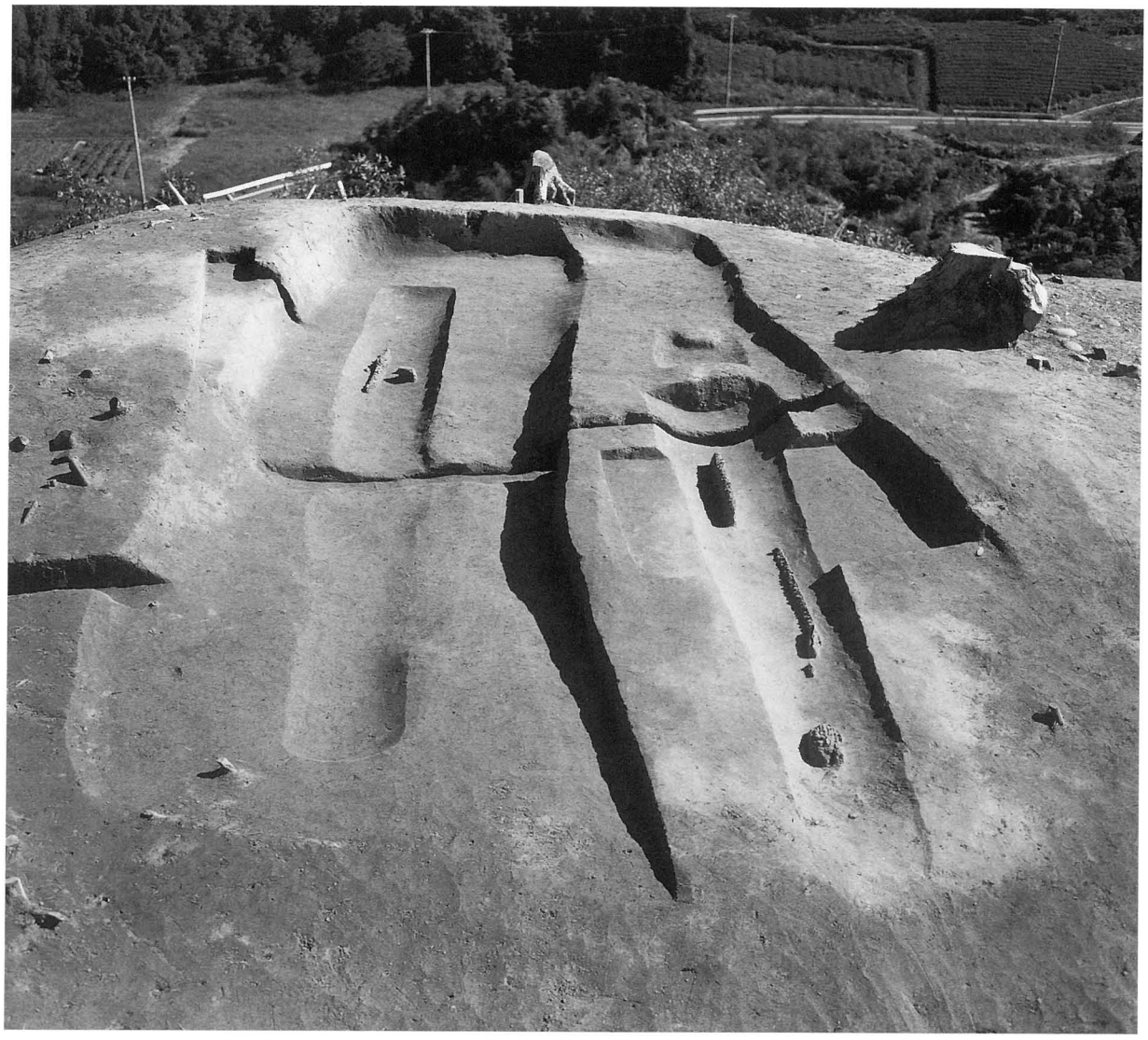
2．12号墳　北西部の葺石（北西から）



3．12号墳　北西部の葺石除去後の状態（西から）

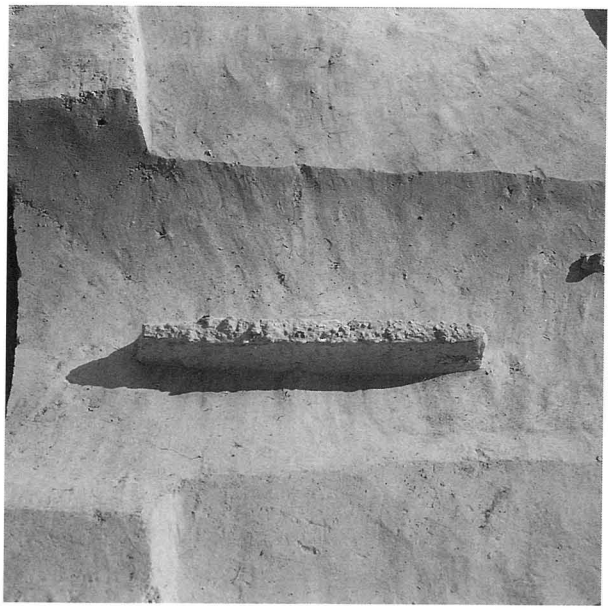
図版70　文殊堂古墳群

1．12号墳　盛土除去後の状態（北西から）

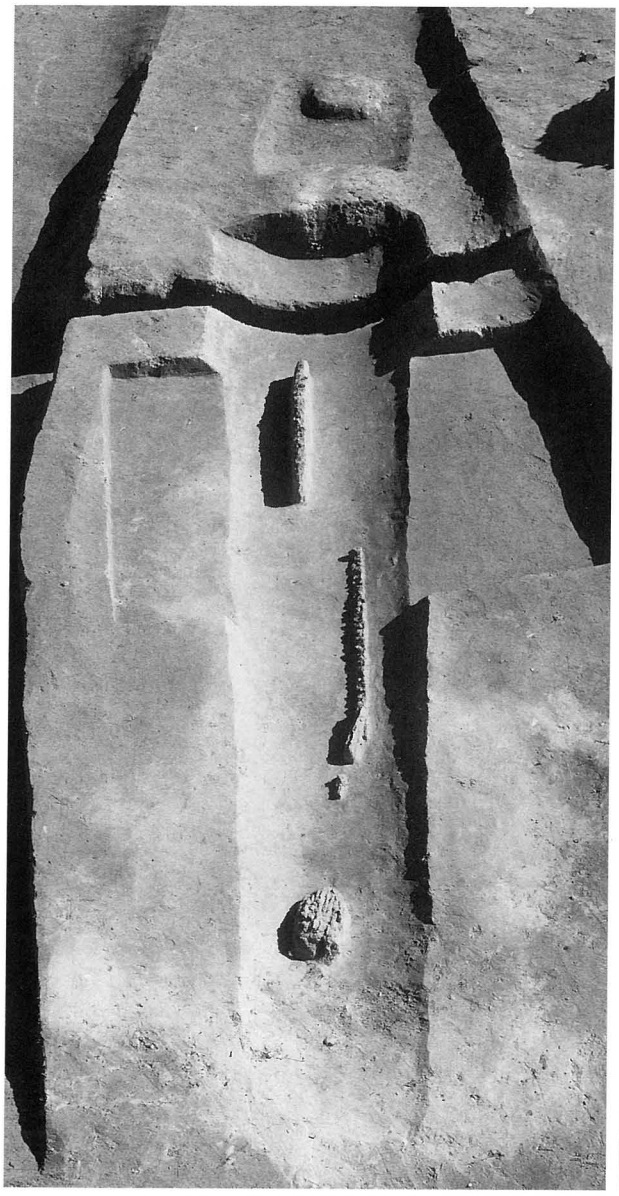


2．12号墳　第１・２埋葬施設（西から）

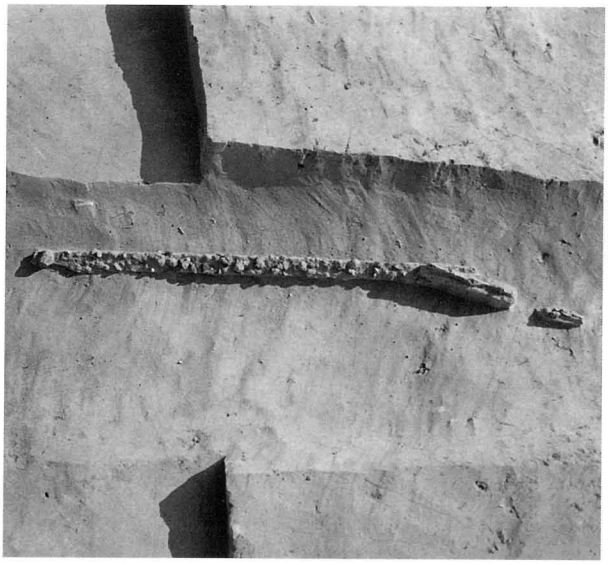
1．12号墳　第１埋葬施設遺物出土状況（北から）



3．12号墳　第２埋葬施設遺物出土状況①（北から）



2．12号墳　第２埋葬施設（西から）



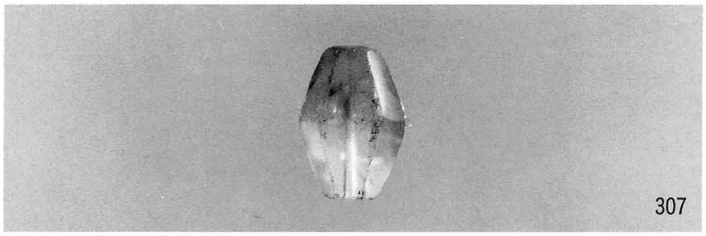
4．12号墳　第２埋葬施設遺物出土状況②（北から）

5．12号墳　第２埋葬施設遺物出土状況③（北から）

図版72　文殊堂古墳群

306

1．12号墳出土土器



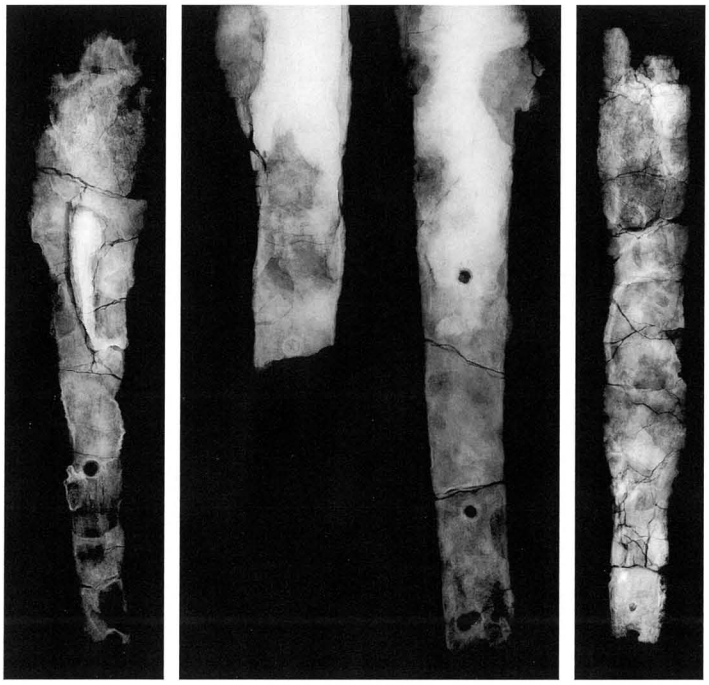
307

308　309　310　311　312　313

314　315　316　317　318　319

320　321　322　323　324　325　326

327

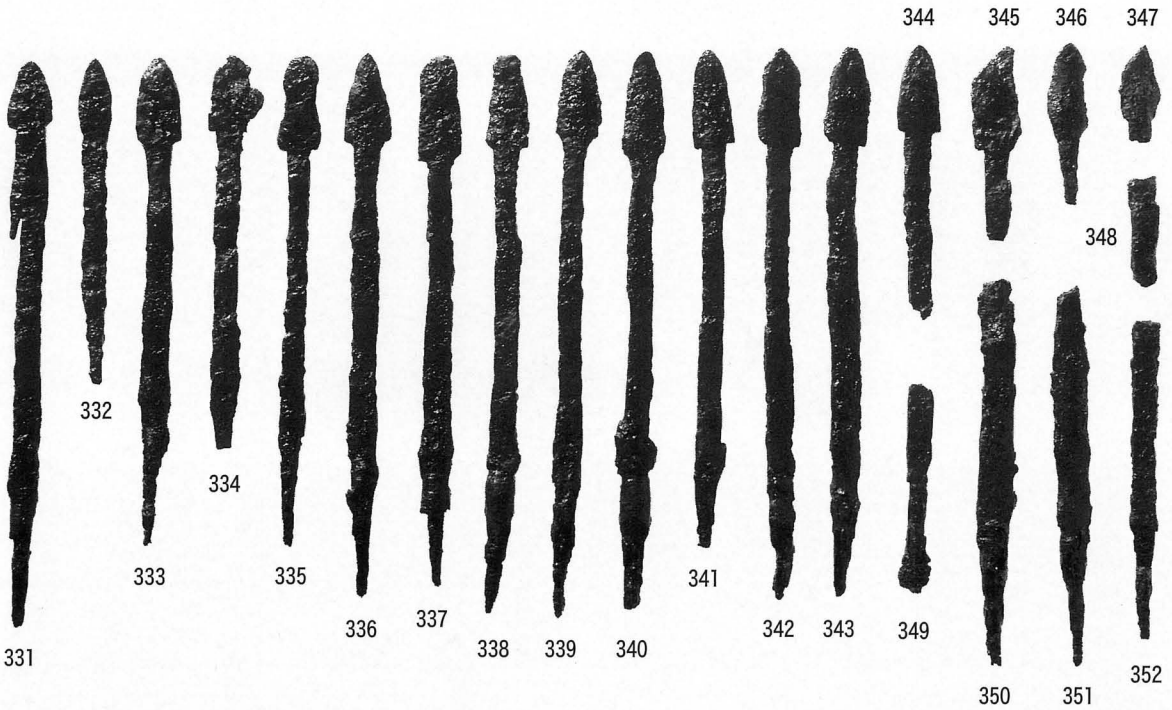


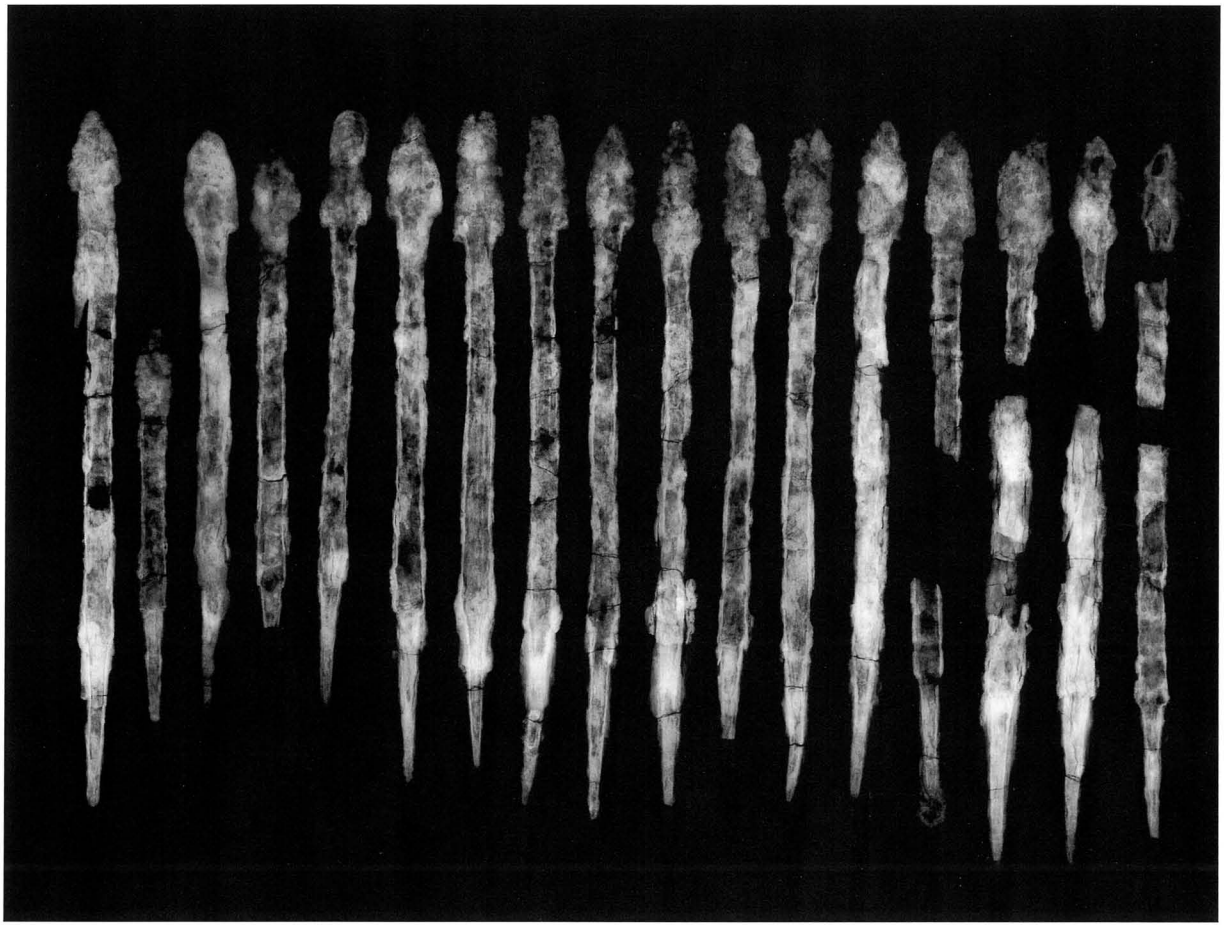
328

329

330

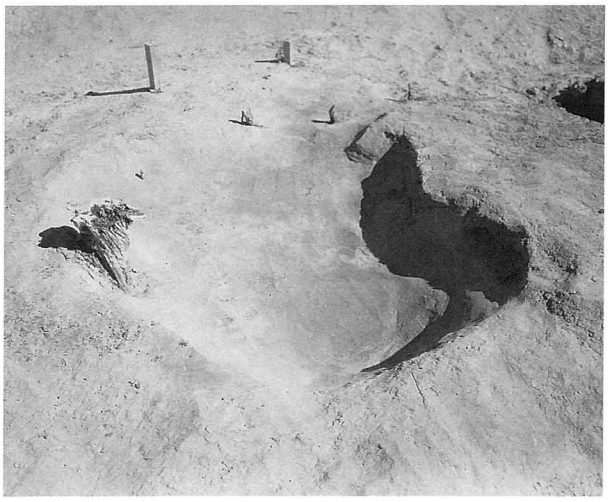
2．12号墳出土玉類、刀剣


331
332
333
334
335
336
337
338
339
340
341
342
343
344
345
346
347
348
349
350
351
352

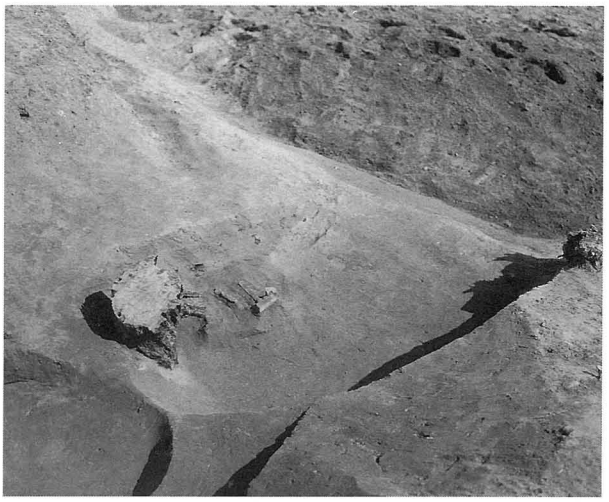


12号墳出土鉄鏃

図版74　文殊堂古墳群

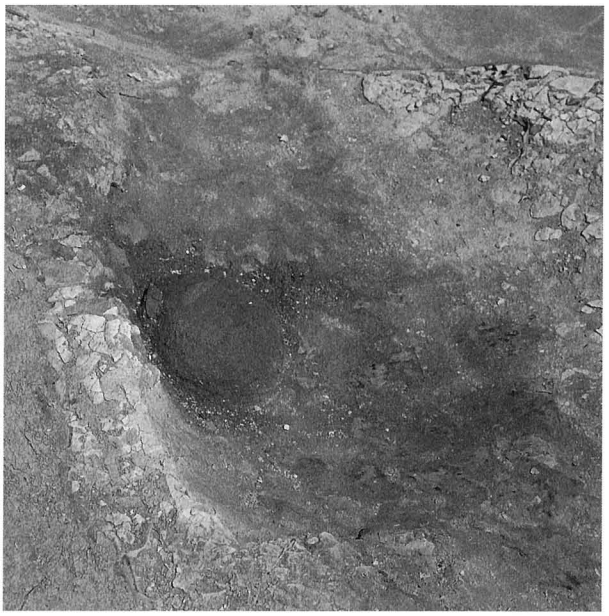


1．SF108（西から）



2．SF100（西から）

3．SF101（南西から）



4．SF53（南西から）

5．SD06（6号墳西側を北西から）

6．SD06（2区中央の東側を南から）

1．6～12号墳とSD06（南から）

2．SD06と6号墳（北から）

図版76　文殊堂古墳群

353

355

356

354

357

358

359

360

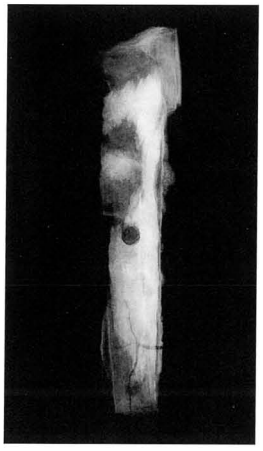
361

362

363

364

365



381

古代以降の土坑出土遺物など

368

366

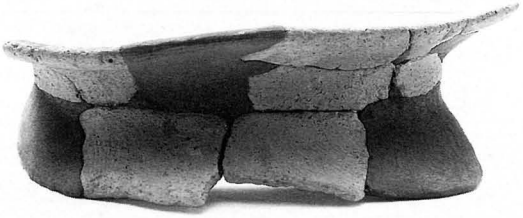
370

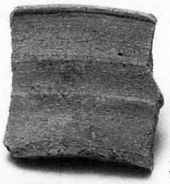
371

367

369

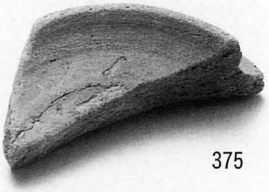
373


372


374

380

376


375

377

378

379

遺構外の出土遺物

図版78　宇藤蓮台古墳群

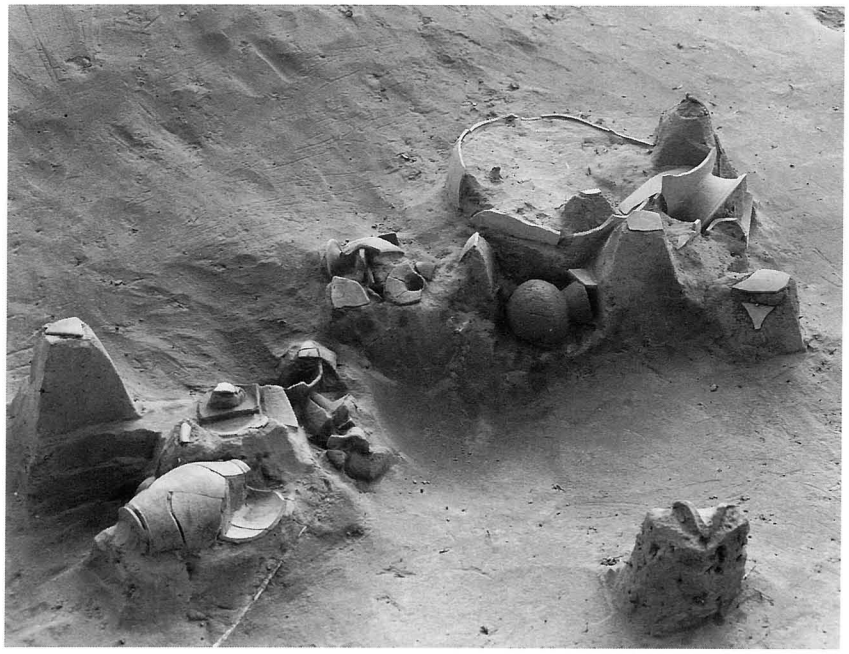
1．宇藤蓮台古墳群１・２区（北東から）

2．１号墳　全景（南東から）

1．1号墳　全景（北東から）

2．1号墳　北部周溝土器出土状況①（北西から）

図版80　宇藤蓮台古墳群

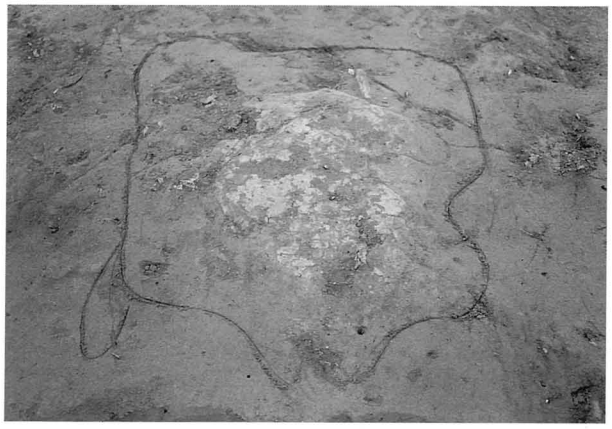


1．１号墳　北部周溝土器出土状況②（北東から）

2．１号墳　南部周溝（北西から）

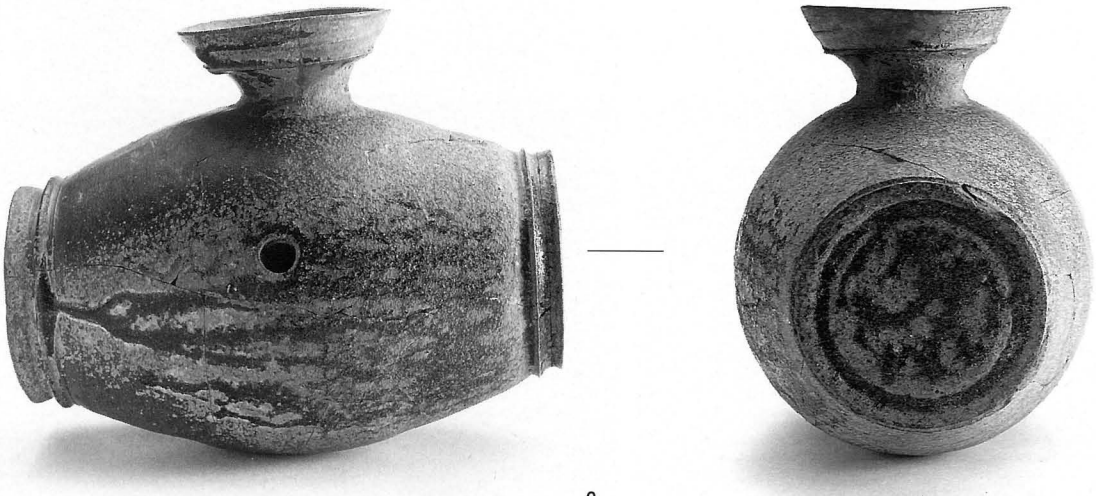
3．１号墳　南部周溝紡錘車
出土状況（北西から）

4．１号墳　埋葬施設と撹乱（南東から）



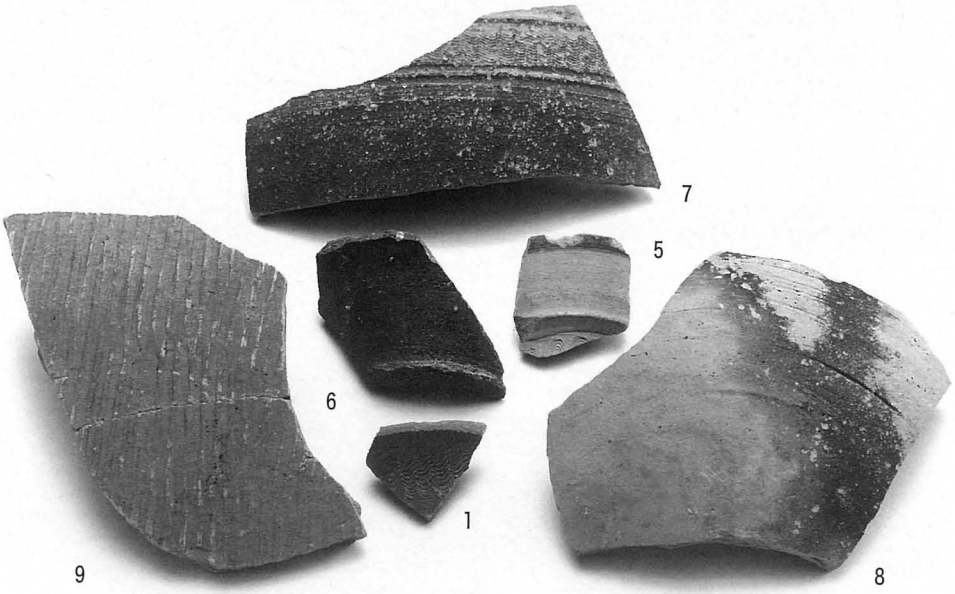
5．１号墳　埋葬施設発見状況（南西から）

6．１号墳　埋葬施設粘土断面（北から）



2

3



1号墳出土土器①

4

18

19

1号墳出土土器②、石製品

11

12

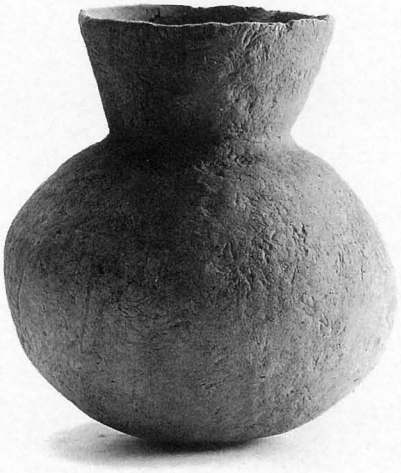
13

14

15

16

10

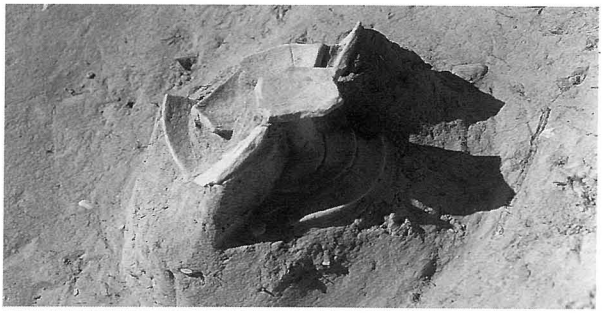

17

1号墳出土土器③

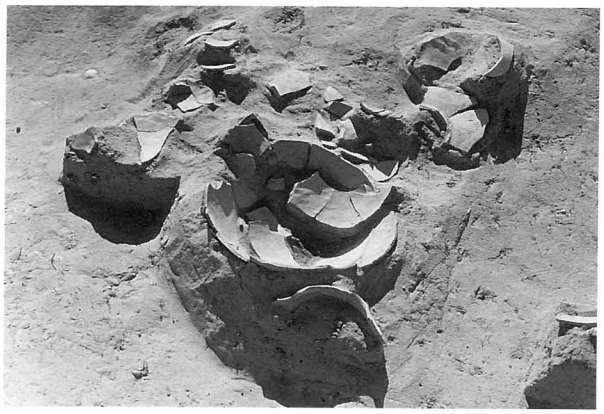
図版84　宇藤蓮台古墳群

1．2号墳　全景（北東から）

2．2号墳　北部周溝土器出土状況（北東から）



1．２号墳　北部周溝土師器高坏出土状況（北東から）



2．２号墳　北部周溝須恵器甕出土状況（北から）

21

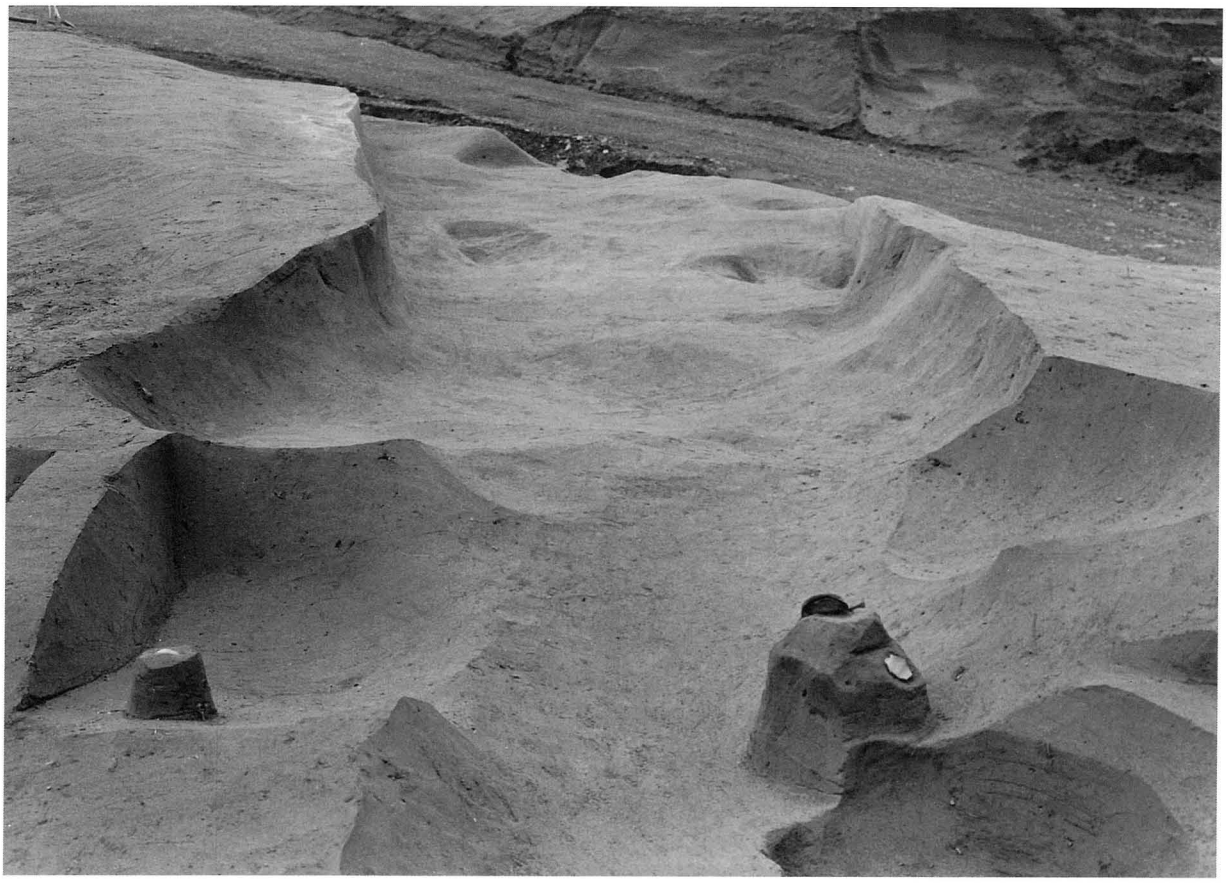
20

3．２号墳出土土器

図版86　宇藤蓮台古墳群

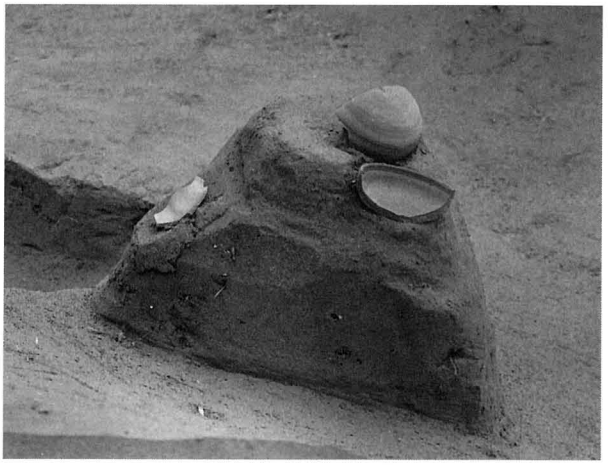
1．宇藤蓮台古墳群３区（３号墳）（俯瞰）

2．３号墳　横穴式石室検出状況（西から）

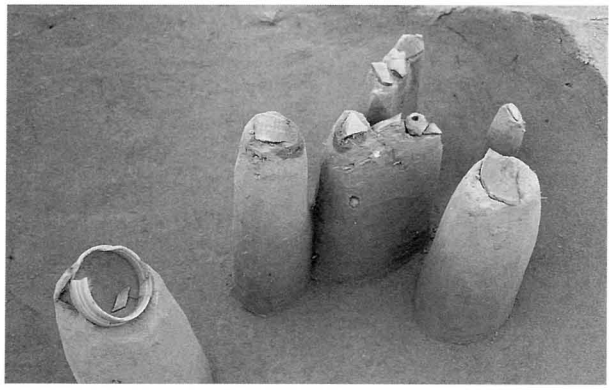


1．３号墳　横穴式石室の墓壙（南から）

2．３号墳　墓道土器出土状況①（南から）



3．３号墳　墓道土器出土状況②（北東から）



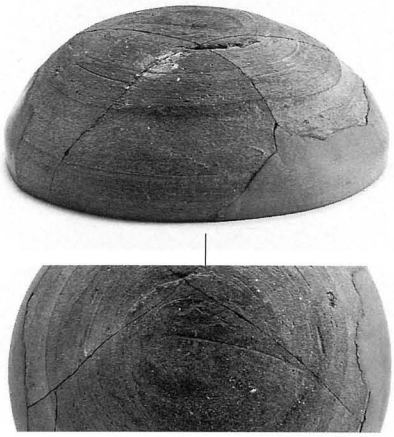
4．３号墳　北西部周溝土器出土状況（南西から）

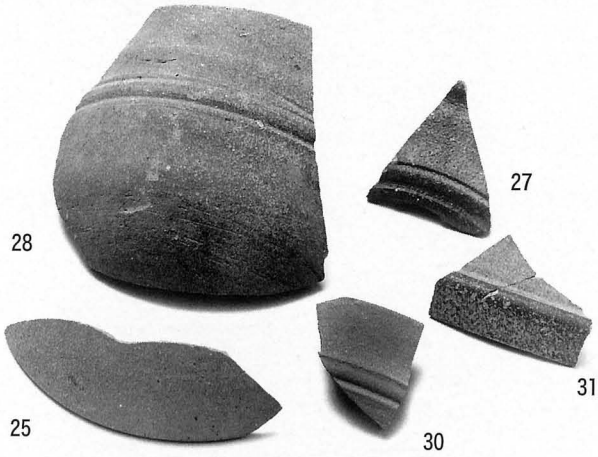
5．３号墳　北西部周溝（南西から）

図版88　宇藤蓮台古墳群

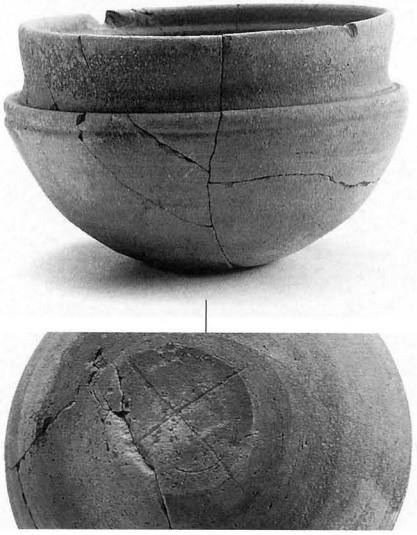
22

26

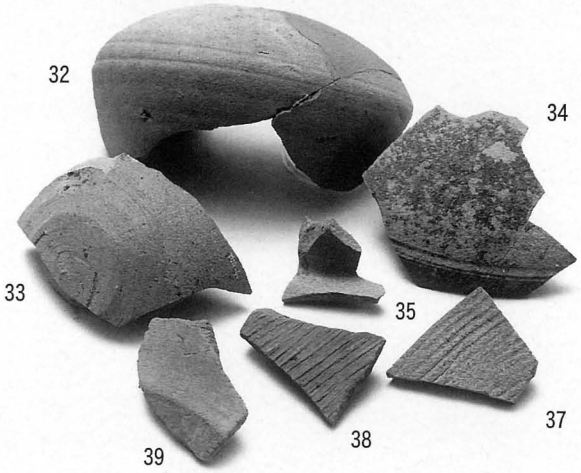

23


27
28
25
30
31

24


29

36


32
34
33
35
37
39
38

40

41

3号墳出土遺物

1．SF05（南から）

2．SF05遺物出土状況（南から）

3．SF10人骨・土器出土状況（東から）

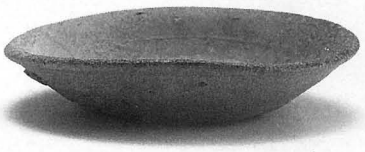
4．SF10人骨・銅銭出土状況（南から）

5．SF08（南西から）

6．SF08遺物出土状況（南西から）

図版90　宇藤蓮台古墳群

42


43

44

47

56

45

48

46

49

50

51

52

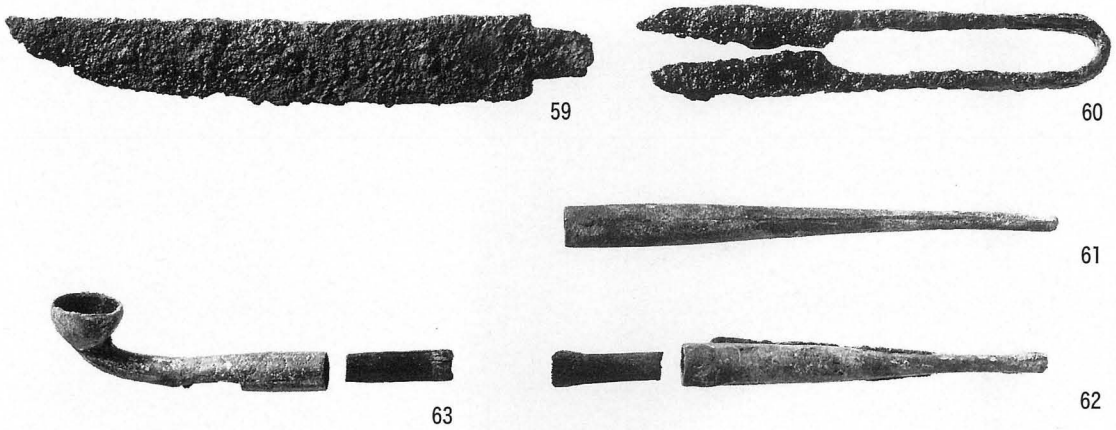
53

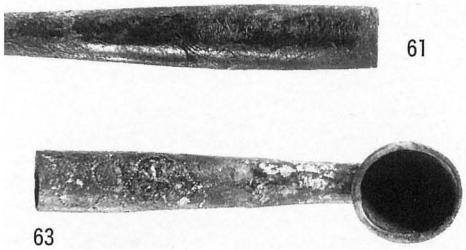
54

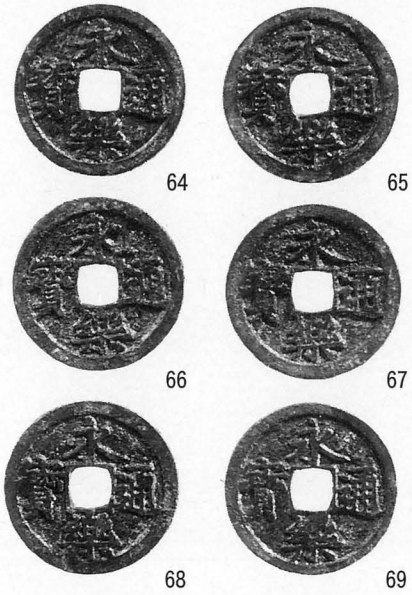
55

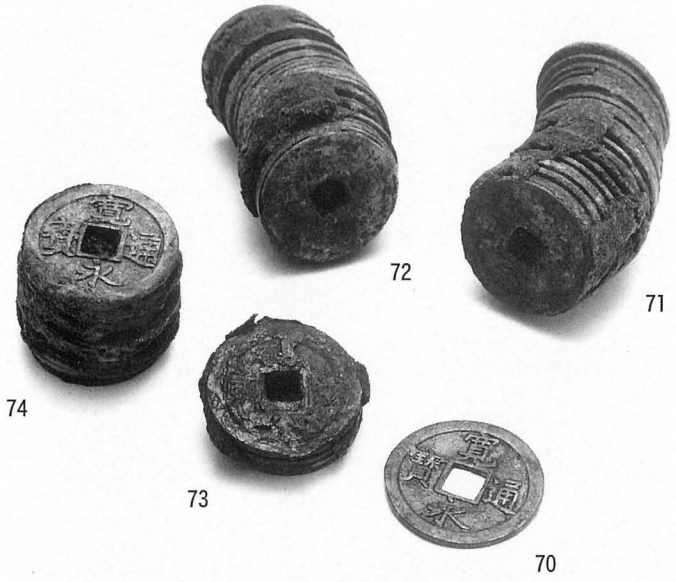
57

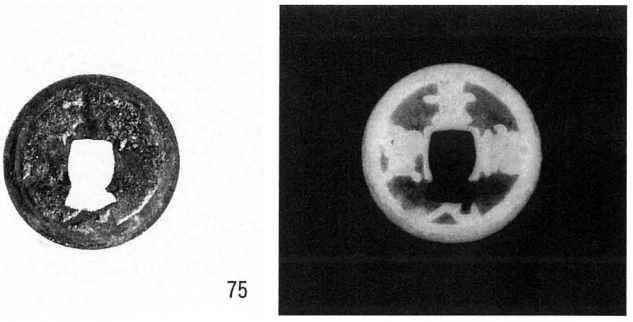
古代以降の遺物①





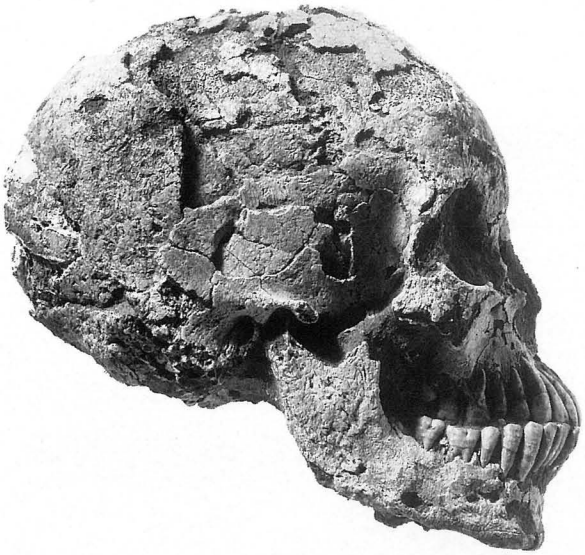






古代以降の遺物②

図版92　宇藤蓮台古墳群



58

76

78

77

古代以降の遺物③、人骨

林古墳群全景（北東から）

図版94　林古墳群

1．1号墳　全景（南西から）

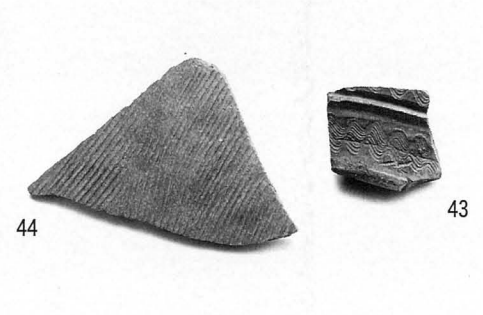
2

3

3．SD01による方形区画遺構（南西から）

1

2．1号墳出土土器



44

43

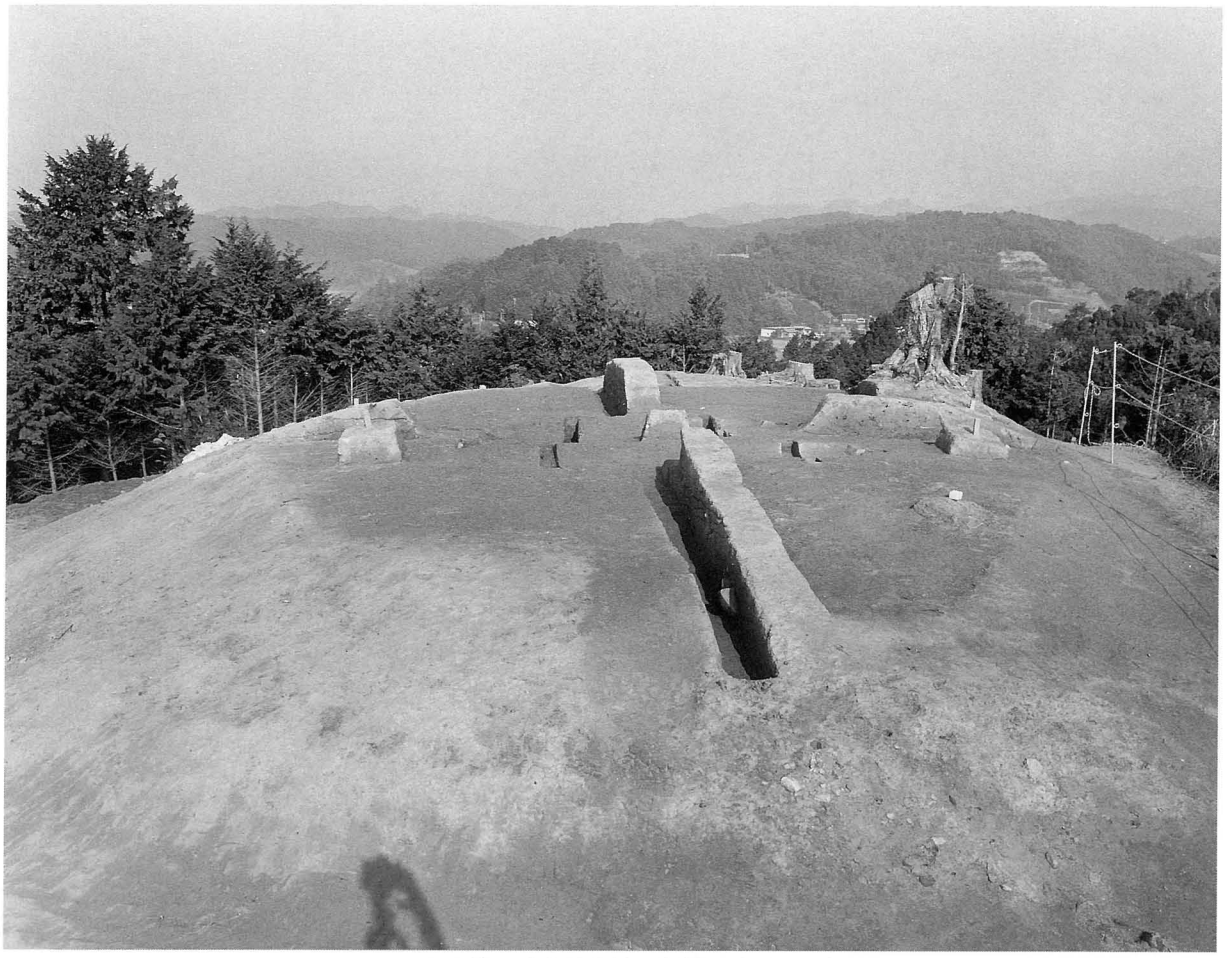
4．SD01出土土器

1．2号墳　全景（北西から）

2．2号墳　北部周溝紡錘車出土状況（北から）

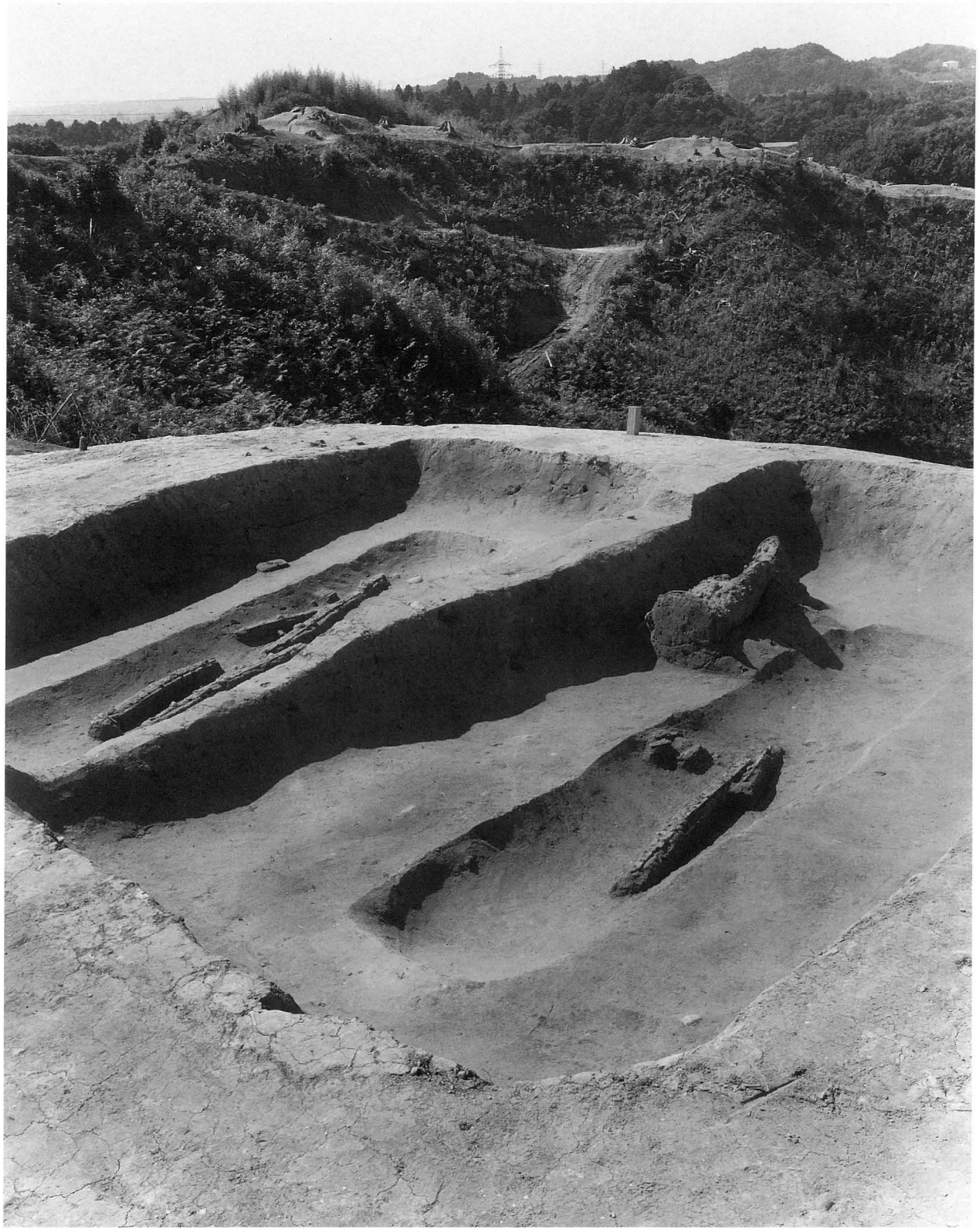
3．2号墳　南部周溝土器出土状況（東から）

図版96　林古墳群



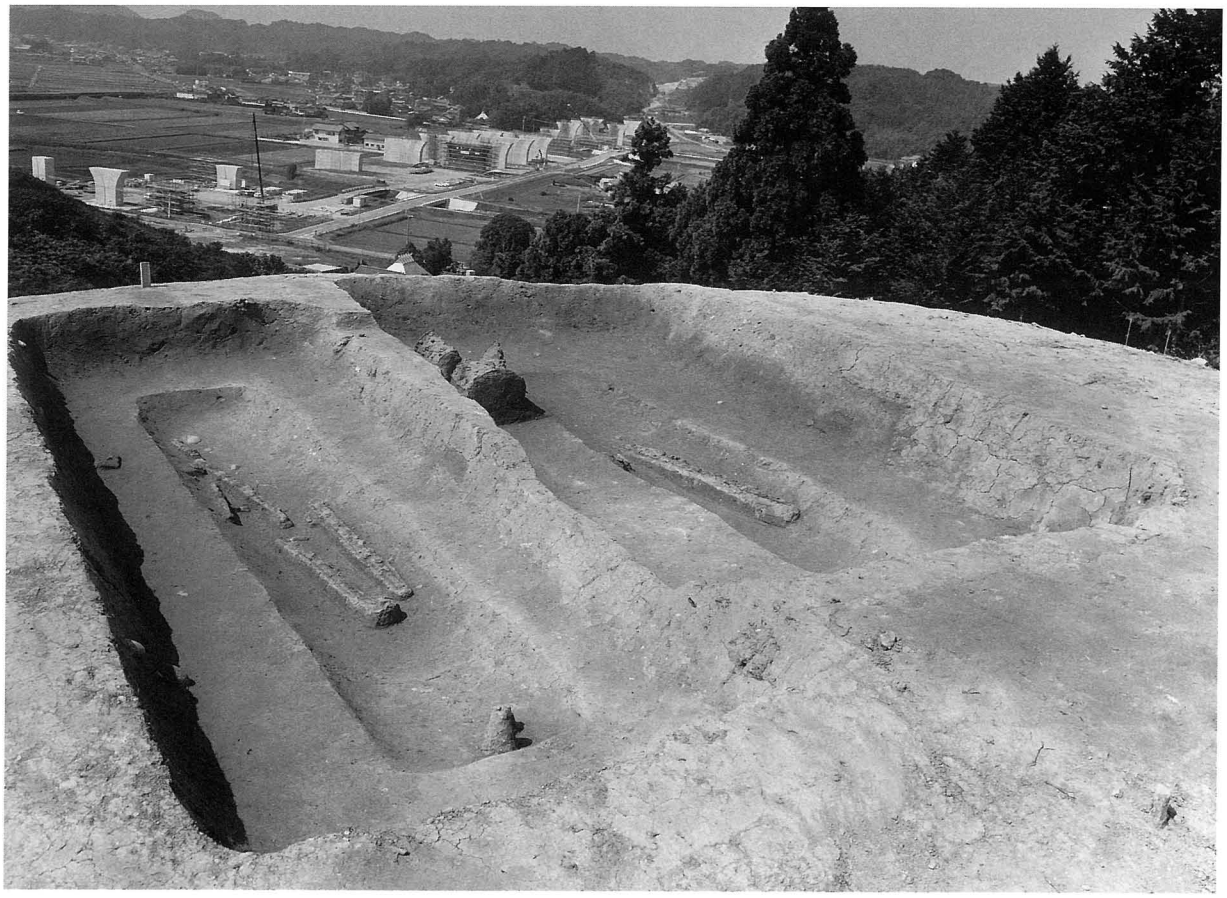
1．２号墳　盛土除去後の状態（南東から）

2．２号墳　北部周溝遺物出土状況（東から）

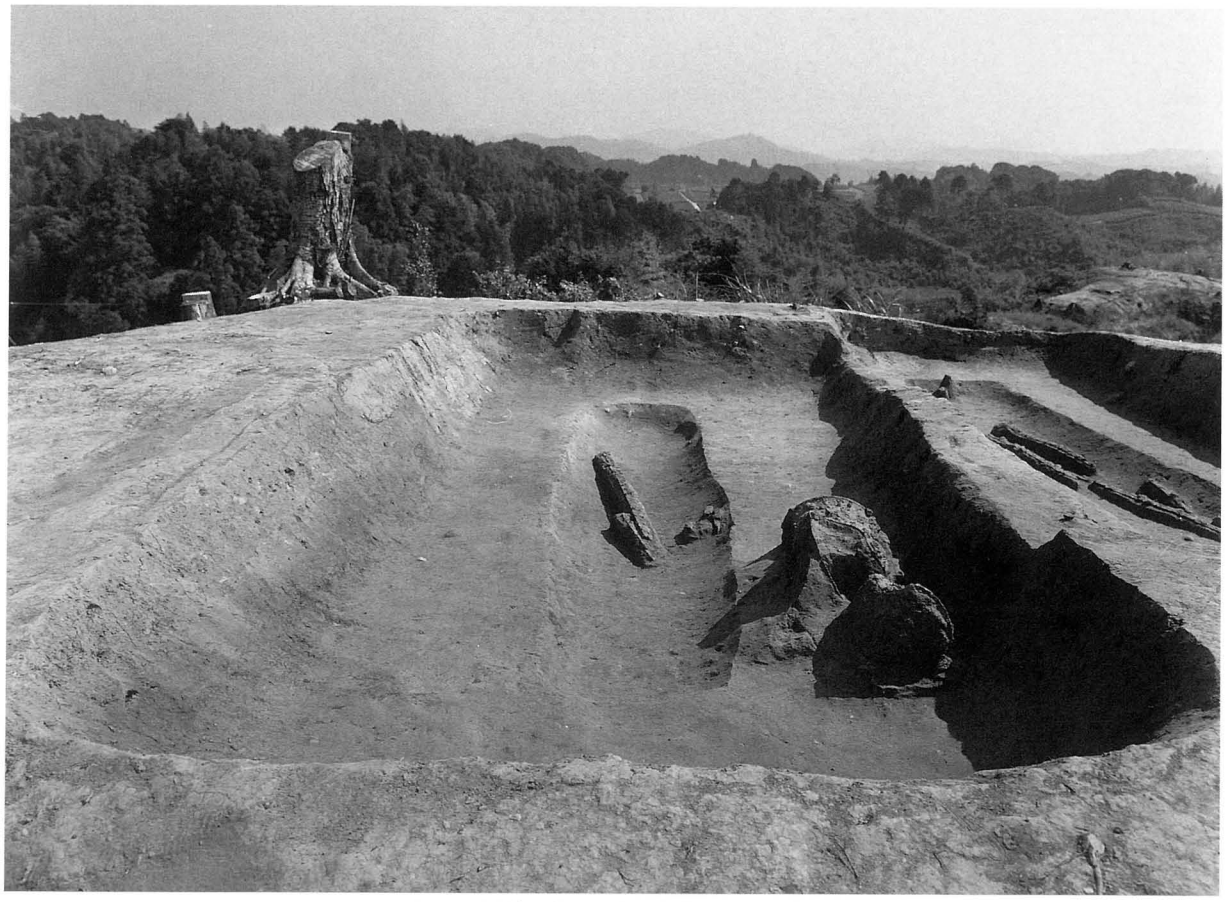


2号墳　第1・2埋葬施設（北から）

図版98　林古墳群

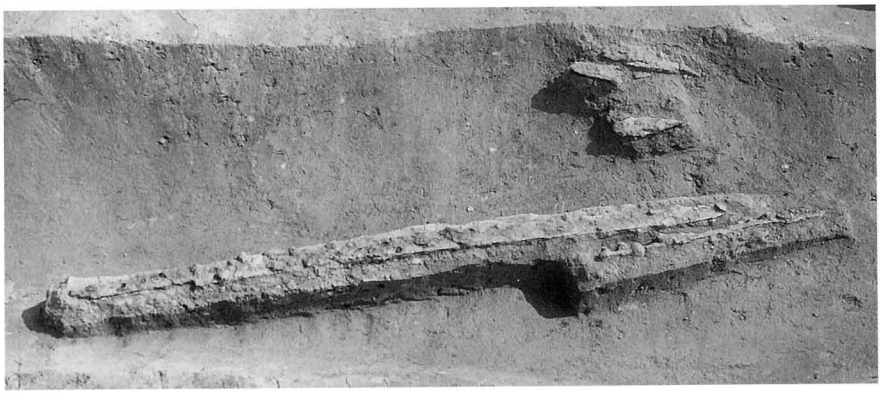


1．2号墳　第1・2埋葬施設（東から）



2．2号墳　第1埋葬施設（南から）

1．２号墳　第１埋葬施設遺物出土状況①（南から）



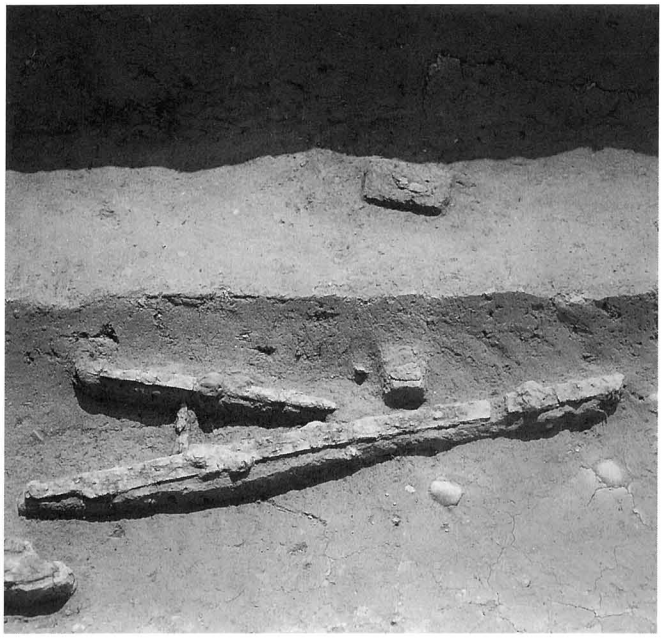
2．２号墳　第１埋葬施設遺物出土状況②（北西から）

図版100　林古墳群

1．2号墳　第2埋葬施設（北東から）

2．2号墳　第2埋葬施設（南から）

1．２号墳　第２埋葬施設遺物出土状況①（南から・南東から・東から）



2．２号墳　第２埋葬施設遺物出土状況②（南東から）

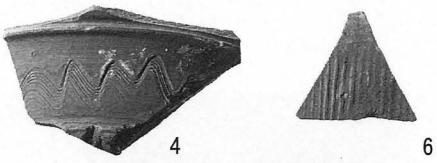
3．２号墳　第２埋葬施設の礫の入った土坑（南から）

5

8

4．２号墳出土土器①

図版102　林古墳群


4

6

7

10

12

13

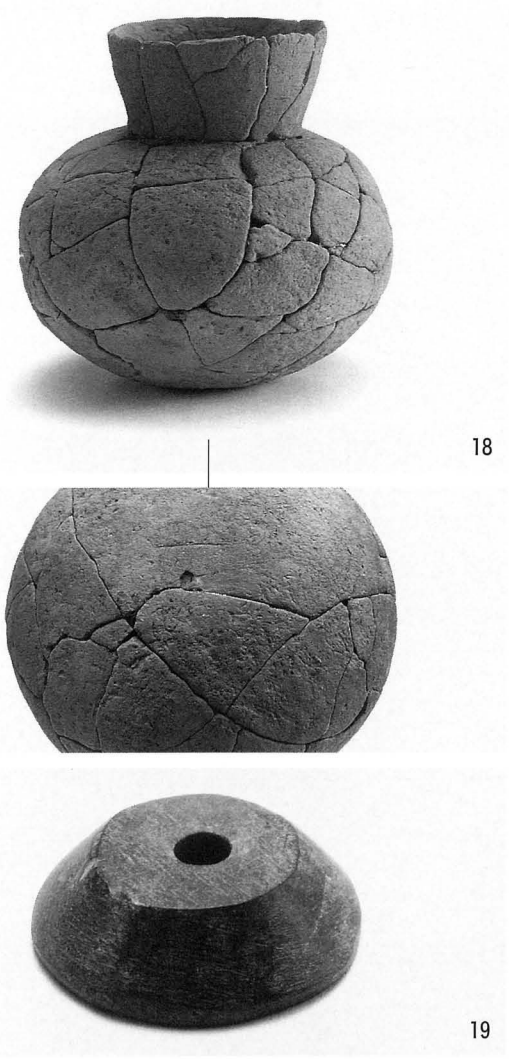
14

15

16

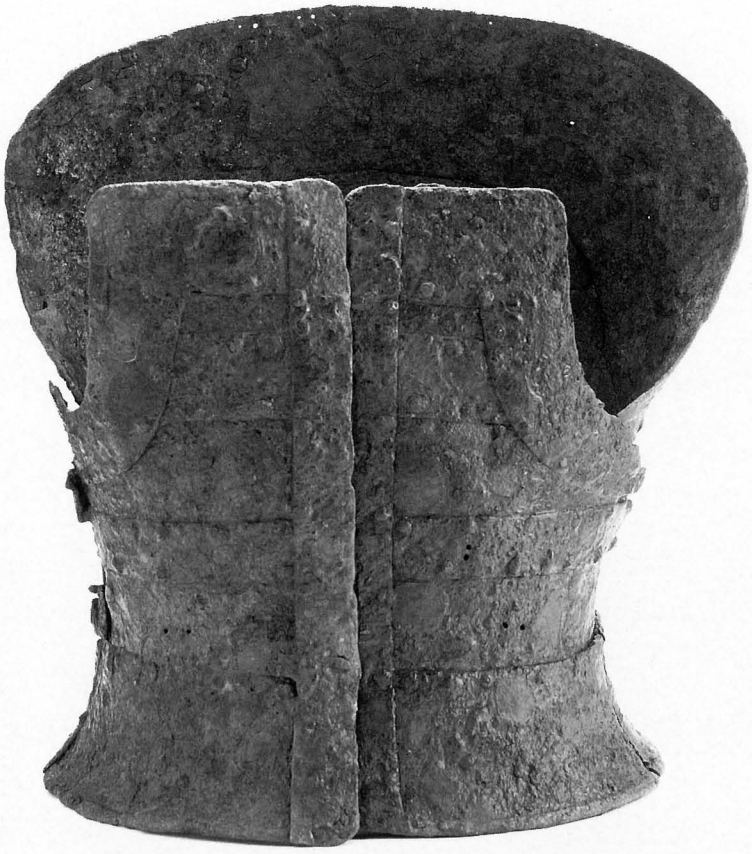
17

2号墳出土土器②



1．２号墳出土土器③、石製品

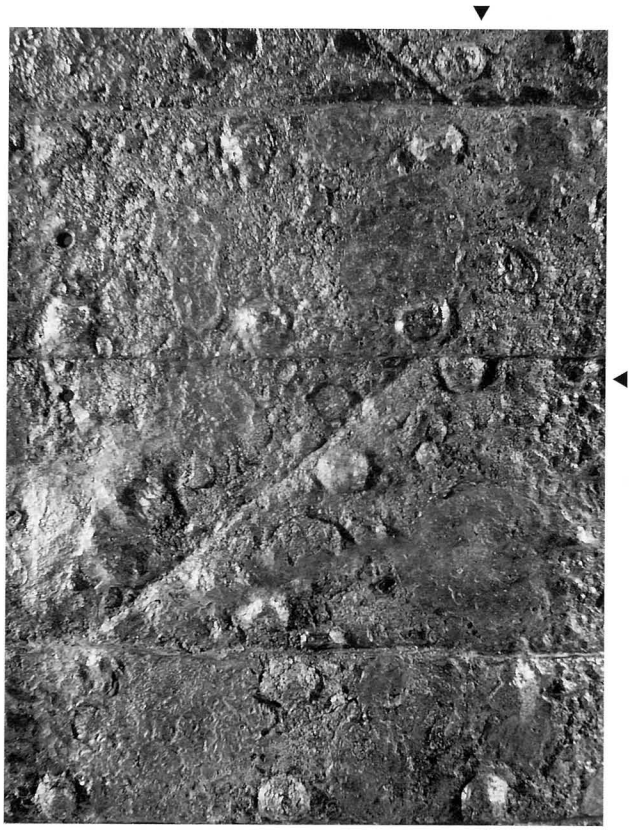
2．２号墳第１埋葬施設出土刀剣、刀子・鉄鏃



2号墳第1埋葬施設出土短甲（正面、背面）

1．２号墳第１埋葬施設出土短甲（側面）

2．短甲　蝶番金具

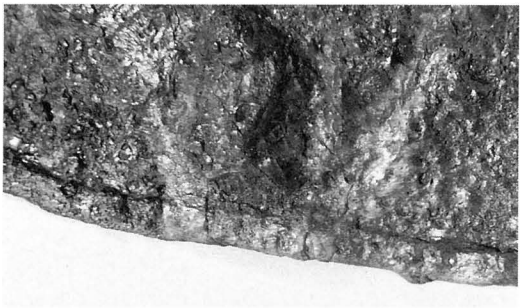


3．短甲　後胴の地板の鋲と帯金との重なり（▲の位置）

図版106　林古墳群

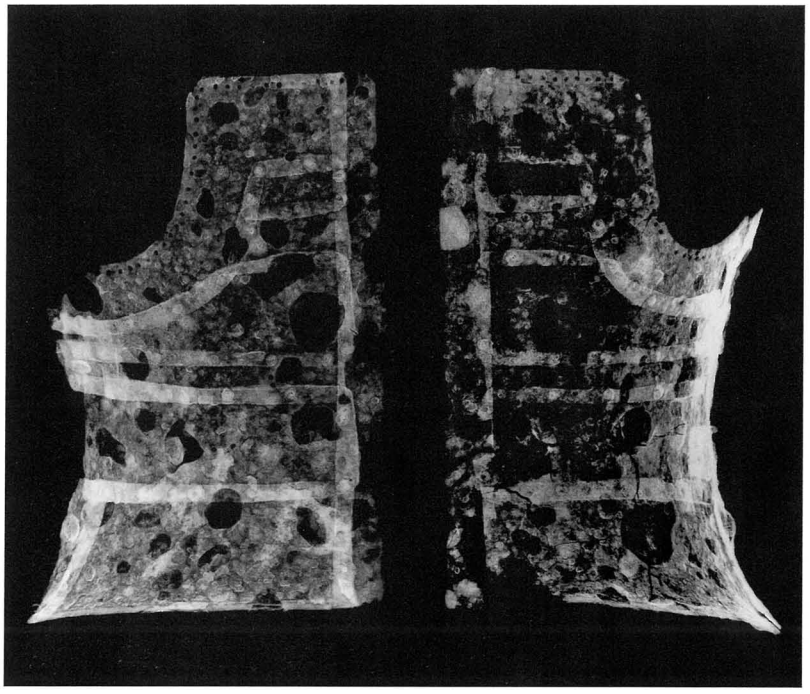
2．短甲　前胴右側上縁の覆輪（表面）

3．短甲　後胴上縁の覆輪（裏面）

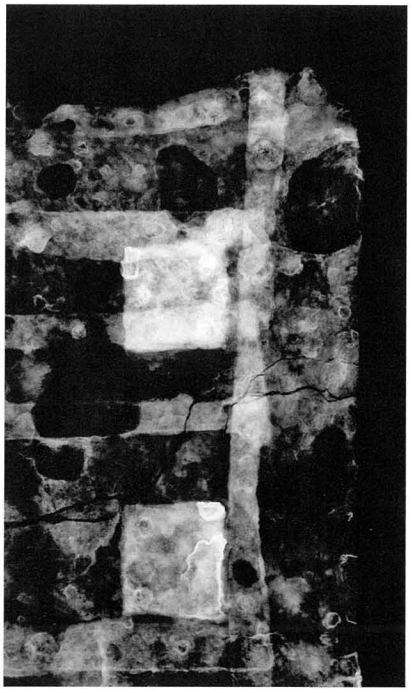


1．短甲の内面（前胴、後胴）

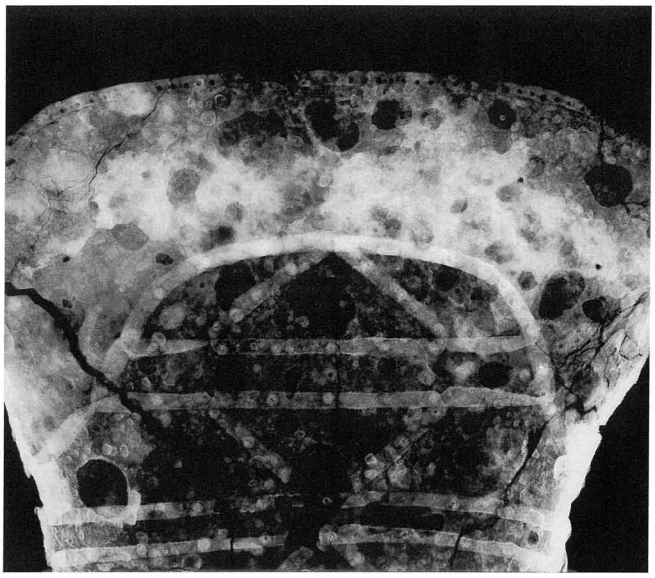
4．短甲　下縁の鉄覆輪（表面）

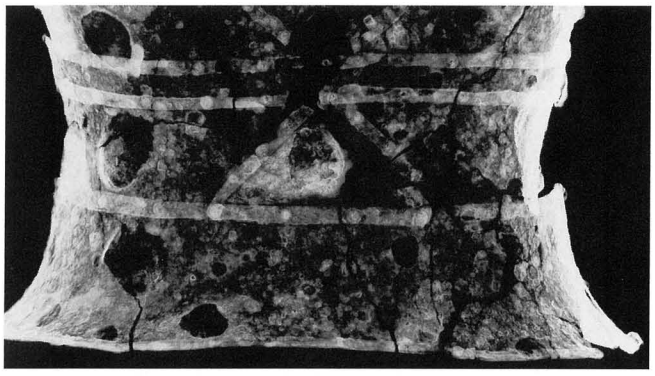


5．短甲のX線透過写真（前胴）

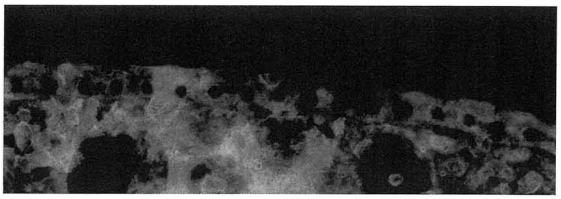


6．短甲のX線透過写真（蝶番金具）

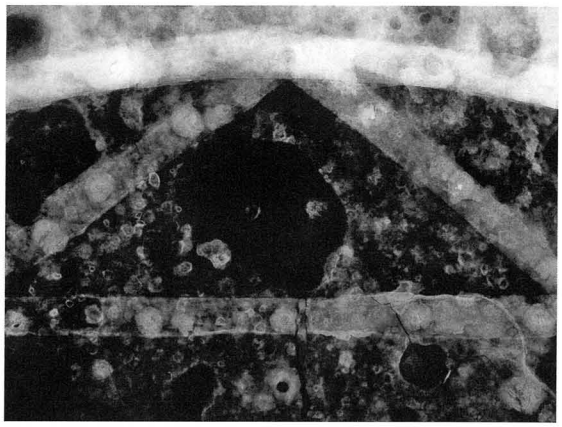




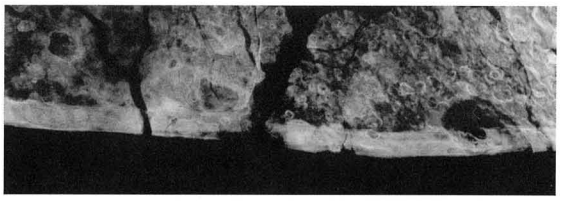
1．短甲のX線透過写真（後胴）



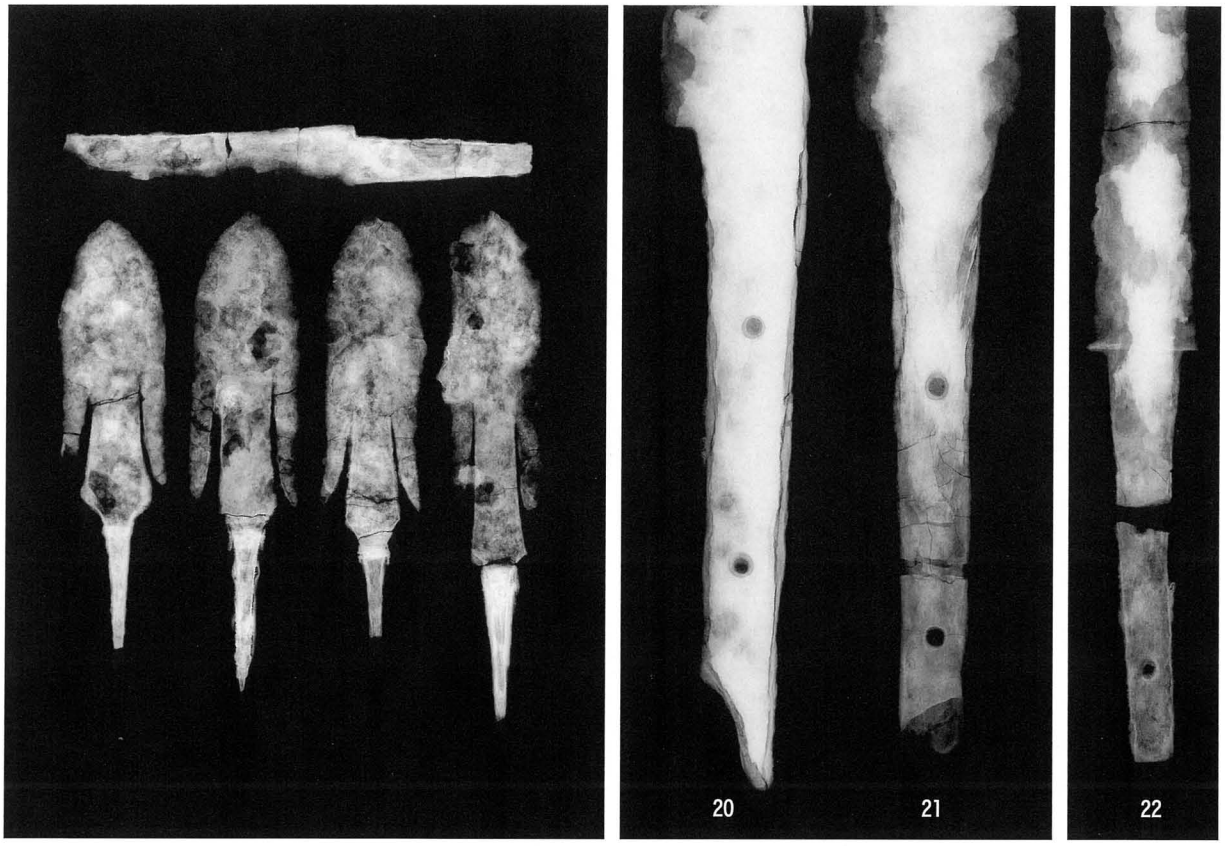
2．短甲のX線透過写真（上縁）



3．短甲のX線透過写真（後胴地板第１段）

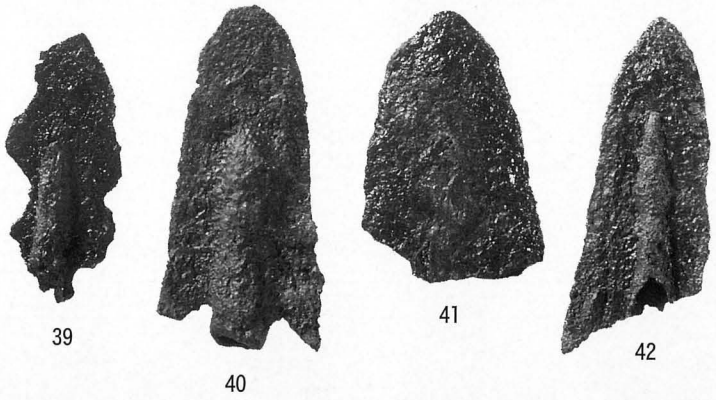


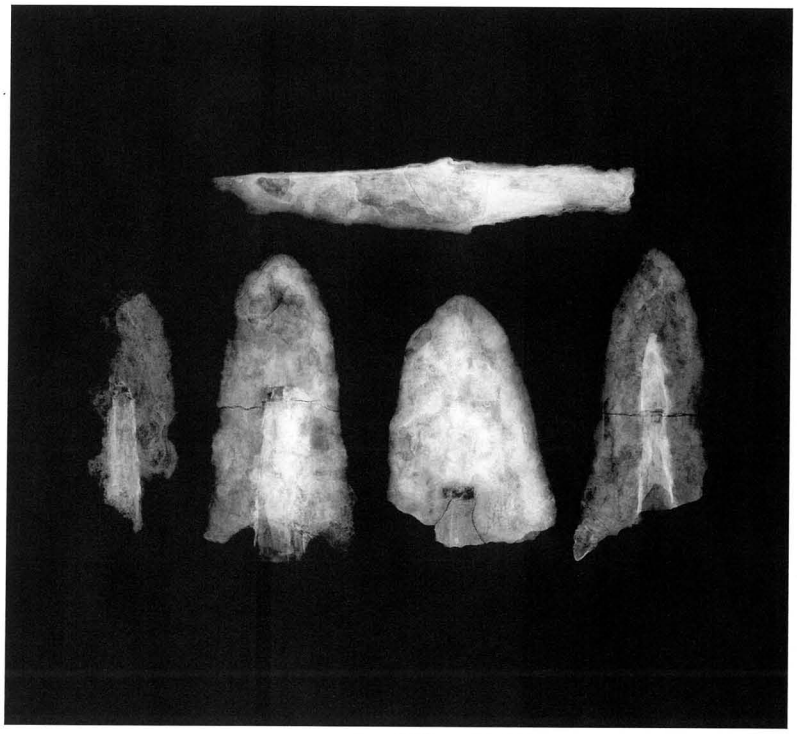
4．短甲のX線透過写真（下縁）

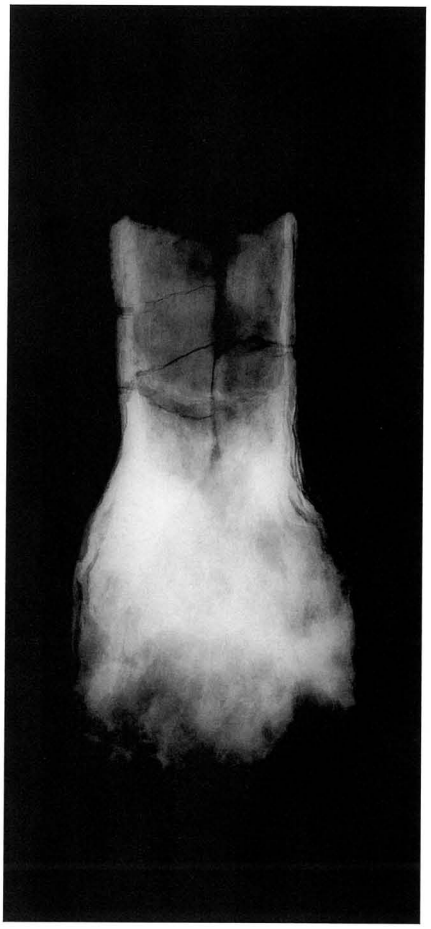


5．２号墳第１埋葬施設出土鉄製品のX線透過写真

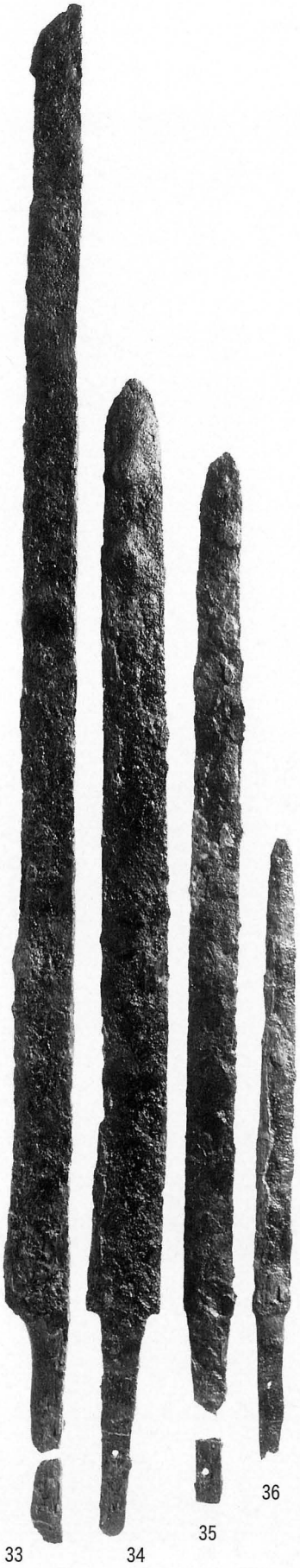
図版108　林古墳群

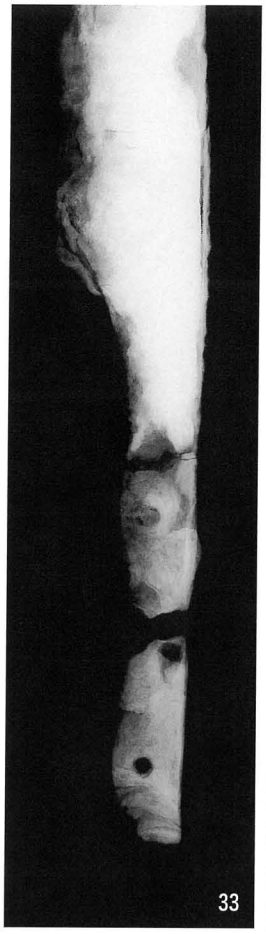


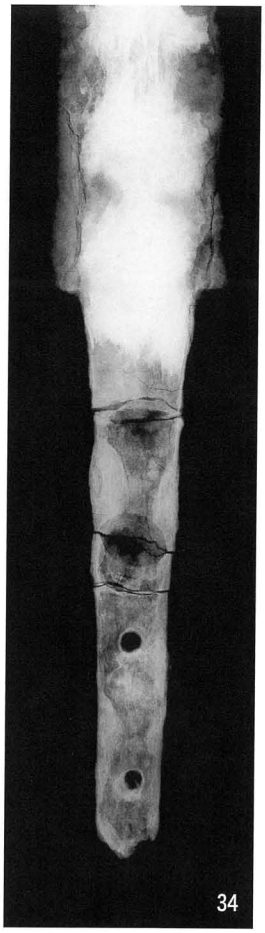


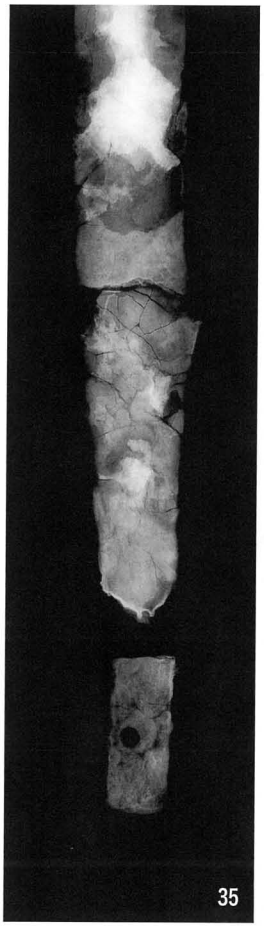


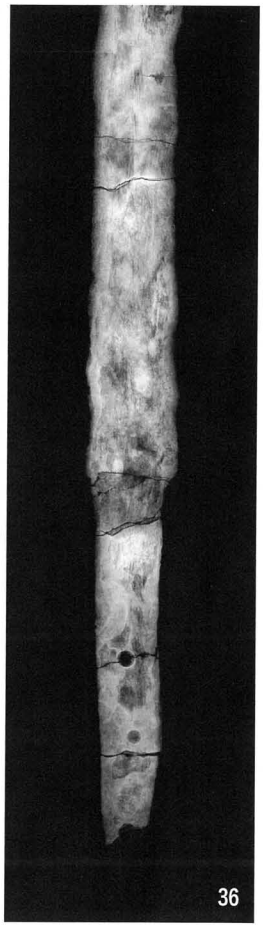
2号墳第2埋葬施設出土玉類、刀子・鉄鏃、鉄斧











2 号墳第 2 埋葬施設出土刀剣

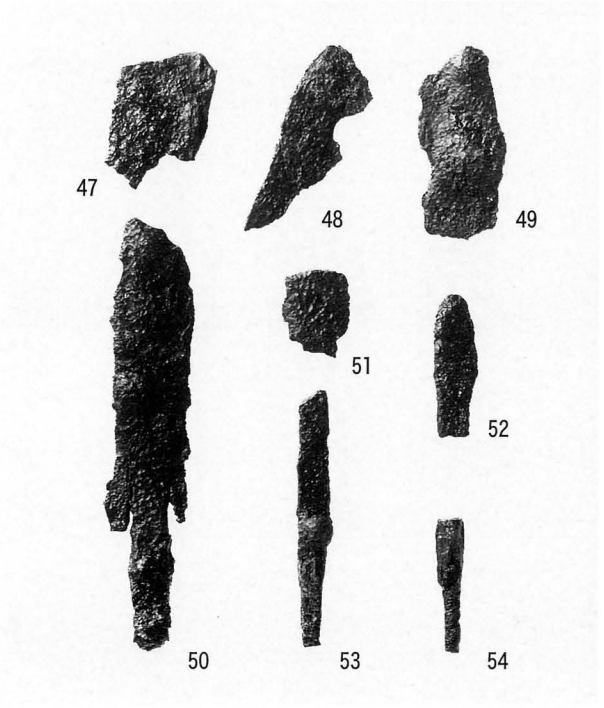
図版110　林古墳群

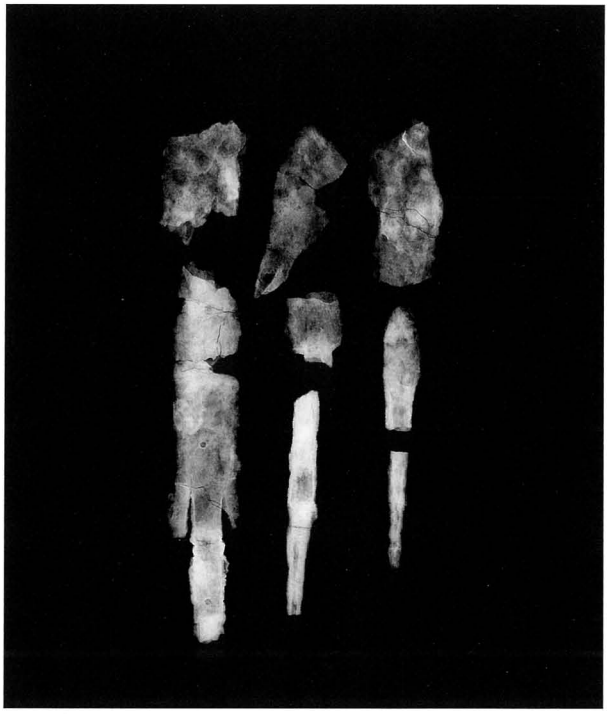
1．３号墳　全景（南から）

2．３号墳　盛土断面（南東から）

1．３号墳　墳丘上の石群（北東から）

2．３号墳　盛土下の遺構群（北西から）

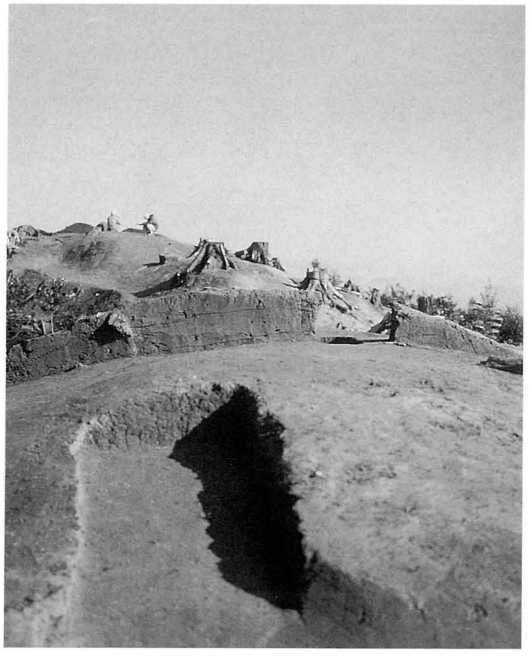




3．３号墳出土遺物

図版112　林古墳群

1．４号墳　全景（盛土除去後の状態）（南西から）



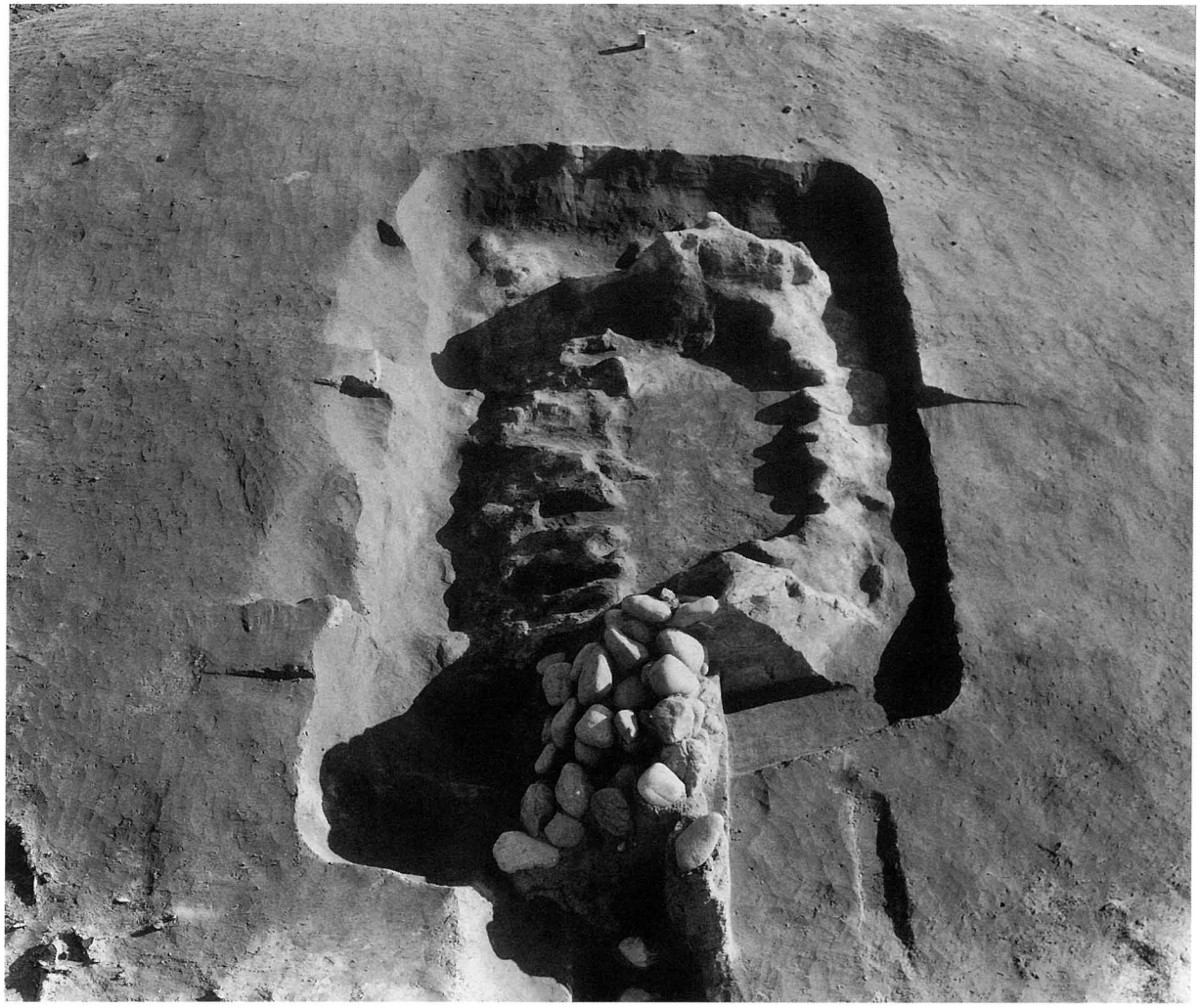
2．４号墳　盛土断面（西から）

3．４号墳　埋葬施設（北西から）

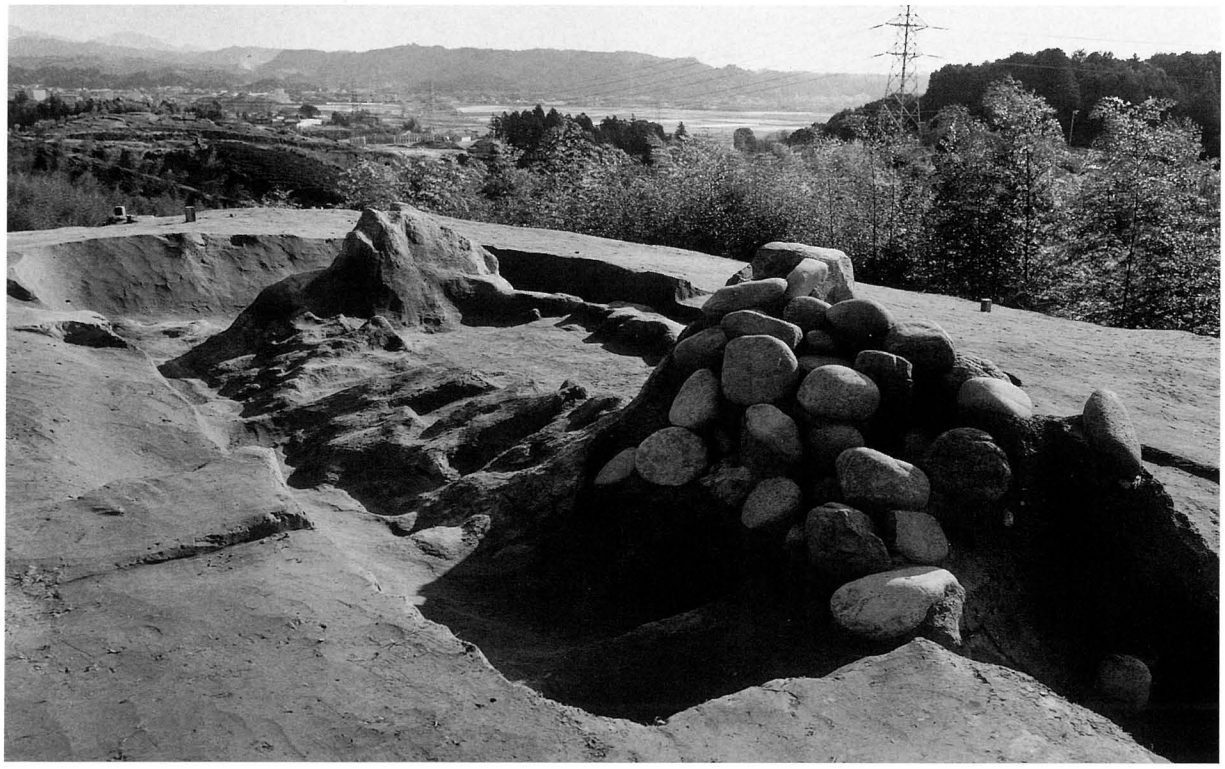
1．5号墳　全景（北西から）

2．5号墳　盛土除去後の状態（南から）

図版114　林古墳群

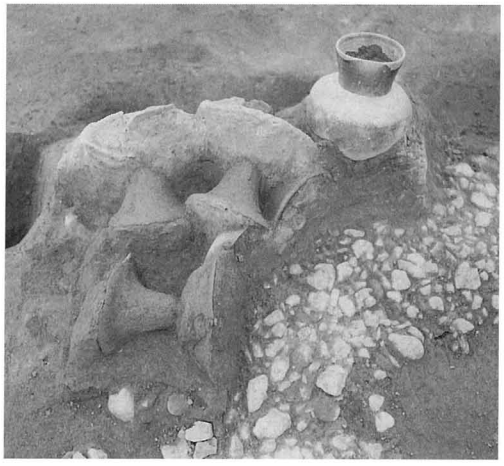


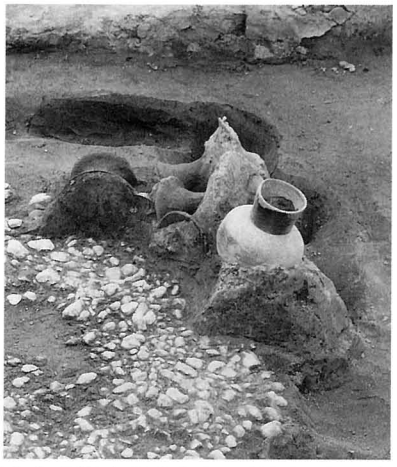
1．5号墳　横穴式木室検出状況①（南西から）



2．5号墳　横穴式木室検出状況②（西から）

1．５号墳　木室の床面（南西から）

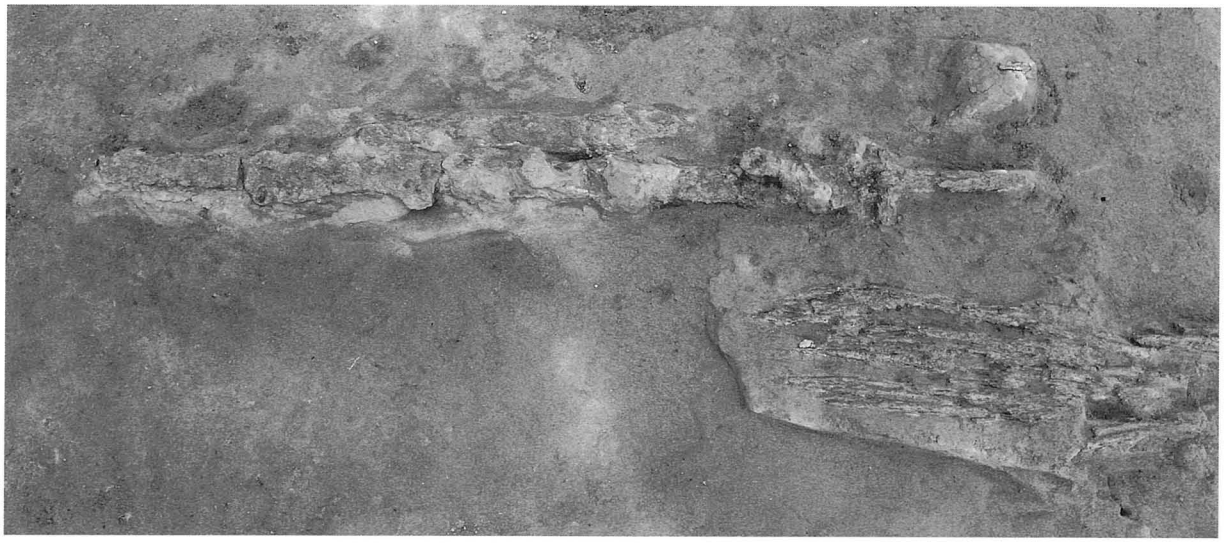




2．５号墳　木室内遺物出土状況①（手前左隅部を北東から・北西から、中央左縁部を南西から）

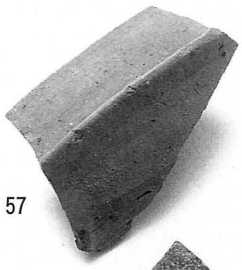
図版116　林古墳群

1．５号墳　木室内遺物出土状況②（北東から）



2．５号墳　木室内遺物出土状況③（奥寄り中央部を南西から）

3．５号墳　木室内遺物出土状況④（中央部を南西から、中央右縁部を南西から）


57

56

55

58

59

60

62

63

64

61

68

5号墳出土土器①

図版118　林古墳群

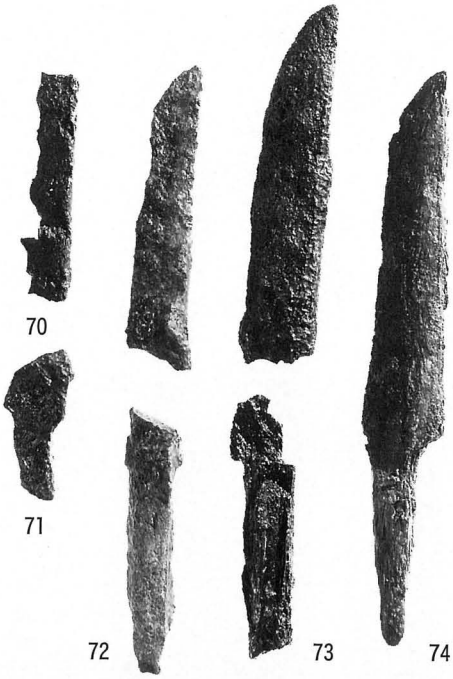
65

66

67

1．5号墳出土土器②

69



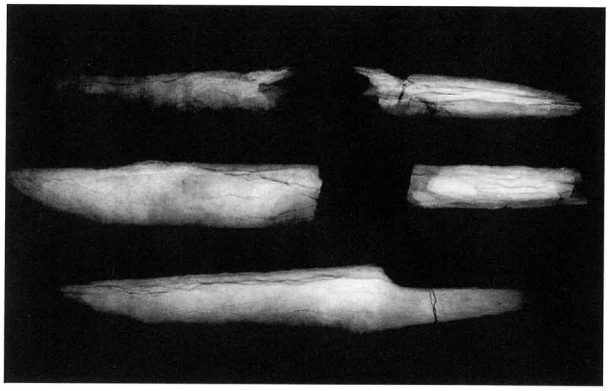
70

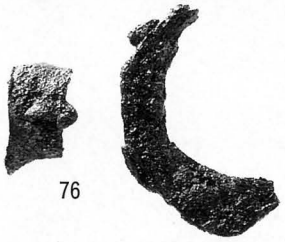
71

72

73

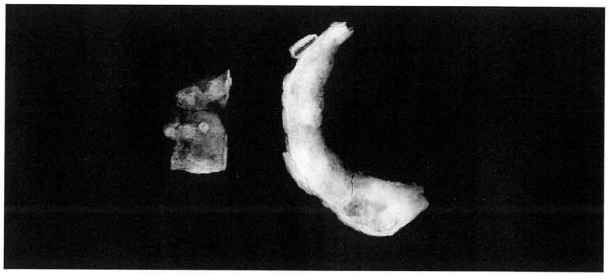
74





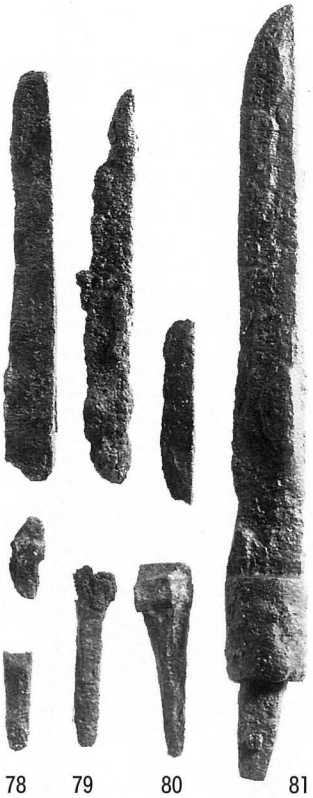
76

77

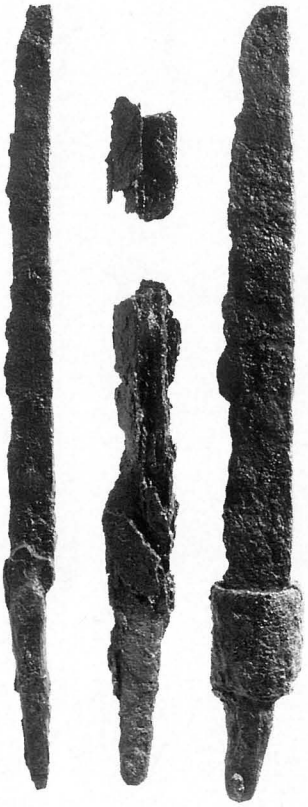


2．5号墳出土玉類・鉄製品①

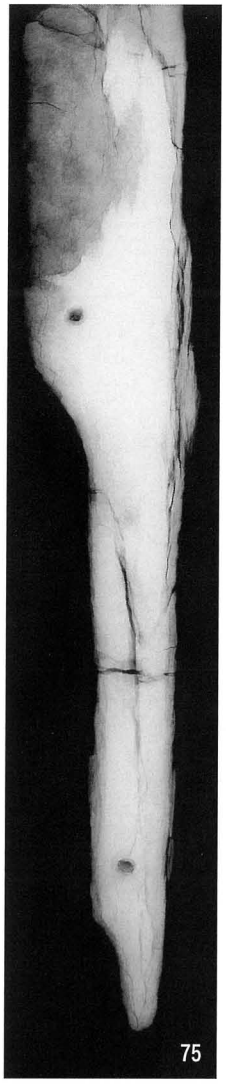
75



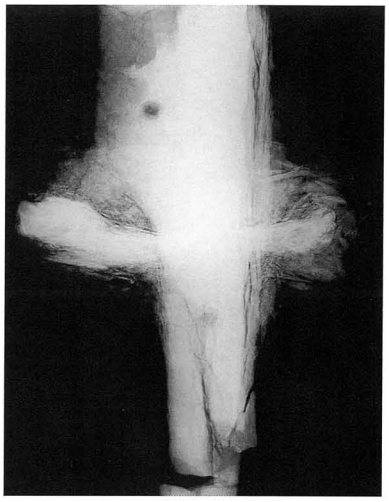
78　79　80　81

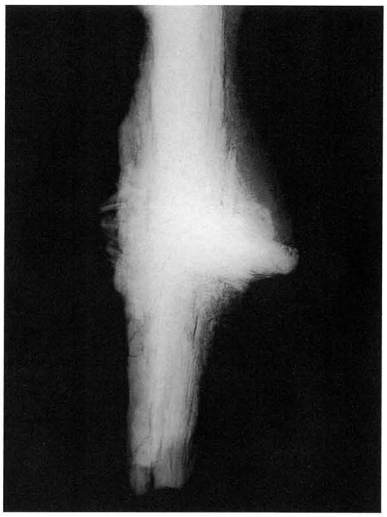


82　83　84

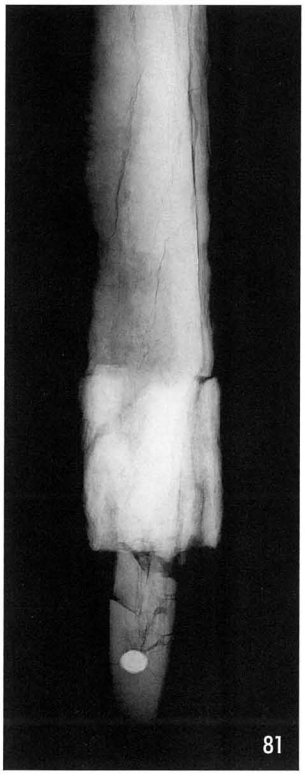


75

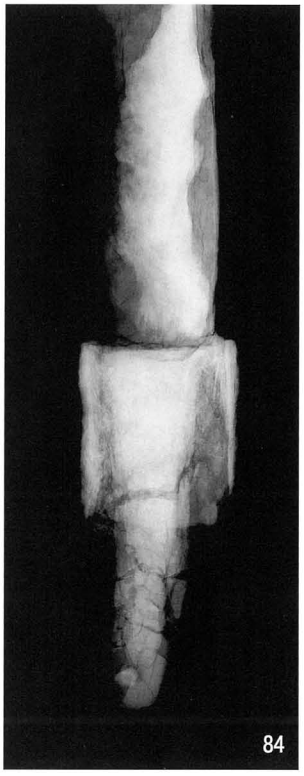




75の装具（76・77）装着状態（正面、側面）

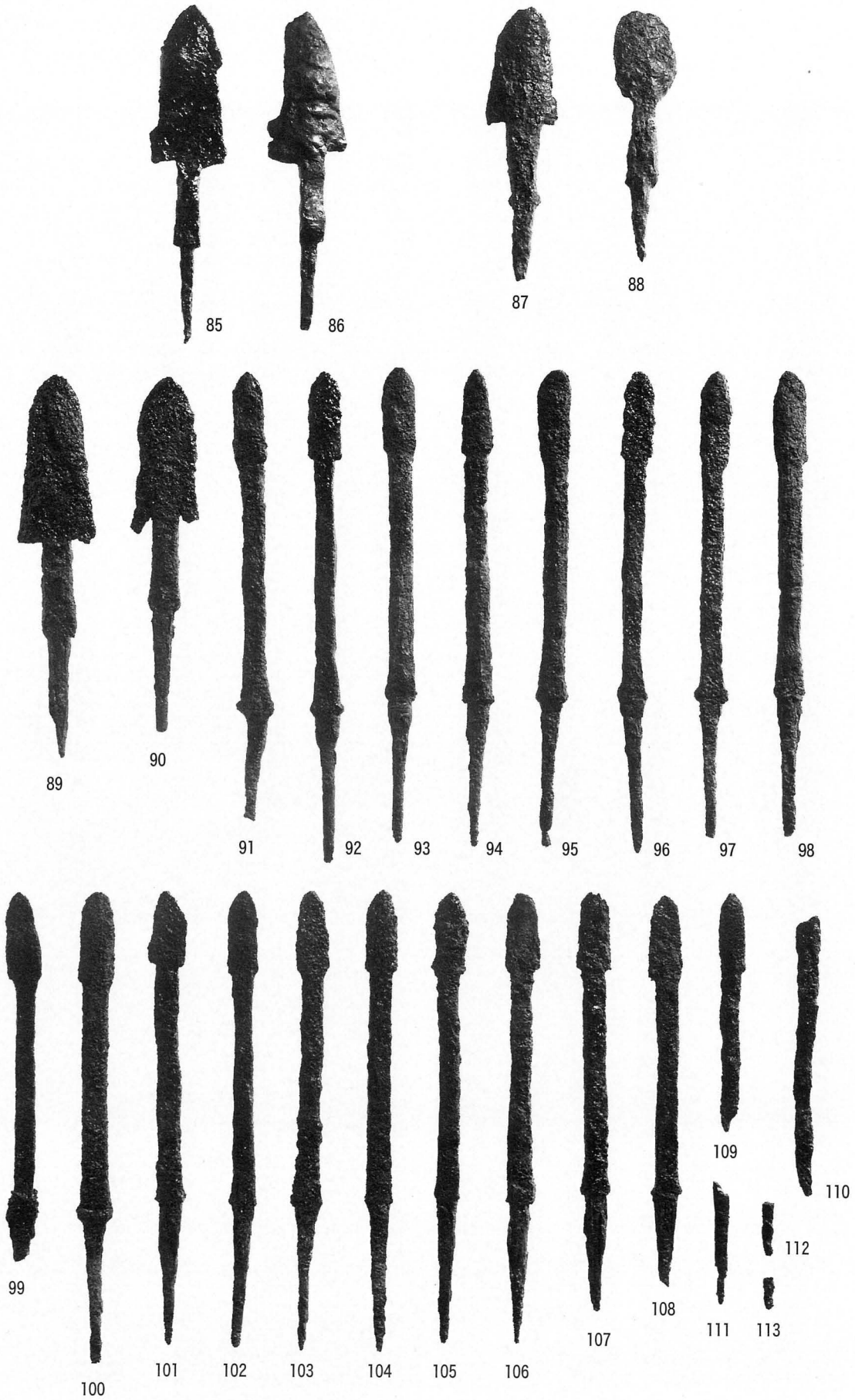


81

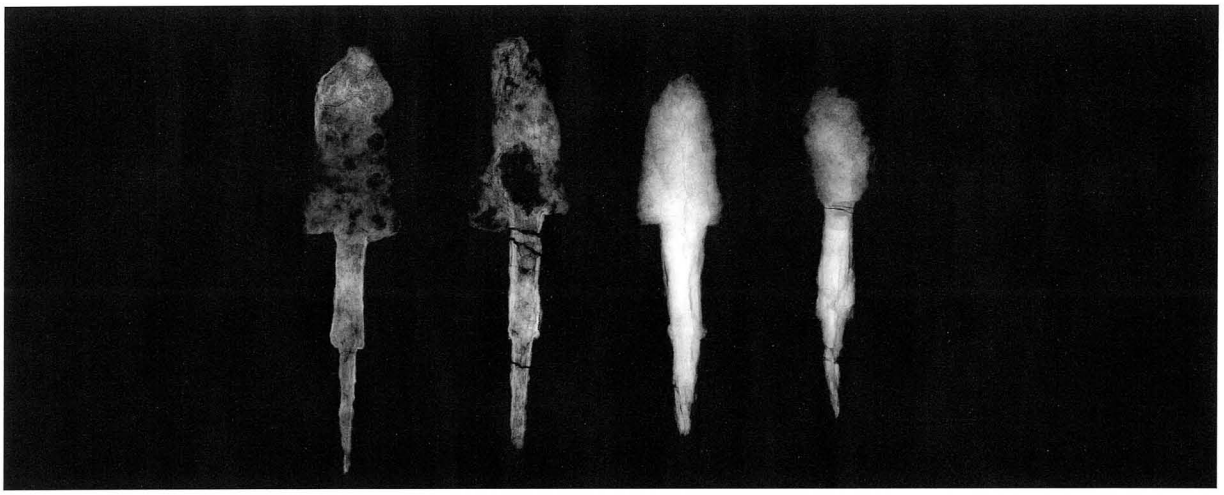


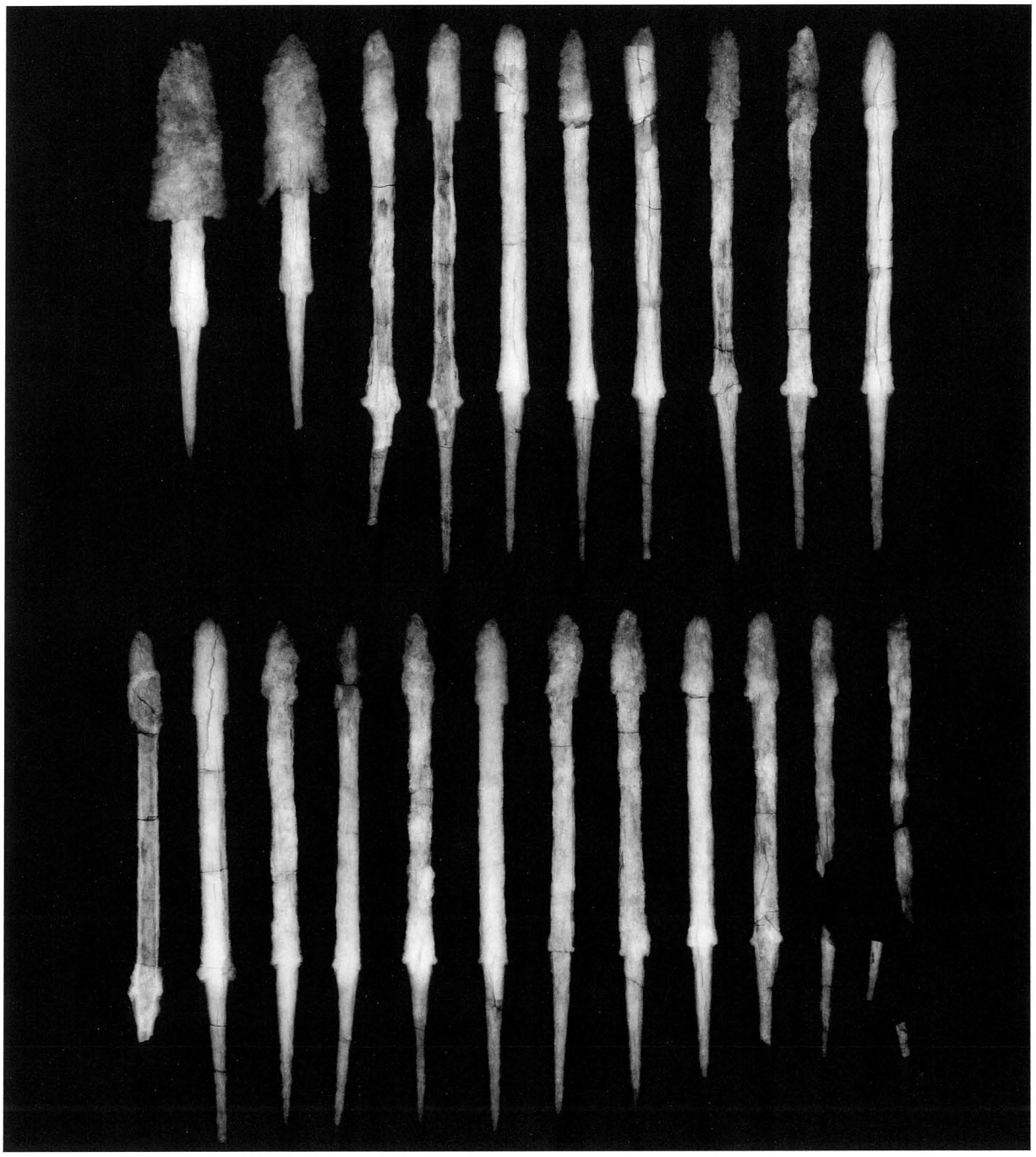
84

5号墳出土鉄製品②（刀剣）



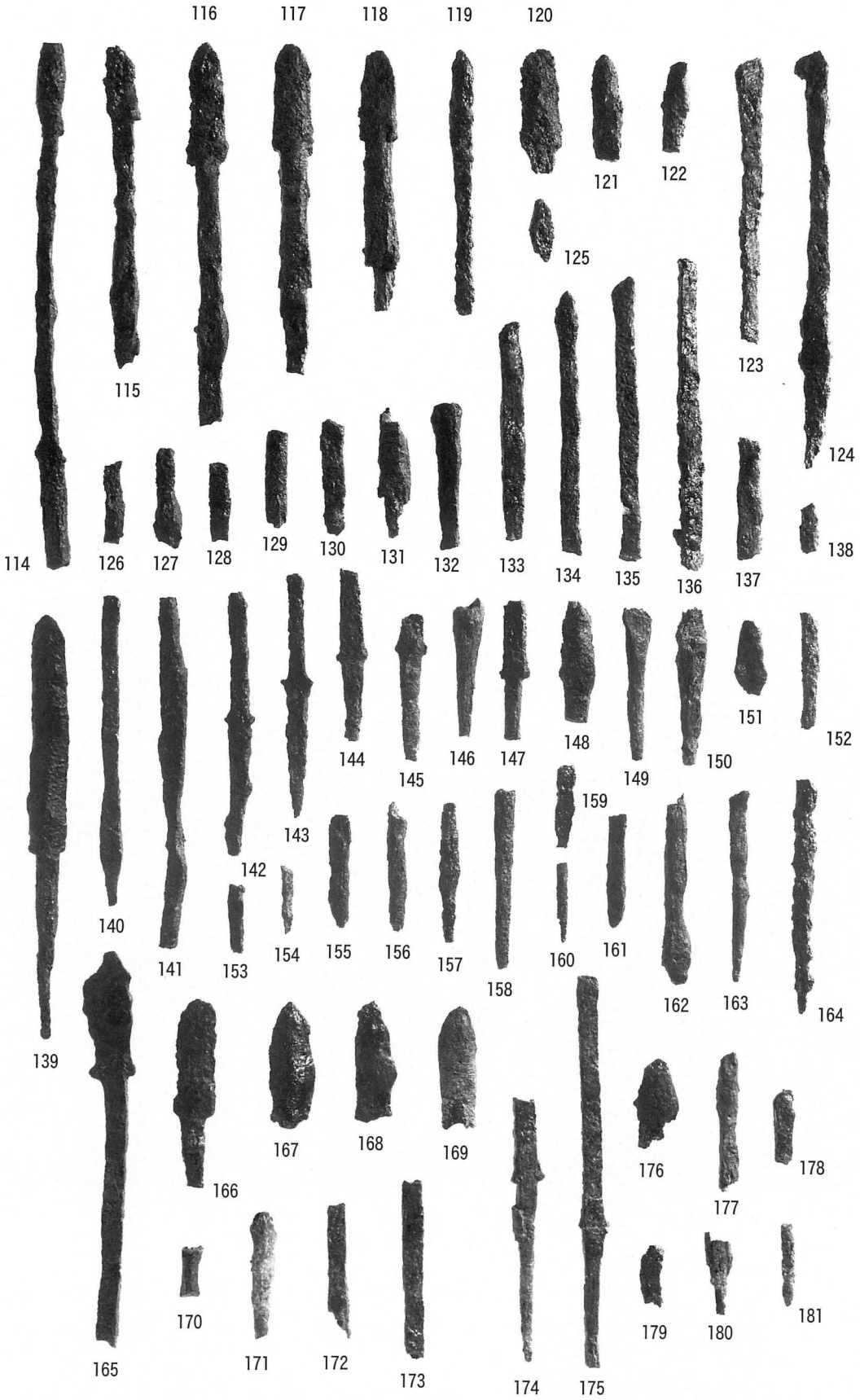
5号墳出土鉄製品③（鉄鏃-1）





5号墳出土鉄製品④（鉄鏃-1のX線透過写真）

図版122　林古墳群



5号墳出土鉄製品⑤（鉄鏃-2）

1．5号墳出土鉄製品⑥（鉄鏃-2のX線透過写真）

182

184

2．古代以降の土器

報告書抄録

ふりがな	もりまちえんでんきゅうりょうのこふんぐん
書名	森町円田丘陵の古墳群
副書名	第二東名建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	森町－3（第2分冊）
シリーズ名	静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告
シリーズ番号	第186集
編著者名	田村隆太郎（編集）、大森信宏
編集機関	財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所
所在地	〒422-8002　静岡県静岡市駿河区谷田23-20　TEL　054-262-4261（代）
発行年月日	2008年2月29日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		経緯度(世界測地系)		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
もんじゅどうこふんぐん 文殊堂古墳群	しずおかけんしゅうちぐん 静岡県周智郡 もりまちえんでん 森町円田	22461	49	34° 49′ 34″	137° 54′ 26″	199904～200004 200102～200103	6,000㎡	道路建設（第二東名建設に伴う埋蔵文化財発掘調査）
うとうれんだいこふんぐん 宇藤蓮台古墳群	同上 もりまちえんでん 森町円田	22461		34° 49′ 28″	137° 54′ 22″	199910～199912 200304～200306	1,440㎡	
はやしこふんぐん 林古墳群	同上 もりまちいちのみや 森町一宮	22461	122	34° 49′ 38″	137° 54′ 17″	200002～200003 200007～200102	3,890㎡	

所収遺跡名	種別	主な年代	主な遺構	主な遺物	特記事項
文殊堂古墳群	古墳	古墳中期	古墳9、土坑1	須恵器、土師器、石製紡錘車1、小玉29、管玉3、短甲1、鉄剣11、鉄刀5、鉄鏃74以上、刀子4、鎌2、鑿1、鉈1、鉄斧3、刺突具1	短甲副葬の木棺直葬墳 ※調査前に鏡など採集あり
		古墳後期～終末期	古墳3	須恵器、土師器、切子玉1、勾玉1、耳環4、鉄刀2以上、鉄鏃7、刀子1、鉄斧1、金銅装馬具片1、馬具片1	金銅装馬具副葬の横穴式石室墳 ※調査前に金銅装馬具などの採集あり
	散布地	奈良		須恵器、土師器	
	墓など	平安～江戸	土坑墓5、溝	灰釉陶器、山茶碗、カワラケ、土師質土器、砥石1、釘1、鉄刀2、銅銭18、石塔1	中近世墓、勅使の道か
宇藤蓮台古墳群	古墳	古墳中期	古墳2	須恵器、土師器、石製紡錘車2	供献土器群
		古墳終末期	古墳1	須恵器、鉄鏃2	
	墓	平安～江戸	土坑墓6	灰釉陶器、山茶碗、カワラケ、砥石1、小柄1、鋏1、煙管2、銅銭85、石塔3、人骨1	中近世墓群
林古墳群	古墳	古墳中期	古墳4、方形区画遺構1	須恵器、土師器、石製紡錘車1、棗玉、短甲1、鉄剣5、鉄刀2、鉄鏃14以上、刀子2、鉄斧1	短甲副葬の木棺直葬墳
		古墳後期	古墳1	須恵器、土師器、小玉1、鉄刀8、鍔1、鉄鏃43以上、刀子5	横穴式木室墳
	散布地	平安～鎌倉	溝1	灰釉陶器、山茶碗	

要約

森町円田の丘陵上に立地する古墳群であり、古墳時代中期中葉～末葉の古墳15基、古墳時代後期後葉～終末期の古墳5基、古代・中世の墓などの調査成果がある。なお、同じ場所には古墳群形成前（弥生時代中期～古墳時代前期）の墓域も発見・調査されているが、その成果は文殊堂遺跡・宇藤蓮台遺跡・フケ遺跡・林遺跡として、本書とは別に報告している（第167集）。

古墳時代中期の古墳群についての調査成果が貴重なものとして評価できる。墳丘直径20m以下の小規模円墳で構成された古墳群であり、2～3ヶ所で並行した古墳築造の継続が把握できる。埋葬施設は木棺直葬を主体とし、墳頂部で並列する複数埋葬が把握される場合が多い。短甲や刀剣・鏃などの副葬品が出土している。墳丘周囲などからは、葬送儀礼に用いた土器群が良好な状態で出土している。

静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告　第186集

森町円田丘陵の古墳群

第二東名建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

森町－３（第２分冊）

平成20年２月29日

編集・発行　財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所
〒422-8002　静岡県静岡市駿河区谷田23-20
TEL　(054)262-4261㈹
FAX　(054)262-4266
印　刷　所　松本印刷株式会社
〒421-0303　静岡県榛原郡吉田町片岡2210
TEL　(0548)32-0851㈹